Barlabe®

FI212T

SATO

プリンタの設置

操作パネル

呼出し発行

固定発行

その他の発行機能

環境設定

困ったときは

保守

付録

取扱説明書

このたびは、Barlabe FI212T をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。ぜひ本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社サトー

はじめに

このたびは、当社 Barlabe FI212T（以降、「本プリンタ」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本プリンタの機能を理解され、正しく効率的にご利用いただくために、「取扱説明書」を用意いたしました。本プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

============== 取扱説明書（本書）の内容 ==============

- 設置のしかた、電源の入れかた、用紙のセットのしかたなど、本プリンタの基本的な使い方を説明しています。

============== クイックガイドの内容 ==============

- 本プリンタをはじめてご使用される方は、クイックガイドをお読みください。
- レイアウト作りからラベルを印字するまでを順を追って説明しています。
- はじめての方にご利用いただけるようにわかりやすく説明しています。

無線LAN仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本プリンタは、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。したがって本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本プリンタは日本国内でのみ使用できます。
以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本プリンタを分解／改造すること
・本プリンタに貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。
電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従っておこなってください。

2.4 DS/OF 4

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DSSSおよびOFDM
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、ディーラーへご連絡ください。
（4）この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
（5）本書に記載されている情報の利用に起因する障害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

初版 2009 年 3 月
第 2 版 2013 年 12 月 Q02484001

第 5 章　その他の発行機能 111

安全上のご注意

この取扱説明書には、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

▲ 絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。		安全のために加熱や火の近くに置いたり、火の中にいれてはいけないことを示しています。
	誤った取り扱いによって、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。		安全のために必ず電源コードのプラグをコンセントから抜くように指示するものです。
	安全のためにしてはいけないことを示しています。		安全のために必ずアースを取るように指示するものです。
	安全のために分解してはいけないことを示しています。		高温による傷害の可能性が想定されることを示しています。

警　告

	不安定な場所に置かない ・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。
	水などの入った容器を置かない ・プリンタの周辺に花びん、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源を切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	内部に異物を入れない ・プリンタの開口部（ケーブルの出口やSDカード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源を切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	指定以外の電圧は使用しない ・指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	必ずアース線を接続してください ・必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。

警　告

電源コードの取り扱いについて

・電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

落としたり、破損したときは

・プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源を切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

異常な状態で使用しない

・万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

分解しないでください

・プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご依頼ください。

カッタについて

・カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。

警　告

プリンタ清掃液の取り扱いについて

- プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。
- お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

オプションケーブルやスキャナの接続について

- オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源をOFFにしてからおこなってください。電源をONにしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。

ACアダプタについて

- ACアダプタを分解しないでください。ACアダプタに直接ハンダ付けをおこなうような改造もしないでください。
- ACアダプタを加熱したり、火の中へ投入しないでください。また、ショートのおそれのあることはしないでください。
- ACアダプタに水をかけたり、濡らさないでください。故障や感電の原因になります。

警　告

ACアダプタやバッテリチャージャーについて

・指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。
・バッテリチャージャーは、指定以外のバッテリパックを充電しないでください。バッテリパックの破裂、液漏れや火災・感電の原因になります。
・電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
・電源コードが傷んでいたら（芯線の露出、断線など）、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

注　意

湿度が高い場所に置かない

・プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源を切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因になります。

持ち運び

・移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、おこなってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
・用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
・プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。
・LCDを持ってプリンタを持ち運ばないでください。LCDを破損する原因になります。

電源

・濡れた手で電源キーの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
・ACアダプタが熱くなることがありますので、注意してください。
・本プリンタに付属のACアダプタセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

電源コード

・電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
・電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因となることがあります。
・本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

カバー

・カバーの開閉には、指を挟まないように注意しておこなってください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持っておこなってください。

注　意

サーマルヘッド

・印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃をおこなうときには、火傷をしないように注意しておこなってください。
・サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙を交換、清掃は、ケガをしないように注意しておこなってください。
・お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

サーマルヘッドの開閉

・サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意しておこなってください。ケガ、破損の原因になります。

用紙のセット

・ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意しておこなってください。

SDカードの取り扱い

・SDカードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
・水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
・直射日光の当たるところや、暖房器具の近くに置かないでください。
・コネクタ部を直接触ったり、ゴミやほこりが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
・高温多湿のところに保管しないでください。
・静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。

注　意

	バッテリパックの交換 ・指定以外のバッテリパックを使用しないでください。 ・交換時は、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示どおりに正しく入れてください。間違いますとバッテリの破損、液漏れによるケガや周囲を破損する原因になる場合があります。 ・交換したバッテリパックを廃棄する場合は、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご相談ください。 ・バッテリパックをはじめてご使用になる場合や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してください。 ・バッテリパックを使用しない場合には、電池の液漏れやサビを避けるために湿気の少ない場所で保管してください。 ・バッテリパックの端子が汚れると、機器との接触が悪くなり電池が切れたり、充電されなくなりますので、乾いた布などでふき、端子をきれいにしてからご使用ください。
	長期間ご使用にならないとき ・プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れ・清掃のとき ・プリンタのお手入れや清掃をおこなうときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

バッテリパックについての安全上のご注意

バッテリパックの著しい寿命低下、発熱、発煙、破裂、発火などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

警　告

- バッテリパックを分解したりバッテリパックに直接ハンダ付けをおこなうような改造はしないでください。
- バッテリパックを加熱したり、火の中に投入しないでください。また、80℃を越える高温の場所やバッテリパックの端子がショートするおそれのあることはしないでください。
- バッテリパックへの充電はプリンタ本体または指定されたバッテリチャージャーでおこなってください。
- バッテリパックを濡れた手で端子に触れたり、水や塩分を含んだ水につけたり濡らさないでください。
- バッテリパックに強い衝撃を与えたり投げたりしないでください。また破損、変形したバッテリパックは使用しないでください。
- バッテリパックから液漏れして液が目に入ったときは、こすらず、ただちに水道水などのきれいな水で充分に洗い流した後、医師の治療を受けてください。放置すると目に障害を与える原因になります。
- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
- バッテリパックの使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱したり、変色、変形その他異常がある場合は使用しないでください。
- 液漏れ、異臭がするときは、ただちに火気から離してください。

注　意

<table>
<tr><td></td><td>・直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用や放置しないでください。また、バッテリパックは、0～40℃の温度範囲で充電してください。
・バッテリパックが液漏れして液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
・お買い上げ後、はじめてご使用の場合、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないで、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。</td></tr>
</table>

バッテリパックに関するお願い

・使用済みのバッテリパックは、希少資源の有効利用のために、接点にテープでシールするなどの絶縁処理をおこなってから、処分方法を販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターへご相談ください。
・乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。

FI212Tができること

呼出し発行

FI ツールでラベルを自由にデザイン。SD カードのデータを呼び出してラベル発行します。→ 61 ページ

FI ツール

SD カード

ほうれん草

産地名：千葉県産

¥350

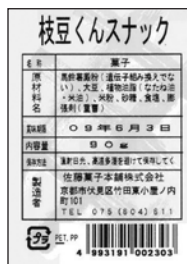
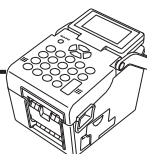
0 200003 003507

オンライン発行

ラベルアプリケーションでデザイン。オンラインでデータを転送してラベル発行します。→ 111 ページ

無線 LAN

LAN/USB

枝豆くんスナック

固定発行

プリンタに登録されているフォーマットでデザインし、そのままラベル発行します。
→ 81 ページ

値下げラベルの発行

値下げ商品のバーコードを読み込み、プリンタに登録されているフォーマットで値下げラベルをデザインしてラベル発行します。

値下げラベル（CODE128）→ 115 ページ

値下げラベル（JAN2 段）→ 145 ページ

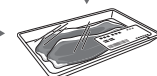
値下げ商品

個体識別ラベルの発行

仕入れた枝肉、部分肉の個体識別番号を読み取り、プリンタに登録されているフォーマットで継承ラベル/個体識別ラベルをデザインしてパック商品用のラベルを発行します。→ 173 ページ

継承ラベル

個体識別ラベル

仕入れた枝肉、部分肉

精肉（パック商品）

FTP によるファイル転送

データをインターネットを経由して、FTP サーバー間と送受信できます。
→ 231 ページ

目的別検索ガイド

セットアップするには
プリンタを安全に使うために
プリンタの設置
各部の名称の確認
用紙のセット
操作パネルの使い方
キーのはたらき
文字の入力方法
LCD表示の意味
呼出し発行の方法
FIツールのインストール
プリンタの初期設定
固定発行の方法
プリンタの初期設定
ラベルとバーコードの種類
オンライン発行
プリンタドライバのインストール
USB、LAN、無線LANの設定
プリンタの初期設定
値下げラベルの発行
スキャナの接続
値下CODE128
値下JAN2段
個体識別ラベルの発行
スキャナの接続
継承ラベルの発行
個体識別ラベルの発行
取扱説明書
安全上のご注意
→ 10 ページ
第1章　プリンタの設置
→ 25 ページ
第2章
操作パネルの使い方
→ 51 ページ
クイックガイド
第3章　呼出し発行
→ 61 ページ
第4章　固定発行
→81 ページ
CD-ROM
第6章　環境設定
→ 215 ページ
第5章
その他の発行機能
→ 111 ページ
第9章　付録
→ 281 ページ
第5章
その他の発行機能
→ 115 ページ
第9章　付録
→ 281 ページ
第5章
その他の発行機能
→ 173 ページ

発行モードと用意する環境

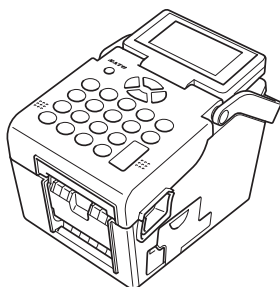
発行方法	必須ソフトウェア	インタフェース	ラベル
呼出し発行	FIツール	―	バーラベ固定ラベル バーラベフリーラベル プチラパンラベル
固定発行	共通データ管理ソフト	―	バーラベ固定ラベル
オンライン発行	ラベル作成AP* プリンタドライバ	USB/ LAN/ 無線LAN	バーラベ固定ラベル バーラベフリーラベル プチラパンラベル
値下 CODE128	―	―	バーラベラベル（W55） バーラベラベルW48 プチラパンラベル（W55） プチラパンラベルW48 プチラパンラベルP35
値下 JAN2段			P65 x W32 P35 x W48
個体識別	―	―	個体ラベル 小（P25 x W32） 大（P38 x W40）

＊　SBPLに対応したアプリケーション。詳しくは販売店、ディーラーにお問い合わせください。

第1章　プリンタの設置

ここでは、本プリンタの操作の大まかな流れについて説明します。
実際に印字する前に、必ずお読みください。

操作の流れ

① 設置します。

設置する前に「設置に必要なスペースを用意する」(26 ページ)を、必ずご覧ください。

コンセントに直接つないで使うときは…

付属の AC アダプタを取り付けます（45 ページ)。

コンセントのないところで使うときは…

オプション（別売）のバッテリパックを取り付けます。「バッテリパックの装着と取り出しかた」(49 ページ) をご覧ください。

② 電源を入れます。

- ACアダプタまたはバッテリパックのどちらかをセットして、操作パネルの 電源 キーを押してONにします。

③ 用紙をセットします（35 ページ）。

- 用紙の印字面を上にしてください。
- 本体を開けて、用紙ホルダに用紙をセットします。
- 連続印字のときとハクリ印字のときでは、用紙のセットのしかたが多少異なります。

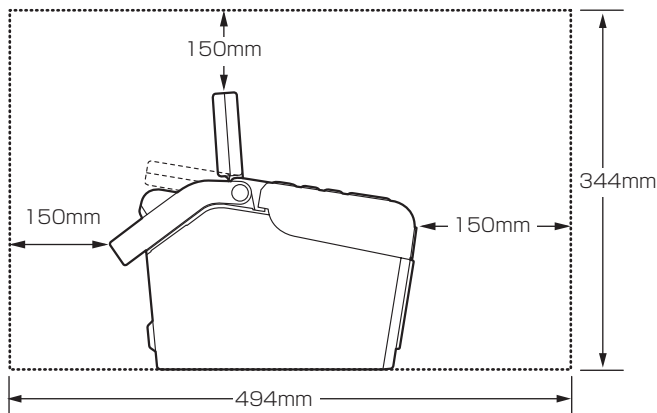
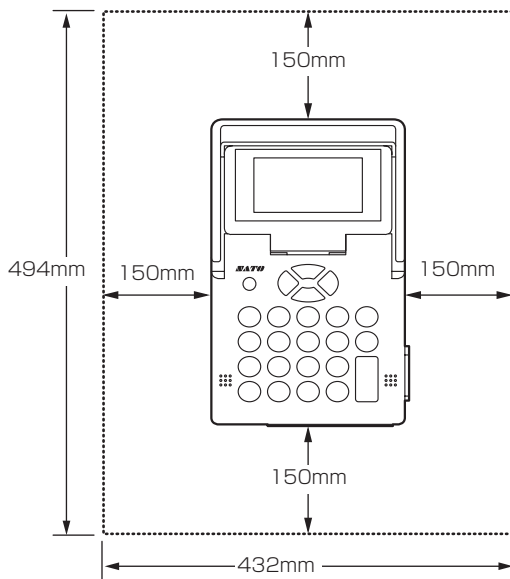
連続印字
(37 ページ)

ハクリ印字
(39 ページ)

④ ラベル作成の準備をします。

- カレンダー設定をします（200 ページ)。
- 価格総額表示を設定します（204 ページ)。
- 初期設定をします（各発行モードごと）。
- ラベルをどのようなスタイル（ラベルのサイズ、価格の印字位置など）で印字するかを決めます（各発行モードごと)。
- 呼出し発行のときは、FIツールでデータを作成し、プリンタにデータを移します。

設置に必要なスペースを用意する

- プリンタ（重量：約1.7kg）は平らで水平な場所に置いてください。
- 壁掛けキット（オプション）を利用する場合は、壁掛けブラケットがしっかり固定できる壁を確保してください（286 ページ）。
- プリンタのまわりに下図に示すスペースを確保してください（32 ページ）。
特に用紙排出口をふさがないよう注意してください。

設置および取り扱い上のご注意

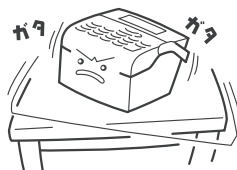
次のことに注意して、本プリンタの設置・取り扱いをおこなってください。

設置場所について

水平な場所に設置してください。

凹凸があったり斜めになっている場所に設置すると、きれいな印字ができません。故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。

振動のある場所に設置しないでください。

振動のある場所に設置するときれいな印字ができないことがあります。ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。

高温・多湿な場所に設置しないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度・湿度が高い場所は、故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。

ほこりを避けて使用してください。

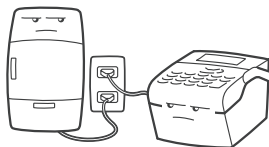
ほこりの多い場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。

直射日光の当たる場所を避けてください。

本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光に当たるとセンサが誤動作を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。

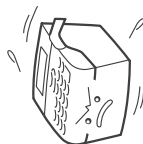
クレーンやプレス機などのそばに置かないでください。

消費電力の大きい電気製品の近辺にあるコンセントから、電源を供給しないでください。電気ノイズや電圧低下による誤動作や故障の原因になります。

クレーンやプレス機などの大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こすことがあります。本プリンタの誤動作や故障の原因になりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。

側面をふさぐ場所に設置しないでください。

本プリンタを設置するときは、本プリンタ側面と壁などの間に 15cm 以上のすき間を空けてください。発熱による故障やプリンタ寿命を縮める原因になります。

本プリンタを横または逆さまにしないでください。

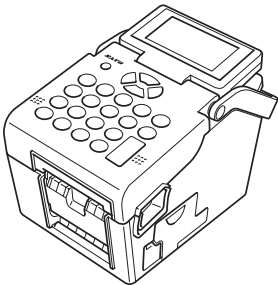
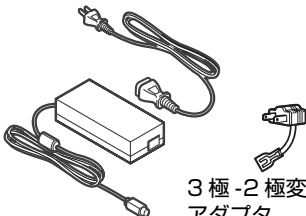
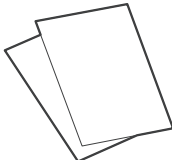
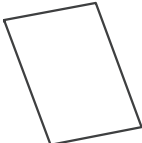
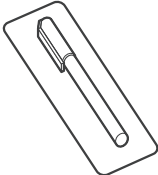
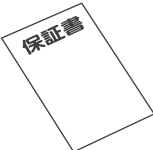
本プリンタに用紙をセットしたまま、電源ユニットやバッテリパックの取り付けなどにより、本プリンタを横にしたり逆さまにすると、用紙ホルダから用紙が外れ用紙づまりの原因になります。また、用紙が破れたり傷が付いて、きれいな印字ができない場合があります。

電源について

本プリンタは AC100V の交流電源が必要です。

必ず AC100V の交流電源につないでください。本プリンタの誤動作や故障のおそれがあります。

電圧の低下などの変動が少ないコンセントから電源を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じコンセントや、その近くのコンセントから電源を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。

必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。

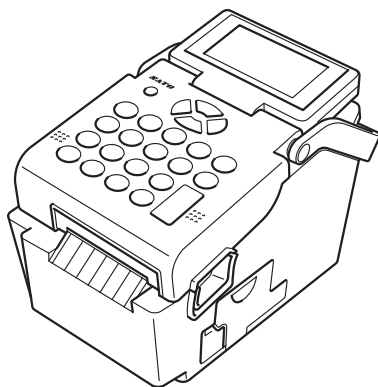
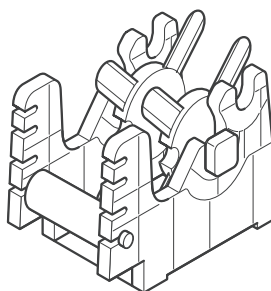
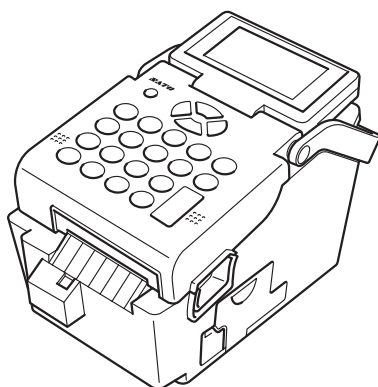
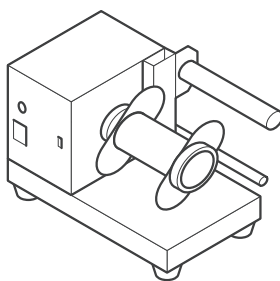
箱の中身を確認する

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店またはディーラーまでお問い合わせください。

本体と同梱の付属品

FIツールについて

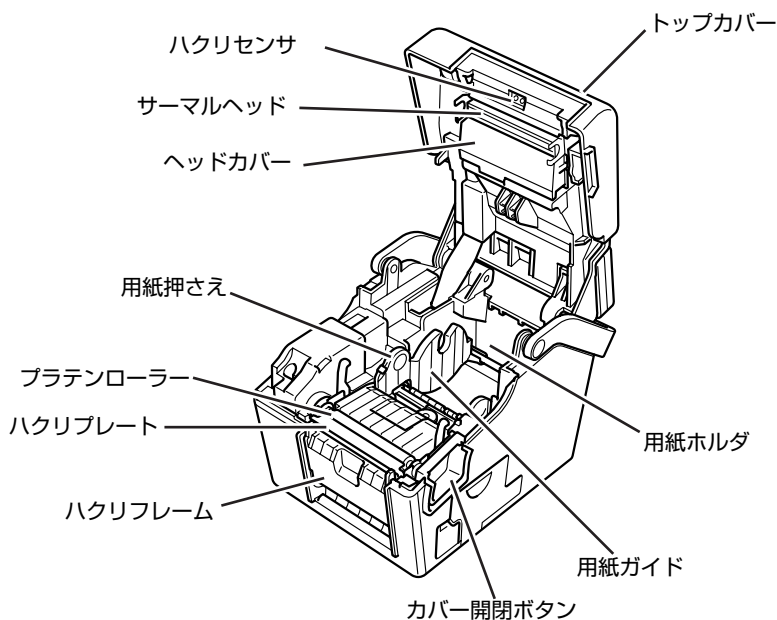
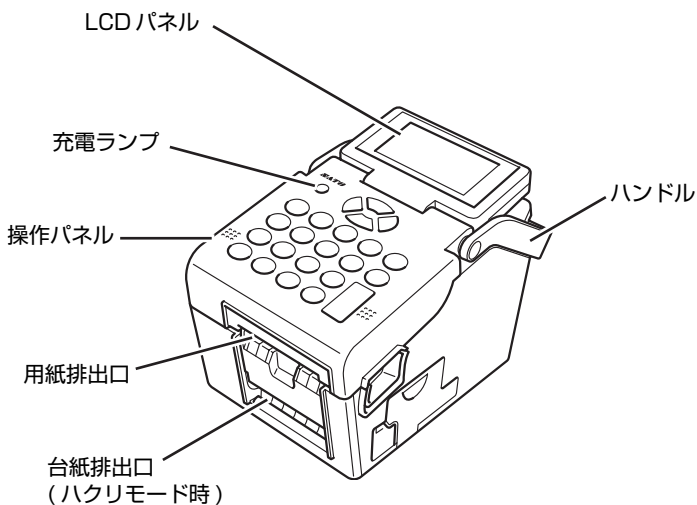
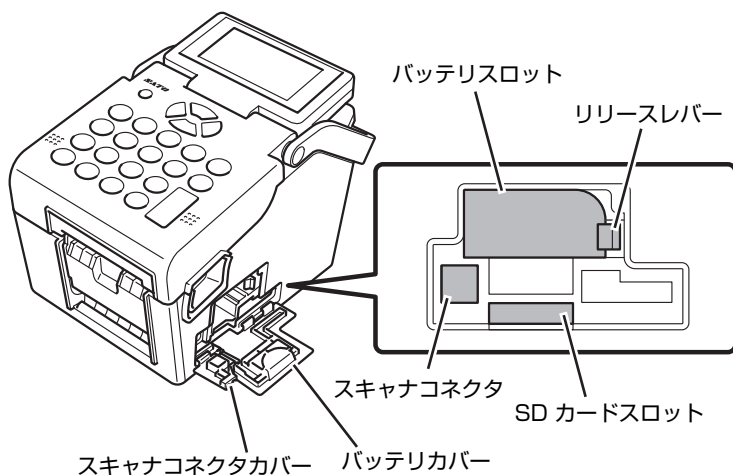
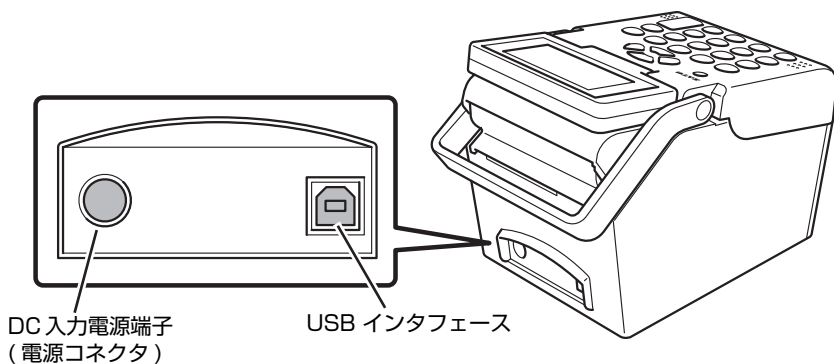
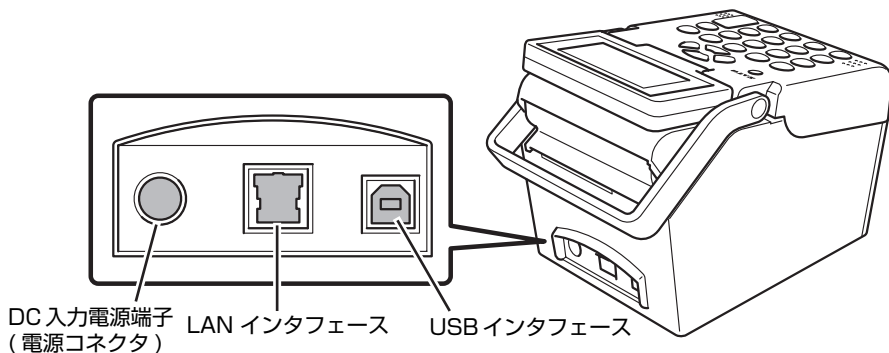
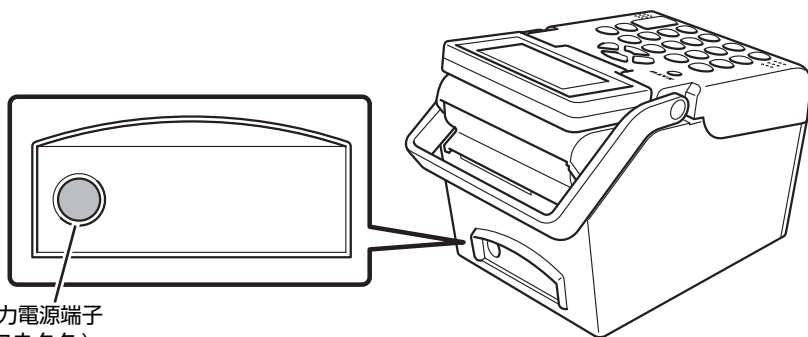
FI212Tの「呼出し発行」をおこなうためのデータを作成するには添付CD-ROM内の「FIツール」を使用します。FIツールのセットアップ方法、取り扱い方法については添付のクイックガイドやCD-ROM内の FIツールのヘルプをご覧ください。

カッタ仕様

ノンセパ（カッタ付き）仕様

外部供給装置 UW200EF　　外部巻取機 RW350

※外部供給装置（UW200EF）および外部巻取機（RW350）の設置および使用方法については、各装置に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

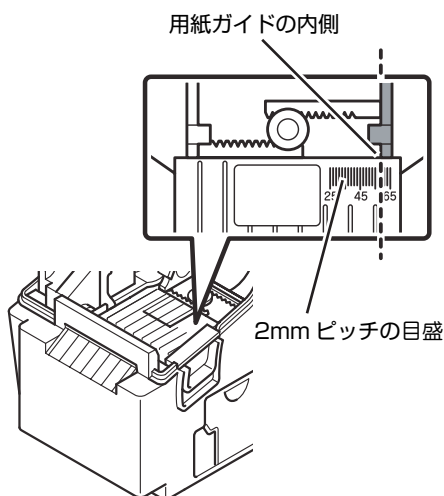
各部の名称

LCD パネル
充電ランプ
ハンドル
操作パネル
用紙排出口
台紙排出口
(ハクリモード時)

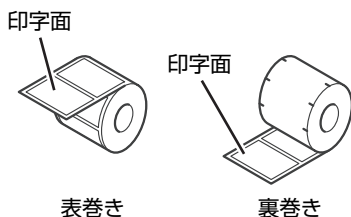
ハクリセンサ
トップカバー
サーマルヘッド
ヘッドカバー
用紙押さえ
プラテンローラー
ハクリプレート
用紙ホルダ
ハクリフレーム
用紙ガイド
カバー開閉ボタン

右側面部

背面部（USBモデル）

背面部（USB＋LANモデル）

背面部（無線LANモデル）

用紙をセットする

本プリンタは「連続」「ティアオフ」「センサ無視（ジャーナル)」「ハクリ」「カッタ」（オプション)、「ノンセパ」モードでラベルを印字できます。
また、サトー製品の用紙純正®のご使用をお願いします。

用紙幅を確認する方法

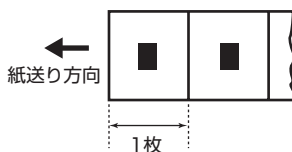
下図の目盛を使用して、用紙幅を測ることが可能です。

用紙をセットした後、用紙ガイドの内側と目盛を合わせるようにして、用紙幅を測ります。

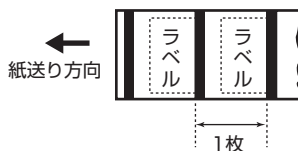
用紙幅の目盛は25～65mmまで表示されており、1目盛が2mmです。

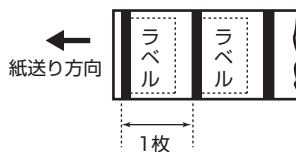
用紙の巻き方向について

用紙は、表巻きと裏巻きがあります。印字面を上にしてセットしてください。

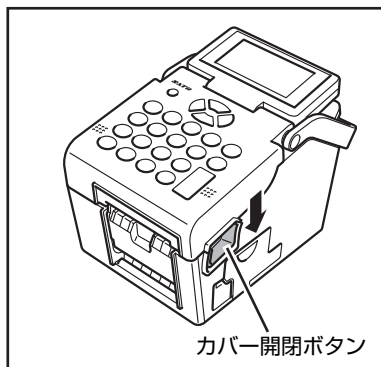
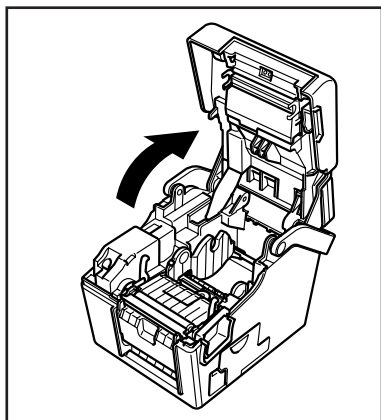
表巻き：印字面がラベル外側に面している
裏巻き：印字面がラベル内側に面している

用紙の種類について

用紙の種類によって、ラベル裏面のアイマークの位置が異なります。

アイマークがラベルの
内側に位置している。

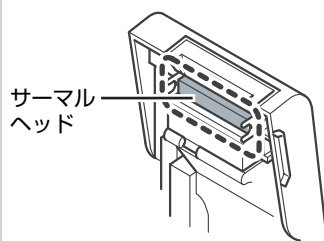
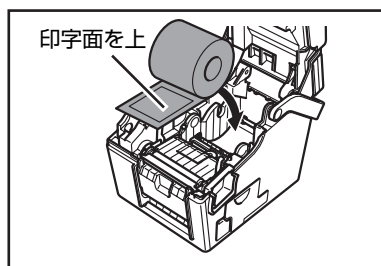
バーラベフリーラベル

アイマークがラベルの
後尾に位置している。

プチラパンラベル

アイマークがラベルの
先頭に位置している。

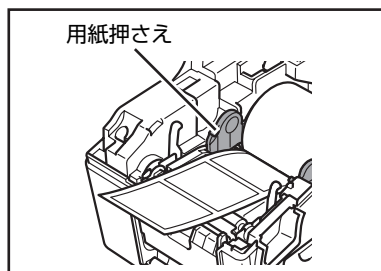
連続／ティアオフ／センサ無視（ジャーナル）／ノンセパモードの場合

❶ 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。

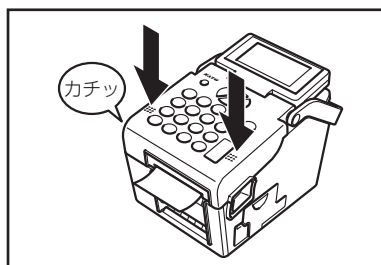
❷ トップカバーを引き上げるようにして開きます。

⚠ 注意

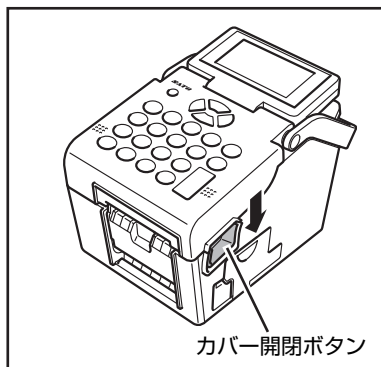
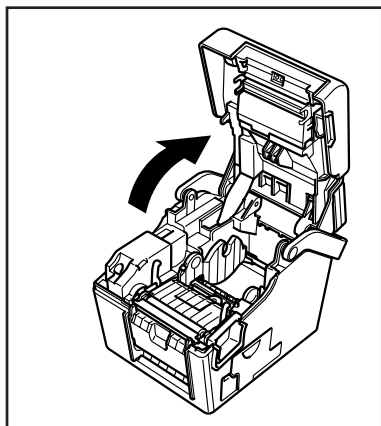
- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。

❸ **用紙を用紙ホルダにセットします。**

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。35 ページの「用紙の巻き方向について」をご覧ください。左図は、裏巻ラベルです。

❹ **用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。**

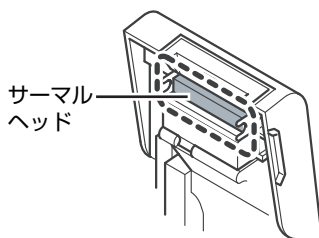
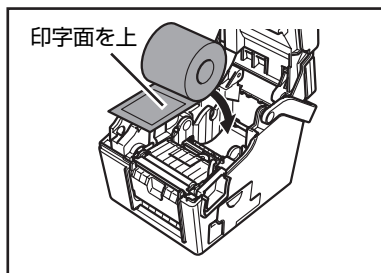
用紙が用紙押さえの下を通るようにします。

❺ **用紙先端を開口部から数センチ出した状態で、トップカバーを閉じます。**

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

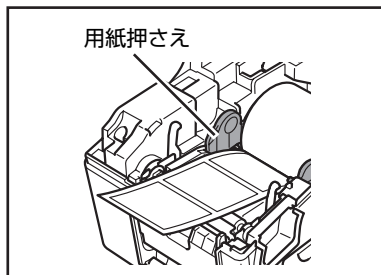
ハクリモードの場合

❶ 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。

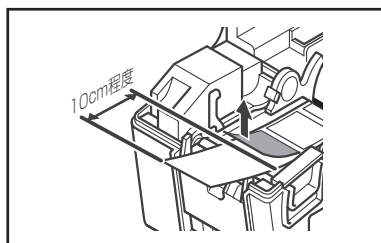
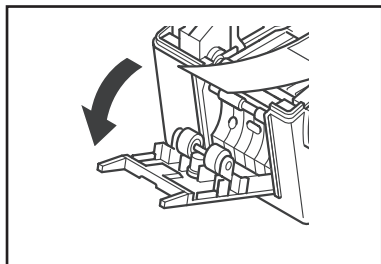
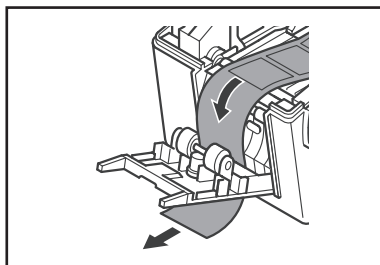
❷ トップカバーを引き上げるようにして開きます。

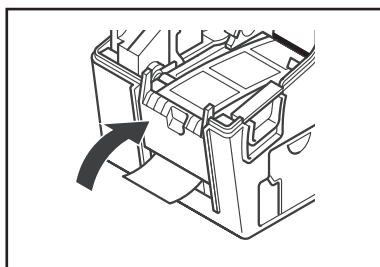
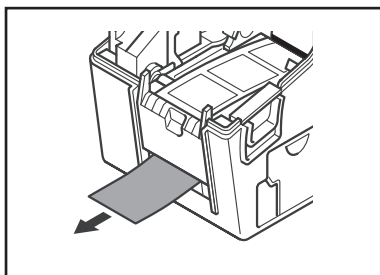
⚠ 注意

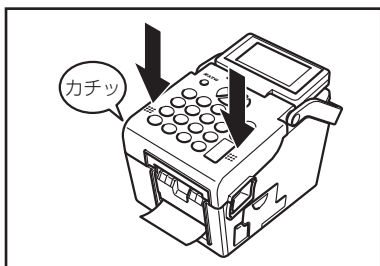
- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。

❸ **用紙を用紙ホルダにセットします。**

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。35 ページの「用紙の巻き方向について」をご覧ください。左図は、裏巻ラベルです。

❹ **用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。**

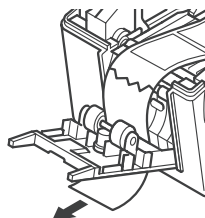
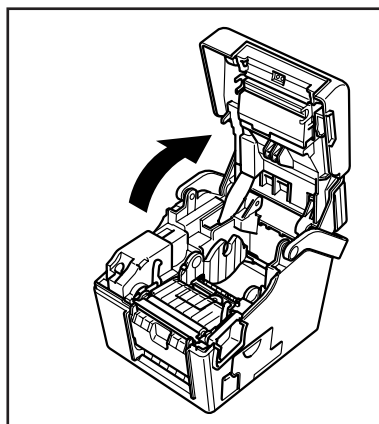
用紙が用紙押さえの下を通るようにします。

❺ **ラベルを台紙から10cm程度はがします。**

❻ **本体前面のハクリフレームを、手前に倒します。**

❼ **台紙を、ハクリフレームの開口部に通します。**

ハクリプレートとプラテンローラーの間には通さないでください。

❽ **ハクリフレームを閉じます。**

❾ **台紙を軽く引いて、ラベルのたるみをなくします。**

❿ **トップカバーを閉じます。**

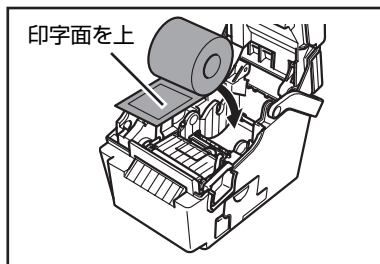
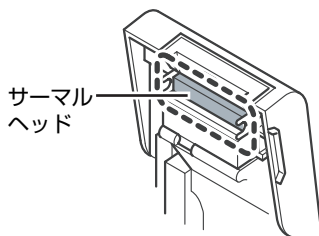
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

ラベル交換時の注意

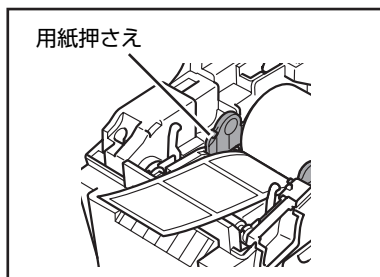
台紙を抜き取る際は、必ず、ハクリフレームを開き、台紙を切り取り、矢印方向に引き抜いてください。ハクリフレームを閉じた状態で、無理に台紙を引き抜きますと、故障の原因になる場合があります。

カッタモード（オプション）の場合

❶ 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。

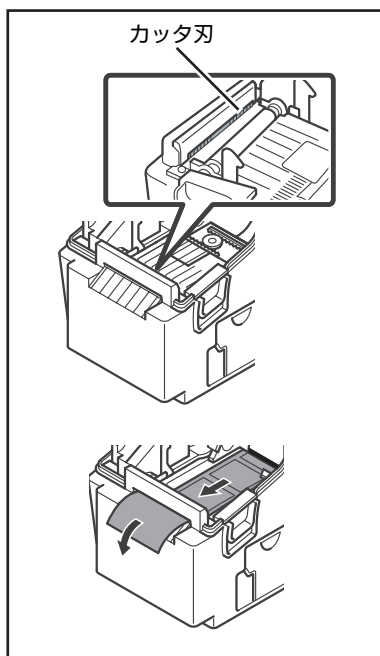
❷ トップカバーを引き上げるようにして開きます。

⚠ 注意

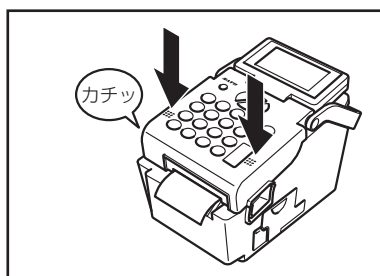
- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。

❸ **用紙を用紙ホルダにセットします。**

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。35 ページの「用紙の巻き方向について」をご覧ください。左図は、裏巻ラベルです。

❹ **用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。**

用紙が用紙押さえの下を通るようにします。

❺ ラベルをカッタ刃に通します。

⚠注意

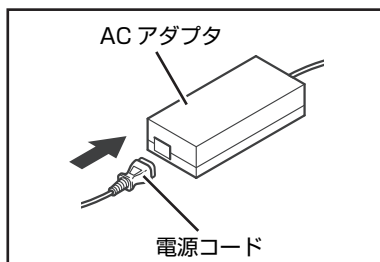
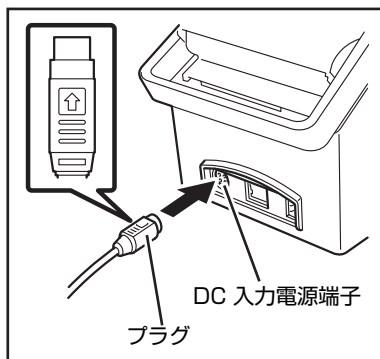
ラベルを通す際、カッタ刃に触らないように注意してください。

❻ トップカバーを閉じます。カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

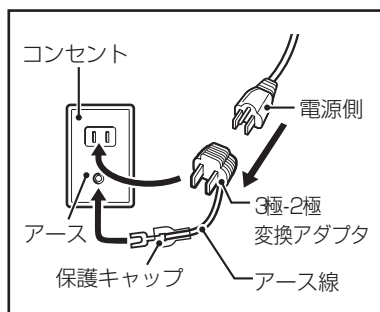
電源を入れてみましょう

本プリンタをコンセントのある場所で使用するときは、付属の専用 AC アダプタを接続します。

- 本プリンタに付属のACアダプタ、電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。
- 水がかかる場所で使用したり、水にぬらさないでください。火災や感電、故障の原因になります。

専用ACアダプタを接続する

本プリンタ側の接続

❶ ACアダプタと電源コードを接続してください。

❷ プラグは差し込む方向を確認して、本プリンタのDC入力電源端子に↑(矢印)がある面を上にして差し込みます。

コンセント側の接続

❶ **コンセントに電源コードのプラグをしっかりと差し込みます。**

❷ **[電源] キーを1秒以上押し、電源を入れます。**

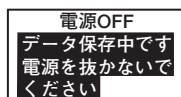
- 濡れた手で電源キーの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ACアダプタのDC入力電源端子を取り外す際は、必ずプリンタの電源を切ってください。
  データ入力中または保存中に電源を切ると、データが正しく更新されない場合がありますのでご注意ください。
- ACアダプタを使用する場合、バッテリパック（オプション）は不要です。バッテリパックとACアダプタを同時に使用した場合、ACアダプタからの電源供給が優先されます。
- 3極-2極変換アダプタの保護キャップを外し、必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になりますのでご注意ください。
- 消費電力の大きい電気製品と同じコンセントや、その近くのコンセントから電源を供給しないでください。

重要

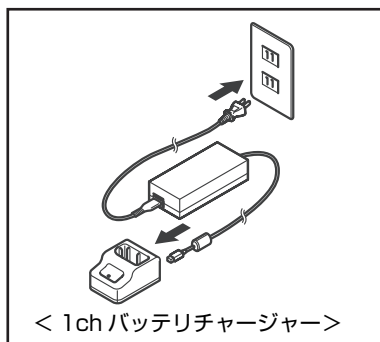
電源を切るときは

[電源] キーを1秒以上押すと、電源OFFモードに入り、設定データなどを保存後、自動的に電源をOFFします。

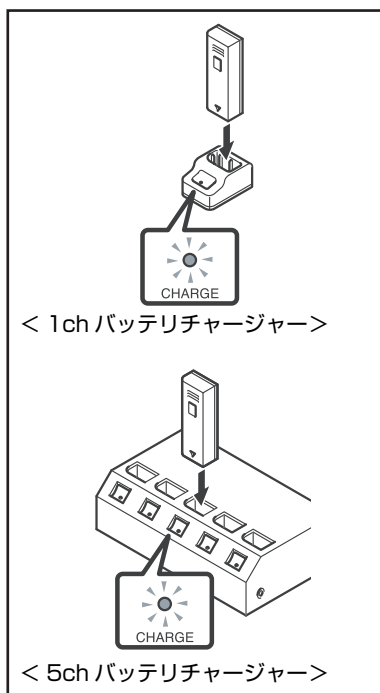
- この画面が表示されたら [電源] キーから指を離してください。7秒以上押し続けると設定を保存せず、電源をOFFします。
- また、電源OFFが完了する前に電源コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。

バッテリパックの充電

バッテリチャージャージャーにバッテリパック（共にオプション）を取り付けて充電します。

⚠ 注意　バッテリチャージャージャーは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

< 1ch バッテリチャージャージャー>

❶ **電源コードをバッテリチャージャージャー本体に差し、コンセントにつなぎます。**

< 1ch バッテリチャージャージャー>

< 5ch バッテリチャージャージャー>

❷ **バッテリパックの▽を下にしてバッテリチャージャージャーの挿入口に差し込みます。**

充電が始まると、CHARGEランプ(赤)が点灯します。

充電が終了すると、CHARGEランプ（緑）が点灯します。(満充電)

❸ **充電が終了したら、バッテリパックを取り外します。**

CHARGE ランプ（赤）が点滅している場合は、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。

充電時間について

充電残量が空の状態からCHARGEランプ（緑）が点灯するまでに1chバッテリチャージャー、5chバッテリチャージャーの両方とも約1.5時間かかります。

CHARGEランプが点灯していないときは、バッテリパックがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

バッテリ残量について

バッテリパックは、使用するにつれて出力電圧が低くなります。出力電圧が低くなると、ラベルの発行枚数が少なくなったり、または発行できなくなります。

本プリンタの電源を入れたときや発行中に以下のような画面が表示されたら、バッテリパックの充電をおこなってください。

バッテリ
EMPTY

- バッテリ残量が少なくなってきましたので充電してください。

- バッテリを充電しないと印字できません。
（数秒間ブザーが鳴り、通常画面に戻ります。）

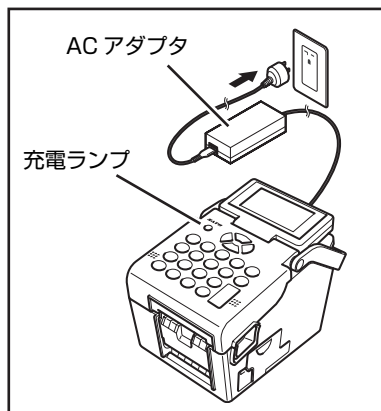
バッテリパックに関するお願い

バッテリパックの寿命は、充電回数約 300 回（常温使用時）です。
バッテリに貼られたステッカの『開始日』欄に使用開始日を油性ペンで記入することで、バッテリ交換時期（寿命）の目安になります。

プリンタに専用ACアダプタを取り付けて充電する場合

プリンタにバッテリパックを装着して充電します。

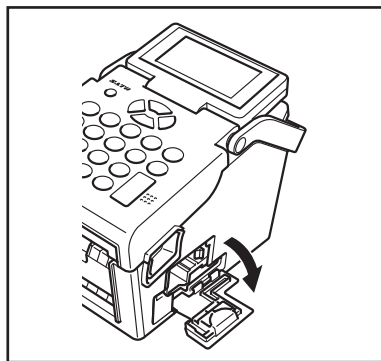
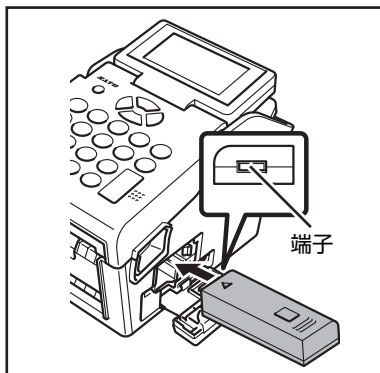
⚠注意

本プリンタに付属のACアダプタ、電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

1. **プリンタにバッテリパックを装着し、ACアダプタをコンセントにつなぎます。**

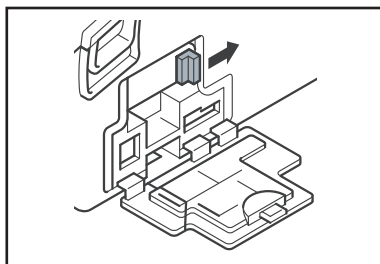
2. **バッテリパックの充電が始まると、本プリンタの充電ランプが赤点灯し、充電が終了すると充電ランプが消えます（満充電）。**

   バッテリパックの残量が空の状態から満充電になるまで、約6時間かかります。

バッテリパックの装着と取り出しのしかた

本プリンタをコンセントのない所で使用するときは、オプション（別売）のバッテリパックを使用します。

1. **バッテリカバーを開きます。**

❷ **バッテリパックを図のように差し込みます。**

バッテリパックを奥まで挿入するとブルーのリリースレバーがカチッと音を立て、バッテリパックがロックされます。

バッテリパックは端子が見えている方から先に挿入してください。

❸ **バッテリパックの取り出しは、リリースレバーを矢印方向に押してロックを外します。**

バッテリパック下部の取っ手を持って引き出してください。

⚠ 注意

- バッテリパックの取り出しや、交換の際は、必ず電源を切ってください。
- 上記の操作以外で、バッテリパックを取り出すとプリンタに記憶されている情報が更新されない場合がありますのでご注意ください。

第2章　操作パネルの使い方

キーのはたらき

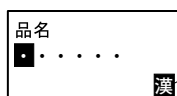
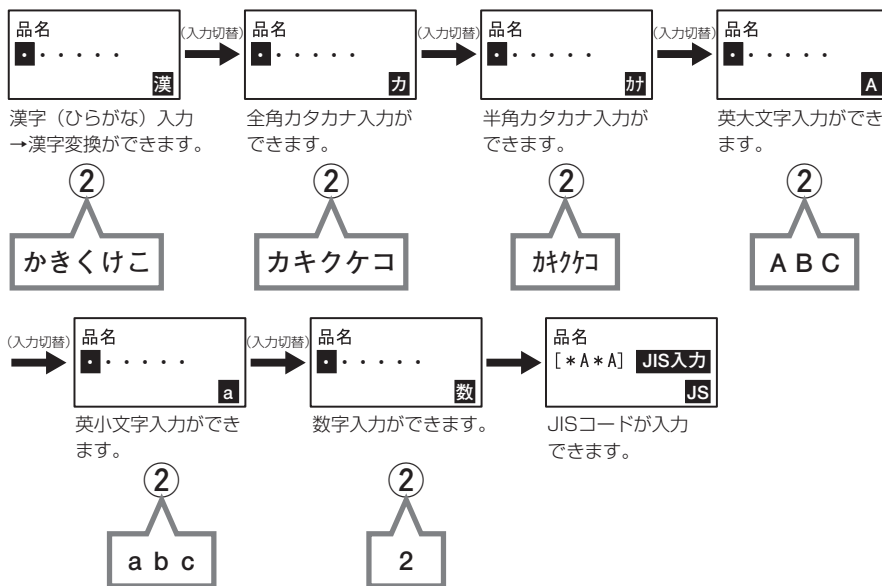
本プリンタを操作するときはキーボードを使います。ここでは、それぞれのキーのはたらきを紹介します。

番号	本書での表現	はたらき
①	電源	・電源OFF時に押すと電源がONになります。電源ON時に1秒以上押すと電源がOFFになります。
②	メニュー/前画面	・操作の途中で､前の画面に戻りたいときに押します。 ・1つ上のメニューへ戻りたいときは1秒以上押します。
③	日付	・カレンダーを一時変更するときに押します。(呼出し発行と固定発行のみ)
④	発行/停止	・ラベルが印字されている途中で印字を停止したり、印字を再開させたりするときに押します。 ・文字の入力状態が「漢字（ひらがな)」および「カタカナ」のとき、句読点などが入力できます。
⑤	紙送	・用紙を送りたいときに押します。 ・文字の入力状態が「漢字（ひらがな)」および「カタカナ」のとき、濁音（゛）半濁音（゜）が入力できます。
⑥	シフト	・品名入力で、小さい文字（拗音・促音・小文字など)、スペースを入力するときに押します。 ・英文字を全角・半角変換するときに押します。
⑦	削除/AC	・データを入力している画面で、カーソル位置にある文字を削除します。 ・入力した文字をすべて消したいときは1秒以上押します。

番号	本書での表現	はたらき
⑧	入力切替	・品名入力で入力状態を切替えるときに押します。 ・呼出し発行時、呼出し名検索やバーコード検索を使用するときに押します。 ・漢字(ひらがな)⇒全角カタカナ⇒半角カタカナ⇒英大文字⇒英小文字⇒数字⇒JIS入力の順に変わります。
⑨	確定	・入力したデータを確定するときや、操作を進めるときに押します。
⑩	数字キー／文字キー	・数字キーは、価格やバーコードデータなどの数値を入力するときに押します。 ・品名入力のときは、漢字（ひらがな）・カタカナ・英文字が入力できます。
⑪	▲ ▼ ◀ ▶	・項目を選ぶ画面では■（カーソル）を表示します。 ▲▼◀▶キーを押して、カーソルを目的の項目に合わせます。 ・バーコードデータなどを入力するときは、カーソル位置に文字が入ります。 ・▲キーで、入力した文字を漢字変換します。 ・▼キーで、入力した文字の変換候補に移動します。

文字を入力する

漢字（ひらがな）・カタカナ・英数字（大文字、小文字）・数字・記号を入力できます。

■ 漢字（ひらがな）・カタカナ・英数字・数字・記号の使い分け

（注）固定発行モードでは、漢字の場合は最大6文字まで登録可能です。
半角カタカナ・英文字・数字・記号は最大12文字まで登録可能です。

■ いろいろな文字の入力のしかた

＜漢字（ひらがな）＞

入力切替 キーを押して**漢字（ひらがな）**モードにする。

種　類	例	入力方法
清　音	あ	あ
拗　音 (促音)	ぁ	あ＋ シフト キー ※ シフト キーを押すと、小文字に変換できます（「文字一覧」54 ページ）。
濁　音 半濁音	ば ぱ	は＋ 紙送 キー 1回押す（゛） は＋ 紙送 キー 2回押す（゜） ※濁音（゛）半濁音（゜）は清音を入力した後に 紙送 キーを押します 。
句読点	、 。 ー	発行/停止 キー 発行/停止 キー×2回 発行/停止 キー×3回

第2章 操作パネルの使い方

＜英文字＞

入力切替 キーを押して**A**または**a**モードにする。

種　類	例	入力方法	
大文字	A（全角） A（半角）	A（半角）＋ シフト キー A（全角）＋ シフト キー	英大文字は、初期設定で半角に設定されています。 シフト キーを押すと全角・半角の切替えができます。
小文字	a（全角） a（半角）	a（半角）＋ シフト キー a（全角）＋ シフト キー	英小文字は、初期設定で半角に設定されています。 シフト キーを押すと全角・半角の切替えができます。

＜スペース＞

間隔を空けたい場所にカーソルを移動して シフト キーを押すと、スペースを入力できます。

■　文字一覧

各入力状態への切替えかた	電源ON時	（入力切替）	（入力切替）	（入力切替）	（入力切替）	（入力切替）
状態／キー	漢字（ひらがな）	全角カタカナ	半角カタカナ	英大文字	英小文字	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ1	アイウエオ ァィゥェォ1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1	．ー／：~（）＃％＆！1	．ー／：~（）＃％＆！1	1
2	かきくけこ2	カキクケコヵヶ2	ｶｷｸｹｺ2	ＡＢＣ2	ａｂｃ2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	ｻｼｽｾｿ3	ＤＥＦ3	ｄｅｆ3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ4	ＧＨＩ4	ｇｈｉ4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	ﾅﾆﾇﾈﾉ5	ＪＫＬ5	ｊｋｌ5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	ﾊﾋﾌﾍﾎ6	ＭＮＯ6	ｍｎｏ6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	ﾏﾐﾑﾒﾓ7	ＰＱＲＳ7	ｐｑｒｓ7	7
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	ﾔﾕﾖｬｭｮ8	ＴＵＶ8	ｔｕｖ8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	ﾗﾘﾙﾚﾛ9	ＷＸＹＺ9	ｗｘｙｚ9	9
0	わをんゎ0	ワヲンヮ0	ﾜｦﾝ0	スペース0	スペース0	0
（発行/停止）	、。ー	、。ー	､｡ｰ			
（紙送）	゛゜	゛゜	ﾞﾟ			

文字の入力方法

漢字編

かな漢字変換機能を利用して、漢字が入力できます。漢字の入力方法を、例（高原野菜）にもとづいて説明します。この例では、「高原野菜」を「高原」と「野菜」に分けて、漢字変換をおこなっています。

例　高原野菜（こうげんやさい）

❶［か］を5回押して、"こ" を表示します。

3段目、4段目に変換候補が使用頻度の高い順に表示されます。

入力中に 削除/AC キーを押すと最後の1文字を消去して、別の変換候補が表示されます。長押しするとすべて消去されます。

❷［あ］を3回押して、「う」を表示します。

同様に変換候補が表示されます。

- 入力中に変換候補を選択しないで 確定 キーを押すと、変換されずに「ひらがな」で確定されます。
- 変換候補は最大10個まで表示されます。

❸［か］を4回押して、「け」を表示します。

紙送 キーを1回押して、「゛ 」を表示します。

同様に変換候補が表示されます。

❹ **［わをん］を3回押して、「ん」を表示します。**

▼キーを押して、変換候補にカーソルを移動します。

- ▲キーを押すと、入力した文字を漢字変換できます。
- ▼キーを押すと、入力した文字の変換候補に移動できます。

❺ **◀▶キーで変換候補まで移動し、確定キーを押します。**

「高原」が品名として確定されます。

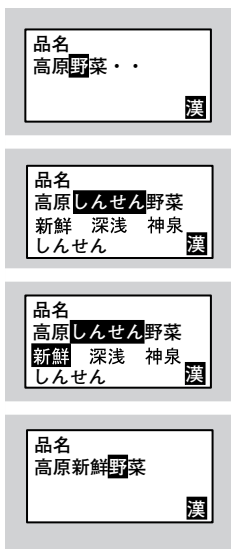
変換候補選択中に入力切替キーを押すと選択中の候補が確定し、入力モードが切替ります。

❻ **前の手順と同じように「やさい」と入力します。**

変換候補が表示されますので、▼キーを押し、◀▶キーで変換候補まで移動します。

❼ **確定キーを押すと、「野菜」が品名として確定されます。さらに確定キーを押すと、登録が終了します。**

同じ文字キーを続けて使用するときは
続けて同じ文字キーを使用しない文字の場合は、▶キーを押してカーソルをとなりに移動させる必要はありませんが、「かき」など、同じ文字キーを続けて使うときは、▶キーを押してから、次の文字を入力してください。

例　かき

❶［か］を1回押します。

❷ そのまま▶キーを1回押します。

❸［か］を2回押します。

漢字の挿入について
かな漢字変換の入力画面では、カーソル位置に文字が挿入できます。

例「高原野菜」の「野菜」の前に「新鮮」を挿入する場合

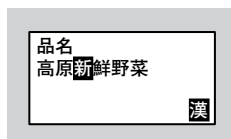
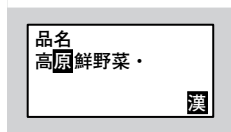
❶ 画面2段目の「野」にカーソルを移動します。

❷ ひらがなで「し」「ん」「せ」「ん」と入力します。

❸ ▼キーを押すと、変換候補にカーソルが移動します。◀▶キーで変換候補までカーソルを移動します。

❹ 確定キーを押すと、“新鮮”を確定し、挿入されます。

漢字の削除について
カーソル位置の文字が削除できます。

例「新」を削除する場合

❶「新」にカーソルを移動します。

❷ 削除/AC キーを押すと、「新」が削除され、左に文字が詰まります。削除/AC キーの長押しで、すべての漢字を削除します。

漢字の追加について
漢字を確定した後、続けて入力します。

JIS漢字コード入力

JIS 漢字コードを使用して漢字入力をします。

例「高原野菜」の「高原」と「野菜」の間に「新鮮」を入力する場合

❶ **文字を挿入する場所にカーソルを移動します。**

❷ **入力切替 キーを6回押して、JISコード入力画面を表示します。**

❸ **「新」のJISコード3F37を入力し、日付 キーを押します。**

❹ **“新”が表示されます。確定 キーを押して決定します。**

❺ **「鮮」のJISコード412Fを入力し、日付 キーを押します。“鮮”が表示されたら 確定 キーで決定します。**

❻ **すべての文字が表示されたら 入力切替 キーを押します。**

❼ **JIS漢字コードで入力した「新鮮」が指定した位置に挿入されていることを確認してください。**

- JIS漢字コードで数字を入力した場合は、カーソルが自動で右に移動します。
- アルファベット入力は、▲ ▼ キーを押して A～F を選び、▶ キーを押して右に移動してください。

カタカナ・英文字・数字・記号編

例　イカ

❶ **入力切替 キーを押して「カ」（全角カタカナ）を選びます。**

［あ］を2回押します。

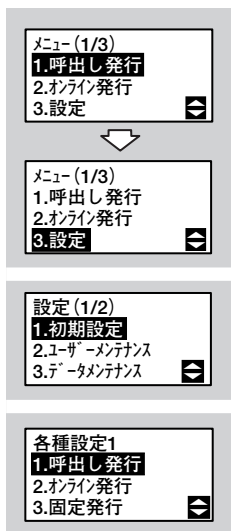
「イ」が表示されます。

❷ **［か］を1回押すと、カーソルが1つ右にずれて、「カ」が表示されます。**

確定 キーを押すと、「イカ」が登録されます。

第 3 章　呼出し発行

呼出し発行の初期設定

はじめて呼出し発行をおこなう前に以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“1. 初期設定” を選び、確定キーを押します。**

「各種設定」画面が表示されます。

❸ **“1. 呼出し発行” を選び、確定キーを押します。**

「用紙種別」画面が表示されます。

以降 18 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	項目	初期値	参照ページ
1	用紙種別	バーラベフリーラベル	62 ページ
2	用紙サイズ	25mm	62 ページ
3	発行形態	連続	63 ページ
4	印字位置調整	縦：↓00ドット　横：→00ドット	63 ページ
5	呼出し名検索文字桁数設定	3桁	64 ページ
6	バーコード検索	あり	64 ページ
7	呼出し発行履歴データ転送	あり	64 ページ
8	呼出し履歴データ転送方法	SD	64 ページ
9	プリンタNo.	0000	64 ページ
10	連番保持機能設定	あり	64 ページ
11	都度発行	なし	65 ページ
12	発行枚数表示	する	65 ページ
13	発行後戻先指定	しない	65 ページ
14	価格未入力許可	しない	65 ページ
15	本体メンテナンス	なし	65 ページ
16	QRコード発行	なし	66 ページ
17	税率優先設定	ツール優先設定	66 ページ
18	税率設定	００．０％	66 ページ

用紙種別

呼出し発行に使用する用紙の種類を選びます。用紙種類の詳細については 36 ページをご覧ください。

- バーラベ固定ラベル
- バーラベフリーラベル
- プチラパンラベル

用紙サイズ

用紙サイズを選びます。この画面は前項の「用紙種別」画面で“バーラベ固定ラベル”を選んだときのみ表示されます。

- 16mm
- 20mm
- 25mm
- 35mm
- 38mm

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

発行形態1
1. 連続
2. ティアオフ
3. ジャーナル

発行形態2
4. ノンセパ

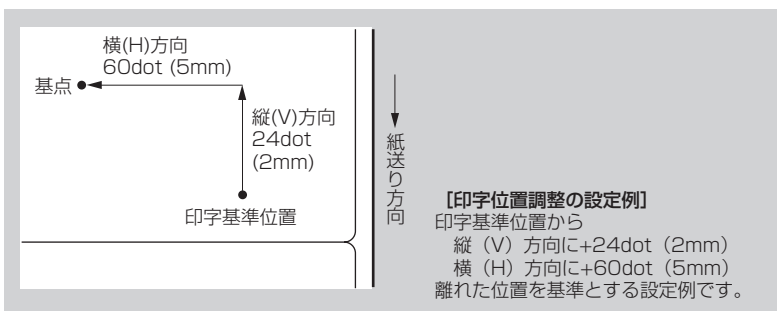
- 連続
- ティアオフ
- ジャーナル
- ノンセパ
- カッタ（カッタ搭載機のみ）
- ノンセパカッタ（カッタ搭載機のみ）

- ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（68 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
- カッタでは、バーラベ固定ラベルが使用できません。
- ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。

印字位置調整
縦［↓00］ドット
横［→00］ドット
数

シフトキーを押して、縦方向（↑ ↓）/ 横方向（← →）を切替えられます。

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

呼出し名検索文字桁数設定

呼出し発行において、「呼出し名検索」をおこなうときの検索文字数を設定します。

呼出し名検索
文字桁数設定
3 桁数

先頭から何桁検索するか、桁数を 1 ～ 8 で入力し 確定 キーを押します。

バーコード検索

呼出し発行において、「バーコード検索」をおこなう場合は、“あり”を選びます。

呼出し発行履歴データ転送

呼出し発行の履歴データを起動時に転送するかどうかを設定します。

発行履歴データを約 10 万件保存できます。

呼出し履歴データ転送方法

呼出し発行の履歴データの転送方法を設定します。

呼出し履歴
データ転送方法
1. SD
2. FTP

この画面は「呼出し発行履歴データ転送」(64 ページ)を“あり”に設定した場合のみ表示します。また、この画面はUSB＋LANモデルと無線LANモデルのみ表示します。

プリンタNo.

1 台のホストに LAN で複数台、本プリンタをネットワーク接続した場合、ホスト側から個々のプリンタを識別するための番号です。

連番保持機能設定

ラベルに通し番号を印字するかどうかを設定します。
本プリンタの電源を切っても、通し番号は保持されます。ただし、電源を切る前と同一の呼出しデータを選択した場合に限ります。

都度発行

「都度発行」はハクリ発行時のみ有効です。
「都度発行」を“あり”にすると、[発行/停止]キーを押すたびに、ラベルを 1 枚印字します。

“なし”にすると、[発行/停止] キーを押すまで、ラベルを 1 枚ずつ印字します。

発行枚数表示

発行枚数表示をするかどうかを設定します。

発行枚数表示
1. する
2. しない

発行後戻先指定

発行後戻先指定をするかどうかを設定します。

価格未入力許可

価格未入力を許可するかどうかを設定します。

本体メンテナンス

呼出し発行において、「本体メンテナンス」をおこなう場合は、“あり”を選びます。

本機能を使用するためには、FIツールPRO（オプション）でデータを作成する必要があります。詳しくは、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

QRコード発行

呼出し発行において、「QR コード発行」をおこなう場合は、“あり”を選びます。

本機能を使用するためには、FIツールPRO（オプション）でデータを作成する必要があります。詳しくは、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

税率優先設定

ツールで設定した税率と本体で設定した税率のどちらを優先するか設定します。

税率設定

税率を設定します。本画面で設定する税率は、価格総額表示設定（204 ページ）の税率と共通の設定となります。この画面は前項の「税率優先設定」画面で“本体設定優先”を選んだときのみ表示されます。

ラベルの発行

SDカードをプリンタに挿入し、SDカードに登録したデータを呼び出してラベルを発行します。

❶ **"1. 呼出し発行" を選び、確定キーを押します。**

呼出し No

呼出し名検索

バーコード検索

QR コード発行

❷ **データを呼び出します。**

呼出しNo	直接呼出しNoを入力し、確定キーを押します。
呼出し名検索	「呼出しNo」画面で入力切替キーを押すと表示されます。任意で登録した呼出し名を入力して、確定キーを押します（69 ページ）。
バーコード検索	「呼出し名検索」画面で▲キーを押すと表示されます。 登録済みのバーコードをスキャナで入力します。手入力する場合はバーコードを入力し、確定キーを押します（70 ページ）。
QRコード発行	「バーコード検索」画面で▲キーを押すと表示されます。 QRコード内のデータを参照して発行します。QRコードをスキャナで入力します。

- 「バーコード検索」画面は初期設定で「バーコード検索」が"あり"に設定されている場合のみ表示されます（64 ページ）。
- 呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示（呼出しNo、呼出し名検索、バーコード検索）が反転表示します。
- 呼出しテーブルを使用しない場合は、「バーコード検索」画面の最下段の表示が変わり、「QRコード発行」画面は表示されません。

❸ **発行するラベル枚数を入力し、確定キーを押します。**

連続発行 / ティアオフ発行時

発 行 中

XXXXXX / XXXXXX 枚
停 止 キ ー で 中 断

停 止 中

XXXXXX / XXXXXX 枚
発 行 キ ー で 再 開

ハクリ発行時

剥 離 発 行 中

停 止 キ ー で 終 了

❹ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❷に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は[発行/停止]キーで発行が一時中断します。再度、[発行/停止]キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は[発行/停止]キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、メニュー画面または呼出し No 入力画面で[▶]キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

発行種別を
選択してください
1. 連続(ティアオフ)
2. ハクリ

❶ **発行モードを選び、[確定]キーを押します。**

呼出しNo入力画面に戻ります

データの呼出し

データの呼出し方法は以下の 4 通りです。

- 呼出しNo　　　　任意で作成した呼出しデータの番号で検索します。
- 呼出し名検索　　任意で登録した呼出し名で検索します。
- バーコード検索　任意で登録したバーコードで検索します。
- QRコード発行　　QRコードをスキャンします。

ここでは呼出し名検索、バーコード検索、QR コード発行について説明します。

呼出し名検索

呼出し名検索をおこなうためには、FI ツールで検索項目に登録する必要があります。あらかじめ FI ツールで作成した呼出しデータを呼出し名を使って SD カードから呼び出します。

呼出し名検索
＊＊＊
↑：ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ検索ｶﾅ

❶「呼出しNo」画面で、入力切替 キーを押して「呼出し名検索」画面を表示させます。

呼出しテーブルを使用した場合は、 1段目の表示（呼出しNo、呼出し名検索）が反転表示します。

呼出し名検索
ﾒﾛﾝ
↑：ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ検索ｶﾅ

❷ 数字キーで文字を入力します。

入力切替 キーで入力文字種（カナ、英大・小文字、数字）を選びます。呼出し名を入力し、確定 キーを押して検索を開始します。

検索する桁数は初期設定の「呼出し名検索文字桁数」で設定します（64 ページ）。

検索結果
検索ｷｰ
ﾒﾛﾝｱｲｽ
ﾒﾛﾝﾊﾟﾝ

❸ ▲▼◀▶キーで候補を選択し、確定 キーで決定します。

2段目に検索入力データ、3段目と4段目に候補が表示されます。すべての候補が表示されるため、複数の場合は、次の画面に続きます。

確定 キーを押すと決定した呼出しデータの最初の画面に変わります。

該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「呼出し名検索」画面に戻ります。

バーコード検索

バーコード検索をおこなうためには、FI ツールで検索項目に登録する必要があります。
あらかじめ FI ツールで作成した呼出しデータをバーコードを使って SD カードから呼出します。

❶「呼出し名検索」画面で、▲キーを押して「バーコード検索」画面を表示させます。

呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示（呼出しNo、呼出し名検索）が反転表示します。

❷ バーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、確定キーを押します。該当する呼出しデータの最初の画面に変わります。

該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「バーコード検索」画面に戻ります。

呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示（バーコード検索）が反転表示します。

QRコード発行

あらかじめ作成した QR コードを使って発行します。

❶「バーコード検索」画面で、▲キーを押して「QRコード発行」画面を表示させます。

❷ QRコードをスキャナ入力します。該当するフォーマットが表示されます。

該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「バーコード検索」画面に戻ります。

QRコード登録

ＱＲ コード内のデータを、呼出しテーブルのプリセットデータとして登録します。

プリセットデータを登録した後は、登録したSDカードのデータをお客様でバックアップされることを推奨します。

QRコード登録

QRコード発行 F2：QRで登録 ↑ ：呼出名検索	❶「QRコード発行」画面で、◀キーを押して「QRコードで登録」画面を表示させます。
QRコードで登録 F2：登録終了 ｽｷｬﾝしてください	❷ QRコードをスキャンします。
登録しますか？ 呼出しNo[**21] ﾊﾝﾊﾞｰｶﾞｰ はい／いいえ スキャンした呼び出し No のプリセットデータがすでに存在する場合 上書きをする？ 呼出しNo[**21] ﾊﾝﾊﾞｰｶﾞｰ はい／いいえ	❸ "はい" を選び、確定キーを押します。 ＱＲコード内のデータが呼出しテーブルのプリセットデータとして登録されます。

QRコード発行・登録

ＱＲ コード発行し、さらにそのデータをプリセットデータに登録します。発行枚数入力画面は表示されず、１枚発行されます。

❶ **電源を切ります。**

❷ **4 キーを押しながら、電源 キーを押します。「QRコードで登録」画面が表示されたら、キーから指を離してください。**

❸ **QRコードをスキャンします。**

登録しますか？
呼出しNo[**21]
ﾊﾝﾊﾞｰｶﾞｰ
はい／いいえ

スキャンした呼び出し No のプリセットデータがすでに存在する場合

上書きをする？
呼出しNo[**21]
ﾊﾝﾊﾞｰｶﾞｰ
はい／いいえ

❹ **ラベル発行後、登録確認画面が表示されます。“はい”を選び、確定 キーを押します。**

ＱＲコード内のデータが呼出しテーブルのプリセットデータとして登録されます。

プリセットデータの登録が完了したら、電源を切ってください。

本体メンテナンス

呼出しテーブルのプリセットデータ、漢字テーブル、店名テーブルの編集をおこないます。呼出しテーブルデータ、漢字テーブル、店名テーブルが入った SD カードをプリンタに挿入した状態で操作します。この画面は「本体メンテナンス」画面（65ページ）で“あり”を選んだときのみ表示されます。

テーブルデータを編集した後は、登録したSDカードのデータをお客様でバックアップされることを推奨します。

❶「呼出しNo」画面で、◀キーを押して「本体メンテナンス」画面を表示させます。

❷ 編集する項目を選び、確定キーを押します。

呼出しテーブル

❶「本体メンテナンス」画面で“呼出しテーブル”を選び、確定キーを押します。

❷ 編集内容を選び、確定キーを押します。

登録

❶「呼出しテーブル」画面で“登録”を選び、確定キーを押します。

呼出しテーブル登録
レイアウトNo [****]

❷ 登録するレイアウトNoを入力し、確定キーを押します。

呼出しﾃｰﾌﾞﾙ登録
呼出しNo[****]
ｺﾋﾟｰNo[****]

❸ **登録するレイアウトNoを入力し、確定キーを押します。**

「コピーNo」入力欄にカーソルが移動します。

❹ **すでに登録されているデータをコピーする場合は、コピー元の呼出しNoを入力し、確定キーを押します。コピーしない場合は、入力しないで確定キーを押します。**

❺ **各プリセットデータを入力し、確定キーを押します。**

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

❻ **確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。**

入力したデータが登録されます。

変更

❶ **「呼出しテーブル」画面で“変更”を選び、確定キーを押します。**

呼出しﾃｰﾌﾞﾙ変更
呼出しNo[****]

❷ **登録する呼出しNoを入力し、確定キーを押します。**

❸ **各プリセットデータを入力し、確定キーを押します。**

初期値に変更前のデータが表示されます。

変更しますか？
呼出しNo[**13]
ベーコンポテト
はい／いいえ

❹ **確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。**

入力したデータに変更されます。

削除

❶ **「呼出しテーブル」画面で“削除”を選び、確定キーを押します。**

呼出しﾃｰﾌﾞﾙ削除 呼出しNo[****]

❷ **削除する呼出しNoを入力し、確定キーを押します。**

削除しますか？ 呼出しNo[**13] ベーコンポテト はい／いいえ

❸ **確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。**

データが削除されます。

漢字テーブル

本体ﾒﾝﾃﾅﾝｽ 1. 呼出しテーブル 2. 漢字テーブル 3. 店名テーブル

❶ **「本体メンテナンス」画面で“漢字テーブル”を選び、確定キーを押します。**

漢字テーブル 1. テーブル例① 2. テーブル例② 3. テーブル例③

❷ **編集する漢字テーブルを選び、確定キーを押します。**

テーブル例① 1. 登録 2. 変更 3. 削除

❸ **編集内容を選び、確定キーを押します。**

登録

テーブル例① 1. 登録 2. 変更 3. 削除

❶ **編集内容選択画面で“登録”を選び、確定キーを押します。**

漢字ﾃｰﾌﾞﾙ登録 登録番号　[****] ｺﾋﾟｰ元番号[****]

❷ **登録する登録番号を入力し、確定キーを押します。**

「コピー元番号」入力欄にカーソルが移動します。

漢字ﾃｰﾌﾞﾙ登録 登録番号　[**14] ｺﾋﾟｰ元番号[****]

❸ **すでに登録されているデータをコピーする場合は、コピー元の登録番号を入力し、確定キーを押します。コピーしない場合は、入力しないで確定キーを押します。**

漢字ﾃｰﾌﾞﾙ登録 神奈川県産 ****** **************** ************** 漢

❹ **データを入力し、確定キーを押します。**

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

登録しますか？
登録番号[**14]
静岡県産
はい／いいえ

❺ **確認画面で“はい”を選び、[確定]キーを押します。**
入力したデータが登録されます。

変更

❶ **編集内容選択画面で“変更”を選び、[確定]キーを押します。**

漢字テーブル変更
登録番号 [****]

❷ **変更する登録番号を入力し、[確定]キーを押します。**

❸ **データを入力し、[確定]キーを押します。**
初期値に変更前のデータが表示されます。

変更しますか？
登録番号[**14]
静岡県産
はい／いいえ

❹ **確認画面で“はい”を選び、[確定]キーを押します。**
入力したデータに変更されます。

削除

テーブル例①
1. 登録
2. 変更
3. 削除

❶ **編集内容選択画面で“削除”を選び、[確定]キーを押します。**

漢字テーブル削除
登録番号 [****]

❷ **削除する登録番号を入力し、[確定]キーを押します。**

削除しますか？
登録番号[**14]
静岡県産
はい／いいえ

❸ **確認画面で“はい”を選び、[確定]キーを押します。**
データが削除されます。

店名テーブル

本体ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
1. 呼出しテーブル
2. 漢字テーブル
3. 店名テーブル

❶「本体メンテナンス」画面で“店名テーブル”を選び、確定キーを押します。

❷ 編集内容を選び、確定キーを押します。

登録

❶「店名テーブル」画面で“登録”を選び、確定キーを押します。

店名ﾃｰﾌﾞﾙ登録
登録番号 [****]
ｺﾋﾟｰ元番号[****]

❷ 登録する登録番号を入力し、確定キーを押します。

「コピー元番号」入力欄にカーソルが移動します。

店名ﾃｰﾌﾞﾙ登録
登録番号 [**14]
ｺﾋﾟｰ元番号[****]

❸ すでに登録されているデータをコピーする場合は、コピー元の登録番号を入力し、確定キーを押します。コピーしない場合は、入力しないで確定キーを押します。

❹ 店名を入力し、確定キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

❺ 住所を入力し、確定キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

❻ 電話番号を入力し、確定キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

❼ メモを入力し、確定キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

❽ **確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。**

入力したデータが登録されます。

変更

❶ **「店名テーブル」画面で“変更”を選び、確定キーを押します。**

❷ **変更する登録番号を入力し、確定キーを押します。**

❸ **店名を入力し、確定キーを押します。**

初期値に変更前のデータが表示されます。

❹ **住所を入力し、確定キーを押します。**

初期値に変更前のデータが表示されます。

❺ **電話番号を入力し、確定キーを押します。**

初期値に変更前のデータが表示されます。

❻ **メモを入力し、確定キーを押します。**

初期値に変更前のデータが表示されます。

❼ **確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。**

入力したデータに変更されます。

削除

❶ **「店名テーブル」画面で“削除”を選び、確定キーを押します。**

店名ﾃｰﾌﾞﾙ削除
登録番号　[＊＊＊＊]

❷ **削除する登録番号を入力し、確定キーを押します。**

削除しますか？
登録番号[＊＊14]
新宿店
はい／いいえ

❸ **確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。**

データが削除されます。

データ更新

テーブルを編集後、各メニューから戻る際、または電源をオフする際に編集内容がＳＤカードへ反映されます。

ＸＸＸテーブル
ファイル更新中

❶ **この画面が表示され、編集内容がSDカードに反映されます。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

ＸＸＸテーブル
ファイル更新終了

❷ **この画面が表示されると、SDカードへの反映は完了です。**

一定時間経過後に、「本体メンテナンス」画面に戻します。

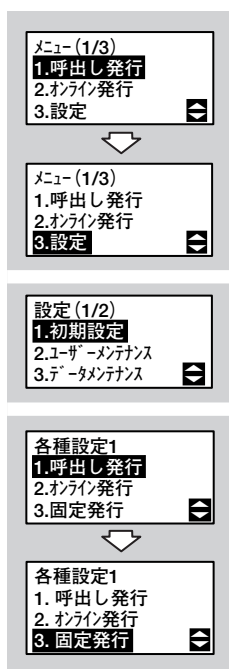
ﾌﾟﾘｾｯﾄﾃｰﾌﾞﾙ
展開中
電源を切らずに
お待ちください

❸ **呼出しテーブルの場合のみ、「本体メンテナンス」画面から呼出し発行メニューに戻る前にプリセットテーブルがSDカードから本体に展開されます。「呼出しNo」画面が表示されるまで待ちます。**

第 4 章　固定発行

固定発行の初期設定

本プリンタに登録してある 25 種類のフォーマットを使用して、ラベルを発行します。ラベルのサイズとバーコードの種類を「固定発行ラベルとバーコードの種類」（93 ページ）で確認し、「フォーマット No」を使用して、フォーマットを選択できます。

ここでは固定発行モードでの基本的な画面の流れを説明します。また、「ラベル発行してみましょう」（99 ページ）も併せてご覧ください。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“1. 初期設定” を選び、確定キーを押します。**

「各種設定」画面が表示されます。

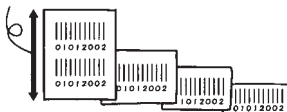
❸ **“3. 固定発行” を選び、確定キーを押します。**

「用紙サイズ」画面が表示されます。

以降 22 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	用紙サイズ	25mm	83 ページ
2	プリセット登録先	本体	83 ページ
3	リサイクルマーク表示	あり	83 ページ
4	リサイクルマークテーブルNo	＊＊	84 ページ
5	原産地表示	あり	85 ページ
6	原産地テーブルNo	＊＊＊	85 ページ
7	日付印字	なし	87 ページ
8	日付手入力	あり	87 ページ
9	コードフリー入力	あり	87 ページ
10	価格印字位置	上	88 ページ
11	価格文字サイズ	標準	88 ページ
12	￥マーク付加	する	88 ページ
13	価格カンマ付加	あり	89 ページ
14	プリセットNo印字	する	89 ページ
15	ガードバー長さ	普通	89 ページ
16	発行形態	連続	90 ページ
17	リアルタイム印字	OFF	90 ページ
18	都度発行	なし	90 ページ
19	チェックラベル有無	あり	91 ページ
20	印字方向	頭出し	91 ページ
21	位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	92 ページ
22	フォーマットNo	ー	92 ページ

用紙サイズ

固定発行に使用するラベルのサイズを▲▼◀▶キーを押して選び、確定キーを押します。

用紙サイズ

プリセットの登録先

本プリンタはラベルに印字するデータ（品名・コード・バーコード・価格など）を本体または SD カードに登録できます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。

▲▼キーを押して、プリセットデータの登録先を選び、確定キーを押します。

リサイクルマーク表示

ラベルにリサイクルマークを表示するかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

なし

あり

表示するリサイクルマークの種類は「リサイクルマークテーブル No」で指定します（84 ページ）。

「用紙サイズ」で“35mm”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

第4章 固定発行

リサイクルマークテーブルNo

リサイクルマークテーブル No. の初期値を設定します。

リサイクルマークNo
初期値[**]
数

「リサイクルマーク表示」(83 ページ)で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。
リサイクルマークテーブルNo.の初期値は未入力でも可能です。

プラマーク、紙マークともにサイズ 6 × 6mm、リサイクルマーク 14 種類を標準搭載しています。テーブル No.14 ～ 19 は欠番です。

テーブルNo.	名　　称	印字内容
01	プラ	
02	プラ　ラップ	：ラップ
03	プラ　袋	：袋
04	プラ　袋・止め具	：袋・止め具
05	プラ　ラップ・トレー	：ラップ・トレー
06	プラ　ラップ・吸水紙	：ラップ・吸水紙
07	プラ　PVC	：PVC
08	プラ　EVAC・PP	：EVAC，PP
09	EVAC・PE	：EVAC，PE
10	プラ　PP	：PP
11	プラ　PET	：PET
12	プラ　ラップ・紙　トレー	ラップ　紙　トレー
13	プラ　ラップ　紙　吸水	ラップ　紙　吸水紙
20	紙	紙

第4章 固定発行

原産地表示

ラベルに原産地表示をするかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

なし　　　　あり

表示するリサイクルマークの種類は「原産地テーブル No」で指定します（85 ページ）。

「用紙サイズ」で“35mm”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

原産地テーブルNo

原産地テーブル No. の初期値を設定します。

原産地
テーブルNo
初期値 [***]
数

漢字 32 ドット文字、1 × 1 倍、原産地 103 件を標準搭載しています。原産地テーブル番号048～050、157～175は欠番です。

ー：欠番を意味します。

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
001	愛知県産	018	群馬県産	035	兵庫県産
002	青森県産	019	高知県産	036	広島県産
003	秋田県産	020	埼玉県産	037	福井県産
004	石川県産	021	佐賀県産	038	福岡県産
005	茨城県産	022	滋賀県産	039	福島県産
006	岩手県産	023	静岡県産	040	北海道産
007	愛媛県産	024	島根県産	041	三重県産
008	大分県産	025	千葉県産	042	宮城県産
009	大阪府産	026	東京都産	043	宮崎県産
010	岡山県産	027	徳島県産	044	山形県産
011	沖縄県産	028	栃木県産	045	山口県産
012	香川県産	029	鳥取県産	046	山梨県産
013	鹿児島県産	030	富山県産	047	和歌山県産
014	神奈川県産	031	長崎県産	048	ー
015	岐阜県産	032	長野県産	049	ー
016	京都府産	033	奈良県産	050	ー
017	熊本県産	034	新潟県産		

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
101	アメリカ産	126	スーダン産	151	ベルギー産
102	アラブ産	127	スペイン産	152	ポルトガル産
103	アルゼンチン産	128	スリランカ産	153	マレーシア産
104	イギリス産	129	セネガル産	154	南アフリカ産
105	イスラエル産	130	タイ産	155	メキシコ産
106	イタリア産	131	台湾産	156	ロシア産
107	イラン産	132	中国産	157	ー
108	インド産	133	チリ産	158	ー
109	インドネシア産	134	デンマーク産	159	ー
110	エクアドル産	135	ドイツ産	160	ー
111	エジプト産	136	トルコ産	161	ー
112	オーストラリア産	137	ナイジェリア産	162	ー
113	オーストリア産	138	日本産	163	ー
114	オランダ産	139	ニュージーランド産	164	ー
115	カナダ産	140	ノルウェー産	165	ー
116	カリフォルニア産	141	パキスタン産	166	ー
117	韓国産	142	フィジー産	167	ー
118	北朝鮮産	143	フィリピン産	168	ー
119	ギリシア産	144	フィンランド産	169	ー
120	クウェート産	145	ブラジル産	170	ー
121	コロンビア産	146	フランス産	171	ー
122	サウジアラビア産	147	ブルガリア産	172	ー
123	シンガポール産	148	フロリダ産	173	ー
124	スイス産	149	ベトナム産	174	ー
125	スウェーデン産	150	ペルー産	175	ー

「原産地表示」（85 ページ）で“あり”を選んだときだけ、この画面が表示されます。
原産地テーブルNo.の初期値は未入力でも可能です。

日付印字

ラベルに日付を付けるか付けないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

「用紙サイズ」が"25mm"と"35mm"のときだけ、この画面が表示されます。

日付の手入力

フォーマット発行、プリセット発行で「日付入力」画面を表示し、日付を手入力できます。

日付を手入力するかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

「日付印字」で"あり"を選んだときだけ、この画面が表示されます。

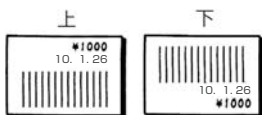
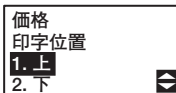
コードフリー入力

フォーマット発行、プリセット発行でフリーにデータ（8 桁以内）を入力できます。日付は手入力になります。

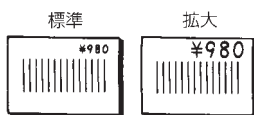
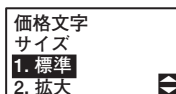
コードフリー入力するかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

「日付手入力」で"あり"を選んだときだけ、この画面が表示されます。

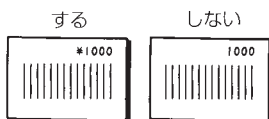
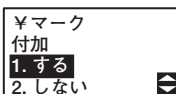
価格の印字位置

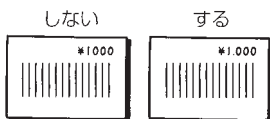
価格の印字位置を上または下を▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

価格の位置によって、日付・品名・原産地などの位置も変わります。

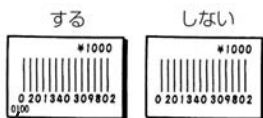
価格の文字サイズ

価格の文字サイズを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

「日付印字」（87 ページ）で“あり”を選んだときやプリセット発行時は、用紙サイズによっては、拡大印字できません。

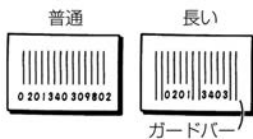
¥マークの付加

価格に¥マークを付けるか付けないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

価格カンマの付加

価格にカンマを付けて印字するかどうかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

プリセットNoの印字

プリセット番号を印字するかどうかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

ガードバーの長さ

ガードバーを長く印字するかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

第4章 固定発行

発行形態

発行方法を連続発行 / ティアオフから▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

- 連続（連続発行）
  必要な枚数のラベルを連続して発行します。
- ティアオフ
  必要な枚数のラベルを連続して発行した後、簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

リアルタイム印字

リアルタイム印字を ON にすると発行ごとにカレンダー印字を更新します。（発行時のカレンダーに従って、カレンダー印字をします。）

リアルタイム印字をするかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

ラベルを発行する際は発行/停止キーを押します。

都度発行

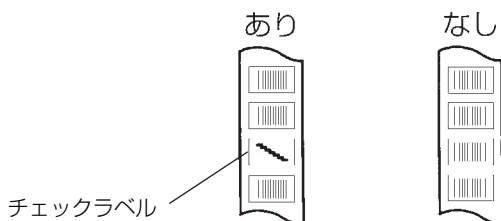
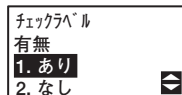
「都度発行」を“あり”にすると、発行/停止キーを押すごとに、ラベルを 1 枚印字します。“なし”にすると、発行/停止キーを押すまで、ラベルを 1 枚ずつ印字します。

都度発行をするかしないかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

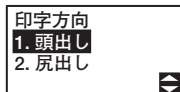
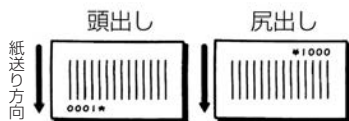
リアルタイム印字で“OFF”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

チェックラベルの印字

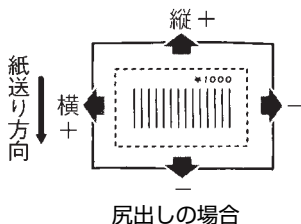
チェックラベルを印字するかどうかを▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。
→「第 7 章　困ったときは」(263 ページ)

「発行形態」(90 ページ)で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

印字方向

印字方向を▲▼キーを押して選び、確定キーを押します。

印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選択して、印字位置を00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整し、確定キーを押します。シフトキーを押して、縦方向（↑ ↓）/ 横方向（←→）を切替えられます。

尻出しの場合

フォーマットNoの設定

使用したいフォーマットを 15 件まで固定できます。固定したいフォーマット番号を設定し、確定キーを押します。

"99" を入力すると、フォーマット固定が解除され、すべてのフォーマットが選択できます。

固定発行ラベルとバーコードの種類

本プリンタには 25 種類のフォーマットが用意されていますので、それを利用してかんたんにラベルを作ることができます。

フォーマットは、ラベルのサイズとバーコードの種類によって選べるようになっていますので、印字する前に、使用するラベルのサイズとバーコードの種類を確認してください。ラベル幅は 32mm に固定されています。

ラベルの長さは？▶バーコードの桁数は？▶フォーマット番号は？

バーコード桁数	フォーマット番号
ラベルの長さ：16mm	
13桁（JAN13）	41 ◇◇○○○○○○ＰＰＰＰＰＣ (NonPLU) 42 ◇◇○○○○○ＰＰＰＰＰＰＣ (NonPLU)
バーコードなし	43 バーコードなし
ラベルの長さ：20mm／ 25mmおよび35mm	
8桁（JAN8）	01 ＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 02 ４９＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 03 ０＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 04 ４５＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 21 ◇△△ＰＰＰＰＣ (NonPLU) 22 ２△△ＰＰＰＰＣ (NonPLU)
13桁（JAN13）	11 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 12 ４９＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 13 ０４＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 14 ４５＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 31 ◇◇○○○○○○P/CＰＰＰＰＣ (NonPLU) 32 ◇◇○○○○○○ＰＰＰＰＰＣ (NonPLU) 33 ◇◇○○○○○○○ＰＰＰＰＣ (NonPLU) 34 ０２○○○○○P/CＰＰＰＰＣ (NonPLU) 35 ０２○○○○○ＰＰＰＰＰＣ (NonPLU) 36 ０２○○○○○○ＰＰＰＰＣ (NonPLU) 38 ◇◇○○○○○ＰＰＰＰＰＰＣ (NonPLU)
UPC-A UPC-E	07 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) 08 ０＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU)
バーコードなし	39
ラベルの長さ：38mm	
8桁（JAN8）	45 ＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) ＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU)
13桁（JAN13）	55 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU) ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊Ｃ (PLU)

＊..........フリー入力
◇..........フラグ
△..........コード
○..........アイテムコード
Ｐ.................価格
Ｃ.................チェックデジット
Ｐ/Ｃ............プライスチェックデジット

■PLUとは
ソースマーキングと呼ばれ、メーカーまたは発売元で商品コードをバーコード化するもので、価格がバーコードの中に含まれていないものです。
例）49　△△△△△　○○○○○　C　（本プリンタのフォーマット番号12）
フラグ　メーカーコード　アイテムコード　チェックデジット

■NonPLUとは
インストアマーキングと呼ばれ、生鮮品や日配品など店舗ごとに、アイテムコードや価格などをバーコード化するもので、価格がバーコードの中に含まれているものです。
例）02　○○○○○○○　PPPP　C　（本プリンタのフォーマット番号36）
フラグ　アイテムコード　価格　チェックデジット

第4章　固定発行

35mm

8桁（JAN8）

No.	表示	バーコード	産地	桁設定
01	123 ¥123456	1234 5670	愛知県産	*******C
02	123 ¥123456	4912 3456	愛知県産	49*****C
03	123 ¥123456	0123 4565	愛知県産	0******C
04	123 ¥123456	4512 3450	愛知県産	45*****C
21	33 ¥1234	0331 2346	愛知県産	◊△△PPPPC
22	33 ¥1234	2331 2340	愛知県産	2△△PPPPC

13桁（JAN13）

No.	表示	バーコード	産地	桁設定
11	123 ¥123456	1 234567 890128	愛知県産	************C
12	123 ¥123456	4 912345 678904	愛知県産	49**********C
13	123 ¥123456	0 412345 678903	愛知県産	04**********C
14	123 ¥123456	4 512345 678906	愛知県産	45**********C
31	123 ¥1234	2 233333 912346	愛知県産	◊◊00000P/CPPPPC
32	123 ¥12345	2 233333 123452	愛知県産	◊◊00000PPPPPC
33	123 ¥1234	2 233333 312344	愛知県産	◊◊000000PPPPC
34	123 ¥1234	0 233333 912348	愛知県産	0200000P/CPPPPC
35	123 ¥12345	0 233333 123454	愛知県産	0200000PPPPPC
36	123 ¥1234	0 233333 312346	愛知県産	02000000PPPPC
38	123 ¥123456	2 233331 234563	愛知県産	◊◊0000PPPPPPC

UPC-A/E

No.	表示	バーコード	産地	桁設定
07	123 ¥123456	0 123456 789012	愛知県産	************C
08	123 ¥123456	0 123456 5	愛知県産	0******C

価格総額表示対応

総額表示テーブル（本体価格・消費税）の印字は25mm、35mmのラベルのみ印字可能です。

35mm

8桁（JAN8）

番号	コード
01	*******C
02	49*****C
03	0******C
04	45*****C
21	◇△△PPPPC
22	2△△PPPPC

13桁（JAN13）

番号	コード
11	************C
12	49**********C
13	04**********C
14	45**********C
31	◇◇00000P/CPPPPC
32	◇◇00000PPPPPC
33	◇◇000000PPPPC
34	0200000P/CPPPPC
35	0200000PPPPPC
36	02000000PPPPC
38	◇◇0000PPPPPPC

UPC-A/E

番号	コード
07	************C
08	0******C

対応用紙サイズと印字フォーマット

用紙サイズ / フォーマット	16mm	20mm	25mm	35mm	38mm
No.01		△	○	○	
No.02		△	○	○	
No.03		△	○	○	
No.04		△	○	○	
No.07		△	○	○	
No.08		△	○	○	
No.11		△	○	○	
No.12		△	○	○	
No.13		△	○	○	
No.14		△	○	○	
No.21		△	○	○	
No.22		△	○	○	
No.31		△	○	○	
No.32		△	○	○	
No.33		△	○	○	
No.34		△	○	○	
No.35		△	○	○	
No.36		△	○	○	
No.38		△	○	○	
No.39		△	○		
No.41	△				
No.42	△		△		
No.43	△				
No.45					○
No.55					○
スキャナ対応 No.20	△	△	△		
スキャナ対応 No.25					△

○：固定発行、総額表示対応しています。
△：固定発行、総額表示対応していません。
“税込”印字のみ対応します。

ラベル発行してみましょう

本プリンタに登録してあるフォーマットを使用して、ラベルを発行します。
まず、ラベルに印字する内容を入力します。

フォーマット番号によって、バーコードの内容や桁数が異なりますので、作りたいバーコードのフォーマットを「固定発行ラベルとバーコードの種類」(93 ページ)で確定してください。

❶ **“4. 固定発行” を選び、確定キーを押します。**

「フォーマットNo」画面が表示されます。

❷ **フォーマット番号を入力し、確定キーを押します。**

(ここではフォーマット01で説明します。)

❸ **バーコードを入力し、確定キーを押します。**

❹ **コードを入力し、確定キーを押します。**

未入力でも次の画面に進みます。

原産地
[001]
愛知県産
数

❺ **原産地番号を入力し、確定 キーを押します。**

（この例は001：愛知県産）

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつ原産地“あり”を選択した場合のみ表示します。
- 原産地番号を入力すると原産地テーブルデータを表示します。
- 原産地テーブルデータ表示は▲▼◀▶キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に進みます。

❻ **価格を入力し、確定 キーを押します。**

“0”でも未入力でも次の画面に変わります。

リサイクルマーク
[01]
プラ
数

❼ **リサイクルマーク番号を入力し、確定 キーを押します。（この例は01：プラ）**

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつリサイクルマーク“あり”を選択した場合のみ表示します。
- リサイクルマーク番号を入力するとリサイクルマークテーブルデータを表示します。
- リサイクルマークテーブルデータ表示は▲▼◀▶キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に変わります。

❽ **発行するラベル枚数を入力し、[確定]キーを押します。**

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX／XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

❾ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❸に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は[発行/停止]キーで発行が一時中断します。再度、[発行/停止]キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は[発行/停止]キーで発行が終了します。

プリセットモード

ラベルに印字するデータ（品名・コード・バーコード・価格など）を登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。データを登録しておけば、いつでも呼び出してラベルに印字することができるので、入力の手間が省けます。また、登録することにより、商品の種類ごとにデータを管理することもできます。
データを分かりやすく管理するために、それぞれのデータに名前（プリセット番号）をつけておきます。プリセット番号は 1 ～ 9999 間の番号でつけます。登録したデータを呼び出すときは、登録したときにつけたプリセット番号を入力します。

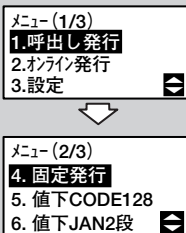
登録先について

プリセットデータは本体または SD カードに登録できます。本体には 2500 件、SD カードには 9999 件のデータを登録しておくことができます。登録先は「プリセットの登録先」（83 ページ）で選んでください。

データを登録する

フォーマット番号と印字データを入力して、プリセット番号をつけて登録します。
フォーマット番号 45 と 55 はプリセット登録できません。
登録できる印字データ

- バーコードデータ
- コード
- 価格
- 品名

・SDカードを使うときは、「SDカードの取り扱い」（278 ページ）をご覧ください。はじめて使うときは、「SDカードの初期化」（280 ページ）もご覧ください。

❶ **“4.固定発行” を選び、確定 キーを押します。**

❷ **「フォーマットNo」画面が表示されたら、▼キーを押します。**

「プリセット」画面が表示されます。

❸ **“2.登録”を選び、確定キーを押します。**

❹ **登録するデータのフォーマット番号を入力し、確定キーを押します。**

（ここではフォーマット01で説明します。）

❺ **プリセット番号を入力し、確定キーを押します。**

プリセット番号は、4桁以内で入力してください。

❻ **バーコードを入力し、確定キーを押します。**

❼ **コードを入力し、確定キーを押します。**

未入力でも次の画面に進みます。

❽ **価格を入力し、確定キーを押します。**

“0”でも未入力でも次の画面に変わります。

❾ **品名を入力し、確定キーを押します**

品名は、漢字・カタカナ・英数字のいずれかを使用して入力します。

引き続きデータを登録するときは、手順 5 からの操作を繰り返します。前に登録したプリセット番号の次の番号が表示されますので、その番号で登録するときはそのまま確定キーを押して操作を進めます。

登録したデータを修正するときは

一度登録したプリセットデータの印字内容を修正することができます。

❶ **“4.固定発行”を選び、確定キーを押します。**

❷ **「フォーマットNo」画面が表示されたら、▼キーを押します。**

「プリセット」画面が表示されます。

❸ **“3.変更”を選び、確定キーを押します。**

❹ **プリセット番号を入力し、確定キーを押します。**

❺ **入力データが表示されますので、必要に応じて修正します。**

画面は、登録したフォーマット番号により異なります。

確定キーを押すと、次の項目が表示されます。必要な箇所を修正してください。修正が必要ないときは、そのまま確定キーを押します。

登録したデータを消すときは

❶ **“4.固定発行”を選び、確定キーを押します。**

第4章 固定発行

❷「フォーマットNo」画面が表示されたら、▼キーを押します。

「プリセット」画面が表示されます。

❸ “4.削除” を選び、確定キーを押します。

❹ プリセット番号を入力し、確定キーを押します。

❺ “はい” を選び、確定キーを押します。

登録したデータを呼び出す

登録しておいたプリセットデータを呼び出して印字します。

❶ “4.固定発行” を選び、確定キーを押します。

❷「フォーマットNo」画面が表示されたら、▼キーを押します。

「プリセット」画面が表示されます。

❸ “1.発行” を選び、確定キーを押します。

❹ プリセット番号を入力し、確定キーを押します。

❺ 品名が表示されます。確認して、確定キーを押します。

❻ 原産地番号を入力し、確定キーを押します。

（この例は001：愛知県産）

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつ原産地“あり”を選択した場合のみ表示します。
- 原産地番号を入力すると原産地テーブルデータを表示します。
- 原産地テーブルデータ表示は▲▼◀▶キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に進みます。

❼ 価格が表示されます。確認して、確定キーを押します。

❽ **リサイクルマーク番号を入力し、確定キーを押します。（この例は01：プラ）**

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつリサイクルマーク“あり”を選択した場合のみ表示します。
- リサイクルマーク番号を入力するとリサイクルマークテーブルデータを表示します。
- リサイクルマークテーブルデータ表示は▲▼◀▶キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に変わります。

❾ **発行するラベル枚数を入力し、確定キーを押します。**

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

❿ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❸に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は発行/停止キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は発行/停止キーで発行が終了します。

登録したデータを印字して確認する

登録したプリセットデータの一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

❶ **“4.固定発行” を選び、確定キーを押します。**

❷ **「フォーマットNo」画面が表示されたら、▼キーを押します。**

「プリセット」画面が表示されます。

❸ **“5.ダンプ” を選び、確定キーを押します。**

❹ **ダンプ発行するプリセットの登録先を選び、確定キーを押します。**

プリンタ本体に登録されているデータのときは「本体」を選びます。SDカードに登録されているデータのときは「カード」を選びます。

❺ **ダンプ発行するデータの範囲を指定し、確定キーを押します。**

開始番号より終了番号が大きくなるようにプリセットNo.を入力してください。

開始番号だけを入力した場合、開始番号から最終番号までのプリセットをダンプ発行します。

終了番号だけを入力した場合、最初の番号から終了番号までのプリセットをダンプ発行します。

❻ **指定した範囲のプリセットデータが一枚ずつ印字されます。**

第4章 固定発行

プリセットデータのコピー（本体メモリ⇔SDカード）

以下の手順でプリセットデータを本体メモリまたは SD カードにコピーします。各画面で▲▼キーまたは数字キーを使って各項目番号を選び、確定キーを押してください。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“3. データメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「データメンテナンス」画面が表示されます。

❸ **“1. データ転送” を選び、確定キーを押します。**

「データ転送」画面が表示されます。

❹ **“2.プリセットデータ” を選び、確定キーを押します。**

「プリセットデータ転送」画面 が表示されます。

❺ **“2.プリンタ～カード” を選び、確定キーを押します。**

❻ **「プリンタ～カード」画面でデータのコピー先を選び、確定キーを押します。**

SDカードからプリンタにデータをコピーする場合、
1～2500件分のデータをコピーします。

❼ 選択したデータのコピー先を確認し“はい”を選び、確定キーを押してコピーを開始します。

コピーが完了したら、確定キーを押します。
「プリセットデータ転送」画面に戻ります。

第 5 章　その他の発行機能

オンライン発行の初期設定

はじめてオンライン発行をおこなう前に以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

❶ **“3. 設定” を選び、確定 キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“1. 初期設定” を選び、確定 キーを押します。**

「各種設定」画面が表示されます。

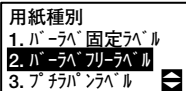
❸ **“2. オンライン発行” を選び、確定 キーを押します。**

「用紙種別」画面が表示されます。

以降 4 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定 キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	用紙種別	バーラベフリーラベル	112 ページ
2	用紙サイズ	25mm	112 ページ
3	発行形態	連続	112 ページ
4	印字位置調整	縦：↓00ドット　横：→00ドット	113 ページ

用紙種別

オンライン発行に使用する用紙の種類を選びます。用紙種類の詳細については 36 ページをご覧ください。

用紙種別
1. ﾊﾞｰﾗﾍﾞ固定ﾗﾍﾞﾙ
2. ﾊﾞｰﾗﾍﾞﾌﾘｰﾗﾍﾞﾙ
3. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙ

- バーラベ固定ラベル
- バーラベフリーラベル
- プチラパンラベル

用紙サイズ

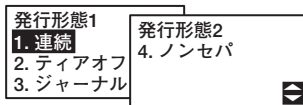
用紙サイズを選びます。この画面は前項の「用紙種別」画面で“バーラベ固定ラベル”を選んだときのみ表示されます。

用紙ｻｲｽﾞ
1. 16mm 2. 20mm
3. 25mm 4. 35mm
5. 38mm

- 16mm
- 20mm
- 25mm
- 35mm
- 38mm

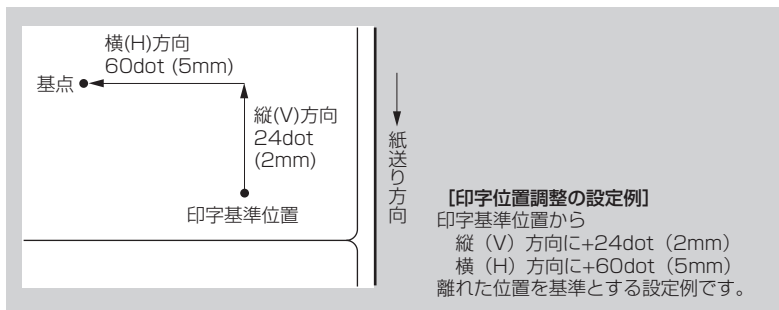
発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ジャーナル
- ノンセパ
- カッタ（カッタ搭載機のみ）
- ノンセパカッタ（カッタ搭載機のみ）

印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。

シフトキーを押して、縦方向（↑ ↓）/ 横方向（← →）を切替えられます。

印字位置調整
縦 [↓00] ドット
横 [→00] ドット
数

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

オンライン発行画面

本プリンタとコンピュータをオンラインケーブルまたは無線 LAN で接続すると、オンライン発行ができます。

❶ “2. オンライン発行” を選び、確定キーを押します。

「オンライン」画面が表示されます。

❷「オンライン」画面が表示されたら、コンピュータからデータを送信してください。

シフトキーで「オフライン」画面に変わります。

オフライン
000000枚
ｼﾌﾄ：ｵﾝﾗｲﾝ

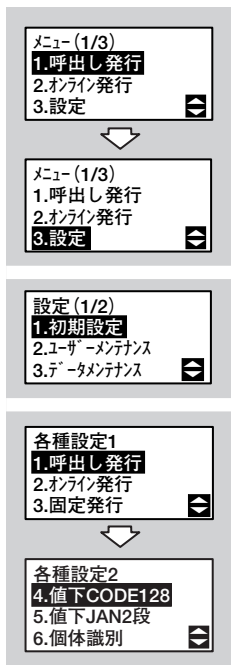
オフライン状態です。ラベルは発行できません。

シフトキーで「オンライン」画面に変わります。

印字停止中に削除/ACキーで受信済みの印字データをクリアできます。

値下CODE128の初期設定

本プリンタの初期設定の流れを説明します。

はじめてCODE128の値下げラベル発行をおこなう前に、以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

❶ **“3. 設定”を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“1. 初期設定”を選び、確定キーを押します。**

「各種設定」画面が表示されます。

❸ **“4. 値下CODE128”を選び、確定キーを押します。**

「用紙種別」画面が表示されます。

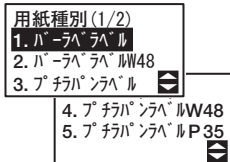
以降4項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

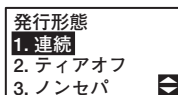
No	設定項目	初期値	参照ページ
1	用紙種別	バーラベラベル	116 ページ
2	発行形態	連続	116 ページ
3	チェックラベル有無	あり	116 ページ
4	印字位置調整	縦：↓00ドット　横：→00ドット	117 ページ

用紙種別

呼出し発行に使用する用紙の種類を選びます。用紙種類の詳細については 36 ページをご覧ください。

用紙種別（1/2）
1. ﾊﾞｰﾗﾍﾞﾗﾍﾞﾙ
2. ﾊﾞｰﾗﾍﾞﾗﾍﾞﾙW48
3. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙ
4. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙW48
5. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙP35

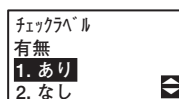
- バーラベラベル　　　　（長さ25.4mm×幅55mm）
- バーラベラベルW48　（長さ25.4mm×幅48mm）
- プチラパンラベル　　　（長さ25mm×幅55mm）
- プチラパンラベルW48（長さ25mm×幅48mm）
- プチラパンラベルP35　（長さ35mm×幅55mm）

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ

ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（142 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。
→「第 7 章　困ったときは」（263 ページ）

あり　　なし

チェックラベル

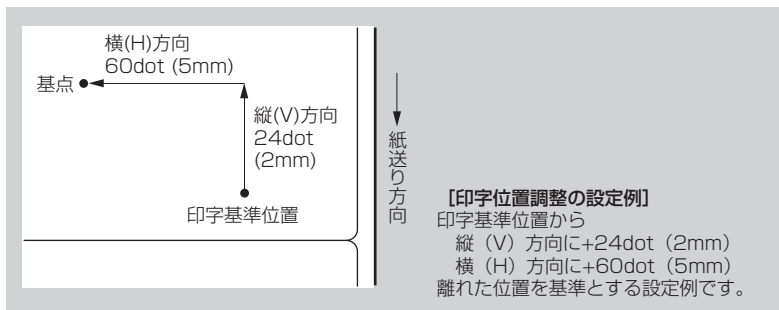
チェック

「発行形態」（前項）で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。

印字位置調整
縦[↓00]ドット
横[→00]ドット
数

シフトキーを押して、縦方向（↑ ↓）/ 横方向（← →）を切替えられます。

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot＝0.083mmになります。

値下CODE128の設定

❶ **“5. 値下CODE128” を選び、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“設定” を選び、確定 キーを押します。**

- 「メニュー設定」機能（246 ページ）の「メニュー表示」にて、「3.設定」を“する”に設定した場合のみ、「設定」が表示されます。
- 「廃棄データ」（123 ページ）を“あり”に設定した場合のみ、「廃棄」が表示されます。

以降 42 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	出力バーコード設定	20桁	120 ページ
2	ラベルサイズ	バーラベラベル	120 ページ
3	発行形態	連続	120 ページ
4	使用項目	円引き：する　%引き：する　新価格：する	121 ページ
5	項目フラグ	円引き：*　%引き：*　新価格：*	121 ページ
6	バーコード値引条件	円引き：値引き額　%引き：割引率	121 ページ
7	見出しテーブル円引き	印字なし	121 ページ
8	見出しテーブル%引き	印字なし	122 ページ
9	見出しテーブル新価格	印字なし	122 ページ
10	50%引の表示	50%引	123 ページ
11	値引上限	50%	123 ページ
12	端数処理	切捨て	123 ページ
13	廃棄データ	なし	123 ページ
14	NON-PLU 13桁1	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
15	NON-PLU 13桁2	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
16	NON-PLU 13桁3	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
17	NON-PLU 13桁4	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
18	NON-PLU 13桁5	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
19	NON-PLU 13桁6	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
20	NON-PLU 13桁7	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
21	NON-PLU 13桁8	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
22	NON-PLU 13桁9	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
23	NON-PLU 13桁10	フラグ：**　価格：5桁	124 ページ
24	NON-PLU 8桁	あり	124 ページ
25	出力バーコード	22	124 ページ
26	UPC-A 1	00	124 ページ
27	UPC-A 2	未設定	124 ページ
28	UPC-A 3	未設定	124 ページ
29	UPC-A 4	未設定	124 ページ
30	UPC-A 5	未設定	124 ページ
31	UPC-E	0埋め6桁	124 ページ
32	バーコード識別	JAN13：0　JAN8：8　UPC-A：2　JAN-E：6	125 ページ
33	賞味期限入力	なし	125 ページ
34	賞味期限ダミー設定	月：99　日：99　時間：99	125 ページ
35	賞味期限桁数選択	6桁	125 ページ
36	元売価印字	すべて	126 ページ
37	値下後価格印字	すべて	126 ページ

No	設定項目	初期値	参照ページ
38	パスワード設定	なし	126 ページ
39	担当者コード	あり	126 ページ
40	値引き履歴データ蓄積	あり	127 ページ
41	値引き履歴データ転送方法	SD	127 ページ
42	プリンタNo.	00	127 ページ

出力バーコード設定

出力するバーコードを選びます。

- 20桁
- F22桁
- N22桁
- F26桁
- T26桁

出力バーコードの詳細は、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

ラベルサイズ

ラベルサイズを選びます。

- バーラベラベル
- バーラベラベルW48
- プチラパンラベル
- プチラパンラベルW48
- プチラパンラベルP35

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ

ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（142 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

使用項目

使用する値引処理を選びます。
▲▼または数字キーを使って設定を変更したい項目を選び、◀▶キーで表示するかどうかを選びます。設定が終わったら、確定キーを押します。
“する”に設定した項目のみ「値引処理」（137 ページ❺）に表示されます。

使用項目
1.円引きする
2.%引きする
3.新価格する

項目フラグ

値引処理のバーコード内フラグを設定します。0 ～ 9 までの数字のみ入力可能です。

「使用項目」で“する”に設定した値引処理のみ入力できます。
“しない”に設定した値引処理は“－”で表示され入力できません。

バーコード値引条件

値引処理ごとの値引条件を選びます。
円引き：値引額、新価格
%引き：割引率、新価格
選んだ条件が、バーコードの価格に反映されます。

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ値引条件
1.円引き：値引額
2.%引き：割引率

見出しテーブル　円引き

値引処理「円引き」の見出しテーブルデータを選びます。
見出しテーブルは、ご使用になるレジの価格設定に合わせて選んでください。

- 印字なし
- 表示価格より
- ご奉仕価格
- サービス品
- お買い得品
- 値下後価格
- 本体価格
- 本体価格より

見出しﾃｰﾌﾞﾙ
円引き
印字なし
矢印：選択

「使用項目」で“円引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

見出しテーブル　%引き

値引処理「%引き」の見出しテーブルデータを選びます。
見出しテーブルは、ご使用になるレジの価格設定に合わせて選んでください。

見出しﾃｰﾌﾞﾙ
%引き
印字なし
矢印：選択

- 印字なし
- 表示価格より
- ご奉仕価格
- サービス品
- お買い得品
- 値下後価格
- 本体価格
- 本体価格より

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

見出しテーブル　新価格

値引処理「新価格」の見出しテーブルデータを選びます。
見出しテーブルは、ご使用になるレジの価格設定に合わせて選んでください。

見出しﾃｰﾌﾞﾙ
新価格
印字なし
矢印：選択

- 印字なし
- 表示価格より
- ご奉仕価格
- サービス品
- お買い得品
- 値下後価格
- 本体価格
- 本体価格より

「使用項目」で“新価格”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

50%引の表示

50%引きの表示方法を選びます。

50%引の表示
1.50%引
2.半額

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

値引上限

値引きの上限値を設定します。50%～ 99%の間で設定可能です。

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

端数処理

計算後の端数処理の方法を選びます。

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

廃棄データ

廃棄処理をするかしないかを選びます。

“あり”を選択した場合、廃棄データをプリンタ本体へ最大1000件（値下データ含む）まで蓄積します。
“あり”に設定したときのみ、業務選択画面に「廃棄」が表示されます。

NON-PLU 13桁

NON-PLU 13桁1
フラグ　＊＊
価格
4桁 5桁

13桁スキャナ入力時にNON-PLUと認識するフラグを設定します。フラグは、00 ～ 99 まで設定可能です。また、読取ったバーコード内の価格を設定できます。価格を「4 桁」に設定した場合は、9 ～ 12 桁目を価格とします。価格を「5 桁」に設定した場合は、8 ～ 12 桁目を価格とします。プライスチェックデジットは、計算しません。
「NON-PLU13 桁 1」から「NON-PLU13 桁 10」までの 10 件設定できます。

▲▼または数字キーを使って設定を変更したい項目（フラグまたは桁数）を選びます。

NON-PLU 8桁

「あり」を選択した場合、バーコード体系は、2XXPPPPC/D（P：価格 4 桁）になります。「なし」を選択した場合、8 桁の読取りバーコードは PLU になります。

出力バーコードフラグ

出力バーコード
フラグ 22
数

出力バーコードフラグを設定します。
フラグは、00 ～ 99 まで設定可能です。

「出力バーコード設定」で“N22桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

UPC-Aフラグ

UPC-A フラグを設定します。フラグは、00 ～ 99 まで設定可能です。「UPC-A 1」から「UPC-A 5」までの 5 件設定します。

UPC-E

UPC-E の設定をします。

バーコード識別

値引処理のバーコード内フラグを設定します。0 ～ 9 までの数字のみ入力可能です。

「出力バーコード設定」で“F22桁”または“F26桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限入力

賞味期限を入力するかどうかを選びます。

賞味期限入力
1. あり
2. なし

「出力バーコード設定」で“T26桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限ダミー設定

賞味期限のダミー数値を設定します。月：00～99、日：00～99、時間：00～99 が設定可能です。

賞味期限ﾀﾞﾐｰ設定
月99 日99 時間99

「出力バーコード設定」で“T26桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限桁数選択

賞味期限の桁数を選びます。

賞味期限桁数選択
1.6桁
2.4桁

「賞味期限入力」で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

元売価印字

元売価を印字するかしないかを選びます。

元売価印字
1. NON-PLUのみ
2. すべて
3. しない

- NON-PLUのみ　NON-PLUバーコードを入力（スキャン）した場合のみ、元売価を印字します。PLUバーコードの場合は、元売価を印字しません。
- すべて　元売価を印字します。PLUバーコードの場合は、価格入力が必要となります。
- しない　元売価を印字しません。NON-PLUバーコードであっても、印字しません。

値下後価格印字

値下後価格を印字するかしないかを選びます。

値下後価格印字
1. NON-PLUのみ
2. すべて
3. しない

- NON-PLUのみ　NON-PLUバーコードを入力（スキャン）した場合のみ、値下後価格を印字します。PLUバーコードの場合は、値下後価格を印字しません。
- すべて　値下後価格を印字します。PLUバーコードの場合は、価格入力が必要となります。
- しない　値下後価格印字をしません。NON-PLUバーコードであっても、印字しません。

パスワード設定

「値引処理」の実行時にパスワードを必要とするかどうかを選びます。

パスワード設定
1. あり
2. なし

担当者コード

「値引処理」の実行時に担当者コード入力画面を表示するかしないかを選びます。“あり”を選択した場合、担当者コード入力画面で入力された担当者コードが、履歴データの担当者コードへ反映されます。“なし”を選択した場合、履歴データの担当者コードは、“000000”が入力されます。

値引き履歴データ蓄積

値引き履歴データを蓄積するかどうか選びます。
値引き処理の履歴データをプリンタ本体に蓄積し、ホストなどへ転送する場合は、“あり”を設定します。“なし”を設定した場合は、履歴データをプリンタ本体へ蓄積しません。
ただし、値引き履歴データは、JAN2 段値下もしくは CODE128 値下の一方しか蓄積できません。JAN2 段値下履歴データが“あり”に設定されている状態で、CODE128 値下履歴データ蓄積を“なし”から“あり”に変更するとデータ削除確認画面が表示されます。

値引き履歴データ転送方法

値引き履歴データ転送方法を選びます。

値引き履歴
データ転送方法
1. SD
2. FTP

「値引き履歴データ蓄積」で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。
USBモデルの場合、およびUSB+LANモデルでUSBが選択されている場合、この画面は表示されません。値引き履歴データ蓄積選択画面が“あり”の場合は、SDカードに履歴データを保存します。

プリンタNo.

値引きデータを蓄積するプリンタ No. を設定します。00 ～ 99 の設定が可能です。未入力の場合、プリンタ No. は“00”を設定します。
プリンタ No. は、値引き履歴データに反映されます。

値下CODE128の印字レイアウト例

印字レイアウトは「値下設定」(252 ページ)で設定します。

円引きラベル

元売価印字をする場合

元売価印字をしない場合

「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をしないとき	「総額レイアウト」の設定：“なし”以外で値下後価格印字をしないとき
表示価格より 1000 円引 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	本体価格より 1000 円引 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格より 1000 円引	本体価格より 1000 円引

「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“本体＋税”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“本体(大)”で値下後価格印字をするとき
1000 円引きで 値下後価格 4000 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	1000 円引きで 値下後価格（本体） 4000 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	1000 円引きで 値下後価格 (本体)4000 円 (税込)4320 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
1000 円引きで 値下後価格 4000 円	1000 円引きで 値下後価格（本体） 4000 円＋税	1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

「総額レイアウト」の設定：“税込(大)”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“併記(同)”で値下後価格印字をするとき
1000 円引きで 値下後価格 (税込)4320 円 (本体)4000 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	1000 円引きで 値下後価格 (本体)4000 円 (税込)4320 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
1000 円引きで 値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円	1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

%引きラベル

元売価印字をする場合

「総額レイアウト」の設定：“税込(大)”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“併記(同)”で値下後価格印字をするとき
表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 (税込) 2700 円 (本体) 2500 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格(本体) 5000 円を 半 額 値下後価格 (税込) 2700 円 (本体) 2500 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	表示価格(本体) 5000 円を 半 額 値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格 (本体) 5000 円を 50 %引きで (税込) 2700 円 値下後価格 (本体) 2500 円	表示価格 (本体) 5000 円を 50 %引きで (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円
表示価格 (本体) 5000 円を 半 額 (税込) 2700 円 値下後価格 (本体) 2500 円	表示価格 (本体) 5000 円を 半 額 (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円

元売価印字をしない場合

「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をしないとき	「総額レイアウト」の設定：“なし”以外で値下後価格印字をしないとき
表示価格より ５０ %引 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	本体価格より ５０ %引 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格より 半 額 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	本体価格より 半 額 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格より ５０ %引	本体価格より ５０ %引
表示価格より 半額	本体価格より 半額

「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“本体＋税”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“本体(大)”で値下後価格印字をするとき
50 %引きで 値下後価格 2500 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	50 %引きで 値下後価格(本体) 2500 円＋税 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	50 %引きで 値下後価格 (本体)2500 円 (税込)2700 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
半 額 値下後価格 2500 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	半 額 値下後価格(本体) 2500 円＋税 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	半 額 値下後価格 (本体)2500 円 (税込)2700 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
50 %引きで 値下後価格 2500 円	50 %引きで 値下後価格（本体） 2500 円＋税	50 %引きで 値下後価格 （本体） 2500 円 （税込） 2700 円
半 額 値下後価格 2500 円	半 額 値下後価格（本体） 2500 円＋税	半 額 値下後価格 （本体） 2500 円 （税込） 2700 円

「総額レイアウト」の設定：“税込(大)”で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“併記(同)”で値下後価格印字をするとき
値下後価格 50 %引きで (税込)2700 円 (本体)2500 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	値下後価格 50 %引きで (本体)2500 円 (税込)2700 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
値下後価格 半 額 (税込)2700 円 (本体)2500 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	値下後価格 半 額 (本体)2500 円 (税込)2700 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
50 %引きで (税込) 2700 円 値下後価格 (本体) 2500 円	50 %引きで (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円
半 額 (税込) 2700 円 値下後価格 (本体) 2500 円	半 額 (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円

新価格ラベル

元売価印字をする場合

「総額レイアウト」の設定： “なし”のとき	「総額レイアウト」の設定： “本体＋税”のとき	「総額レイアウト」の設定： “本体(大)”のとき
表示価格 5000 円を 値下後価格 4000 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格(本体) 4000 円+税 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格 5000 円を 値下後価格 4000 円	表示価格（本体） 5000 円を 値下後価格（本体） 4000 円	表示価格（本体） 5000 円を 値下後価格 （本体） 4000 円 （税込） 4320 円

「総額レイアウト」を “税込(大)”に設定したとき	「総額レイアウト」を “併記(同)”に設定したとき
表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D	表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 バーコード（CODE128） XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC／D
表示価格（本体） 5000 円を 値下後価格 （税込） 4320 円 （本体） 4000 円	表示価格（本体） 5000 円を 値下後価格 （本体） 4000 円 （税込） 4320 円

元売価印字をしない場合

ラベルの発行

本プリンタに登録してある値下 CODE128 を使用して、商品の値下げラベルを発行します。
「円引き」「%引き」「新価格」の 3 つの値引き処理ができます。

No	値引処理	設定内容	参照ページ
1	円引き	値引き金額を設定します。	136 ページ
2	%引き	割引き率を設定します。	138 ページ
3	新価格	表示価格を訂正し、新たな価格を設定します。	140 ページ

円引きラベルを発行する

メニュー(2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

❶ **“5. 値下CODE128” を選び、確定キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“1. 値引処理” を選び、確定キーを押します。**

「パスワード」画面が表示されます。

「メニュー設定」機能の「メニュー表示」にて、「3.設定」を “する” に設定した場合のみ、「3.設定」を表示します。

❸ **パスワードを入力し、確定キーを押します。**

「担当者コード」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を “あり” に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は、244 ページをご覧ください。

❹ **担当者コードを入力し、確定 キーを押します。**

0～999999まで設定可能です。「値引き選択」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、126 ページをご覧ください。

❺ **“1.円引”を選び、確定 キーを押します。**

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

❻ **値引き額を入力し、確定 キーを押します。**

1～9999円の設定が可能です。

◀キーで割引率選択画面に変わります。

▼キーで新価格入力画面に変わります。

6 桁の場合

4 桁の場合

賞味期限 4 桁
月** 日**

❼ **賞味期限を入力し、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限入力選択を“あり”に設定した場合のみ表示します。
賞味期限入力選択の設定は、125 ページをご覧ください。
「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限桁数選択を“6桁”に設定した場合と“4桁”に設定した場合で桁数が異なります。
賞味期限桁数選択の設定は、125 ページをご覧ください。

❽ **値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。発行枚数を入力し、確定 キーを押します。**

◀キーで、発行の単位を選べます。

枚：バーコードラベルを指定枚数発行できます。

組：バーコードラベルと文字ラベルをセットで発行できます。

発行後、発行/停止 キーを押すと再発行します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX／XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

❾ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❼に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセパ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

%引きラベルを発行する

メニュー(2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

❶ **“5. 値下CODE128” を選び、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“1. 値引処理” を選び、確定 キーを押します。**

「パスワード」画面が表示されます。

「メニュー設定」機能の「メニュー表示」にて、「3.設定」を “する” に設定した場合のみ、「3.設定」を表示します。

❸ **パスワードを入力し、確定 キーを押します。**

「担当者コード」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を “あり” に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は、244 ページをご覧ください。

❹ **担当者コードを入力し、【確定】キーを押します。**

「値引き選択」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、126 ページをご覧ください。

❺ **“2.%引”を選び、【確定】キーを押します。**

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

割引き率
**%
F1:円引F3:新価格

❻ **割引率を選び、【確定】キーを押します。「任意」を選んだときのみ、次の画面で割引率を入力し、【確定】キーを押します。**

▲キーで値引き額入力画面に変わります。

▼キーで新価格入力画面に変わります。

6 桁の場合

4 桁の場合

賞味期限 4 桁
月** 日**

❼ **賞味期限を入力し、【確定】キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限入力選択を“あり”に設定した場合のみ表示します。
賞味期限入力選択の設定は、125 ページをご覧ください。
「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限桁数選択を“6桁”に設定した場合と“4桁”に設定した場合で桁数が異なります。
賞味期限桁数選択の設定は、125 ページをご覧ください。

❽ **値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。発行枚数を入力し、【確定】キーを押します。**

◀キーで、発行の単位を選べます。

枚：バーコードラベルを指定枚数発行できます。

組：バーコードラベルと文字ラベルをセットで発行できます。

発行後、【発行/停止】キーを押すと再発行します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX／XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

❾ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❼に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ/ノンセパ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

新価格ラベルを発行する

ﾒﾆｭｰ(2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

❶ **“5. 値下CODE128” を選び、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“1. 値引処理” を選び、確定 キーを押します。**

「パスワード」画面が表示されます。

「メニュー設定」機能の「メニュー表示」にて、「3.設定」を“する”に設定した場合のみ、「3.設定」を表示します。

❸ **パスワードを入力し、確定 キーを押します。**

「担当者コード」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は、244 ページをご覧ください。

❹ 担当者コードを入力し、確定 キーを押します。

「値引き選択」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、126 ページをご覧ください。

❺ “3.新価格” を選び、確定 キーを押します。

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

❻ 新価格を入力し、確定 キーを押します。

▲キーで値引き額入力画面に変わります。

◀キーで割引率入力画面に変わります。

6 桁の場合

4 桁の場合

❼ 賞味期限を入力し、確定 キーを押します。

「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限入力選択を“あり”に設定した場合のみ表示します。
賞味期限入力選択の設定は、125 ページをご覧ください。
「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限桁数選択を“6桁”に設定した場合と“4桁”に設定した場合で桁数が異なります。
賞味期限桁数選択の設定は、125 ページをご覧ください。

❽ 値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。発行枚数を入力し、確定 キーを押します。

◀キーで、発行の単位を選べます。

枚：バーコードラベルを指定枚数発行できます。

組：バーコードラベルと文字ラベルをセットで発行できます。

発行後、発行/停止 キーを押すと再発行します。

第5章 その他の発行機能

連続発行 /
ティアオフ発行時

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

❾ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❼に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセパ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、業務選択画面またはバーコード入力画面で ▶ キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

❶ **発行モードを選び、確定 キーを押します。**

元の画面に戻ります

商品を廃棄する

❶ **“5. 値下CODE128” を選び、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

業務選択
1. 値引処理
2. 廃棄
3. 設定

❷ **“2.廃棄” を選び、確定 キーを押します。**

「担当者コード」画面が表示されます。

❸ **パスワードを入力し、確定 キーを押します。**

「担当者コード」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は、244 ページをご覧ください。

❹ **担当者コードを入力し、確定 キーを押します。**

「コード入力」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、126 ページをご覧ください。

❺ **廃棄する商品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。確定 キーを押します。**

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

❻ **廃棄する数量を入力し、確定 キーを押します。**

履歴データ保存

蓄積した廃棄履歴、値引き履歴を SD カードに保存します。
USB+LAN モデルおよび無線 LAN モデルの場合、「値引き履歴データ転送方法」（127 ページ）で“SD”に設定したときのみ操作できます。

❶ **「値引処理」画面、または、廃棄の「コード入力画面」で、▲キーを押して履歴データ保存画面を表示させます。**

❷ **“はい”を選び、確定 キーを押します。**

履歴データが最大件数になった場合にもこの画面が表示されます。

同じﾌｧｲﾙ名が
あります
上書きしますか？
1.はい 2.いいえ

❸ **SDカードに、保存しようとしているのと同じ名前のファイルがある場合、確認画面が表示されます。上書きする場合は、“はい”を選び、確定キーを押します。**

❹ **履歴データ保存中は、“＞＞”が増えて進行状態を示します。**

履歴データ保存完了後、「データクリア」画面に変わります。

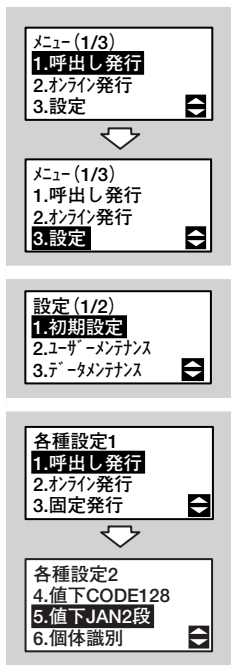
❺ **履歴データクリアの実行を確認し、確定キーを押します。**

いいえ　履歴データを消去せず「値引処理」画面に戻ります。

はい　履歴データを消去して「値引処理」画面に戻ります。

値下JAN2段の初期設定

本プリンタの初期設定の流れを説明します。

はじめて JAN2 段の値下げラベル発行をおこなう前に、以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“1. 初期設定” を選び、確定キーを押します。**

「各種設定」画面が表示されます。

❸ **“5. 値下JAN2段” を選び、確定キーを押します。**

「用紙種別」画面が表示されます。

以降 3 つの設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	発行形態	連続	146 ページ
2	チェックラベル有無	あり	146 ページ
3	印字位置調整	縦：↓00ドット　横：→00ドット	147 ページ

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ

ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（172 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

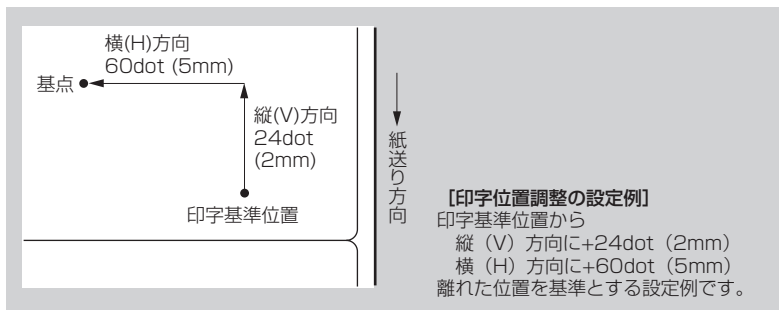
「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。
→「第 7 章　困ったときは」（263 ページ）

「発行形態」で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。

シフトキーを押して、縦方向（↑ ↓）/ 横方向（← →）を切替えられます。

印字位置調整
縦［↓00］ドット
横［→00］ドット
数

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot＝0.083mmになります。

値下JAN2段の設定

❶ **“6. 値下JAN2段” を選び、確定キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“設定” を選び、確定キーを押します。**

「メニュー設定」機能（246 ページ）の「メニュー表示」にて、「3.設定」を “する” に設定した場合のみ、「3.設定」が表示されます。

以降 30 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	ラベルサイズ	P65×W32	150 ページ
2	発行形態	連続	150 ページ
3	出力バーコード	バーコード1段	150 ページ
4	コメント機能	あり	150 ページ
5	プロパー価格表示	あり	150 ページ
6	部門機能	あり	150 ページ
7	NON-PLU 13桁1	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
8	NON-PLU 13桁2	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
9	NON-PLU 13桁3	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
10	NON-PLU 13桁4	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
11	NON-PLU 13桁5	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
12	NON-PLU 13桁6	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
13	NON-PLU 13桁7	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
14	NON-PLU 13桁8	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
15	NON-PLU 13桁9	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
16	NON-PLU 13桁10	フラグ：** 価格：4桁	151 ページ
17	出力バーフラグ	フラグ：02 P/C：あり	151 ページ
18	アイテムコード	5桁	151 ページ
19	出力バーコード	上段：21 下段：29	151 ページ
20	価格表示単位	¥	151 ページ
21	50%引の表示	50%引	152 ページ
22	円引処理	する	152 ページ
23	円引印字	新価格	152 ページ
24	%引処理	する	152 ページ
25	%引印字	新価格	152 ページ
26	新価格処理	あり	152 ページ
27	担当者コード	あり	153 ページ
28	値引き履歴データ蓄積	なし	153 ページ
29	値引き履歴データ転送方法	SD	153 ページ
30	プリンタNo.	**	153 ページ

ラベルサイズ

ラベルサイズを選びます。

- P65×W32（長さ65mm×幅32mm）
- P35×W48（長さ35mm×幅48mm）

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

発行形態
1. 連続
2. ティアオフ
3. ノンセパ

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ

ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（172 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

出力バーコード

出力するバーコードの種類を選びます。

コメント機能

コメントを印字するかどうかを選びます。
コメントの設定は、154 ページをご覧ください。

プロパー価格表示

プロパー価格（元売価）を印字するかどうかを選びます。

部門機能

部門名を印字するかどうかを選びます。
部門名の設定は、156 ページをご覧ください。

NON-PLU 13桁

13 桁スキャナ入力時に NON-PLU と認識するフラグを設定します。フラグは、00 ～ 99 まで設定可能です。また、読取ったバーコード内の価格を設定できます。価格を「4 桁」に設定した場合は、9 ～ 12 桁目を価格とします。価格を「5 桁」に設定した場合は、8 ～ 12 桁目を価格とします。プライスチェックデジットは、計算しません。「NON-PLU13 桁 1」から「NON-PLU13 桁 10」までの 10 件設定できます。

NON-PLU 13桁1
フラグ ＊＊
価格
4桁 5桁

▲▼または数字キーを使って設定を変更したい項目（フラグまたは桁数）を選びます。

出力バーフラグ

出力バーコード 1 段のフラグとプライスチェックデジットの有無を選びます。

アイテムコード

アイテムコードの桁数を選びます。

「出力バーフラグ」で“P/C”を“なし”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

出力バーコード

出力バーコード 2 段のフラグを設定します。

出力バーコード
上段 21
下段 29
数

価格表示単位

価格表示単位を選びます。

50%引の表示

50%引きの表示方法を選びます。

円引処理

値引処理で「円引」を使用するかどうかを選びます。
“する”を選んだ場合のみ、「値引処理」（165 ページ❺）に「円引」が表示されます。

円引印字

円引ラベルの印字内容を選びます。

%引処理

値引処理で「%引」を使用するかどうかを選びます。
“する”を選んだ場合のみ、「値引処理」（167 ページ❺）に「%引」が表示されます。

%引印字

%引ラベルの印字内容を選びます。

新価格処理

値引処理で「新価格」を使用するかどうかを選びます。
“する”を選んだ場合のみ、「値引処理」（170 ページ❺）に「新価格」が表示されます。

担当者コード

「値引処理」の実行時に担当者コード入力画面を表示するかしないかを選びます。“あり”を選択した場合、担当者コード入力画面で入力された担当者コードが、履歴データの担当者コードへ反映されます。“なし”を選択した場合、履歴データの担当者コードは、“000000”が入力されます。

値引き履歴データ蓄積

値引き履歴データを蓄積するかどうか選びます。
値引き処理の履歴データをプリンタ本体に蓄積し、ホストなどへ転送する場合は、“あり”を設定します。“なし”を設定した場合は、履歴データをプリンタ本体へ蓄積しません。
ただし、値引き履歴データは、JAN2段値下もしくはCODE128値下の一方しか蓄積できません。JAN2段値下履歴データが“あり”に設定されている状態で、CODE128 値下履歴データ蓄積を“なし”から“あり”に変更するとデータ削除確認画面が表示されます。

値引き履歴
データ蓄積？
1. あり
2. なし

値引き履歴データ転送方法

値引き履歴データ転送方法を選びます。

値引き履歴
データ転送方法
1. SD
2. FTP

「値引き履歴データ蓄積」で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。
USBモデルの場合、およびUSB+LANモデルでUSBが選択されている場合、この画面は表示されません。値引き履歴データ蓄積選択画面が“あり”の場合は、SDカードに履歴データを保存します。

プリンタNo.

値引きデータを蓄積するプリンタ No. を設定します。00 ～ 99の設定が可能です。未入力の場合、プリンタ No. は“00”を設定します。
プリンタ No. は、値引き履歴データに反映されます。

テーブル編集

コメントや部門名を編集します。

❶ **“6. 値下JAN2段”を選び、確定キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“テーブル”を選び、確定キーを押します。**

コメントテーブル

❶ **「テーブル選択」画面で“コメント”を選び、確定キーを押します。**

❷ **編集内容を選び、確定キーを押します。**

登録

❶ **「コメントテーブル」画面で“登録”を選び、確定キーを押します。**

❷ **登録するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。**

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、シフトキーを押して「コピーNo」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

第5章 その他の発行機能

❸ コメントを入力し、確定キーを押します。

変更

❶「コメントテーブル」画面で“変更”を選び、確定キーを押します。

❷ 変更するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

❸ コメントを入力し、確定キーを押します。

削除

❶「コメントテーブル」画面で“削除”を選び、確定キーを押します。

❷ 削除するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

削除するテーブルNoを入力してシフトキーを押すとテーブル内容が確認できます。

❸ 確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。

データが削除されます。

ダンプ発行

登録したコメントの一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

❶「コメントテーブル」画面で“ダンプ”を選び、確定キーを押します。

❷ **ダンプ発行するデータの範囲を指定し、確定キーを押します。**

開始番号より終了番号が大きくなるようにテーブルNo.を入力してください。

シフトキーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

❸ **指定した範囲のコメントが一枚ずつ印字されます。**

部門テーブル

❶ **「テーブル選択」画面で“部門”を選び、確定キーを押します。**

❷ **編集内容を選び、確定キーを押します。**

登録

❶ **「部門テーブル」画面で“登録”を選び、確定キーを押します。**

❷ **登録するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。**

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、シフトキーを押して「コピーNo」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

部門
■・・
カナ

❸ **部門名を入力し、確定キーを押します。**

第5章 その他の発行機能

変更

❶「部門テーブル」画面で"変更"を選び、確定キーを押します。

❷ 変更するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

❸ 部門名を入力し、確定キーを押します。

削除

❶「部門テーブル」画面で"削除"を選び、確定キーを押します。

❷ 削除するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

削除するテーブルNoを入力してシフトキーを押すとテーブル内容が確認できます。

❸ 確認画面で"はい"を選び、確定キーを押します。

データが削除されます。

ダンプ発行

登録した部門名の一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

❶「部門テーブル」画面で"ダンプ"を選び、確定キーを押します。

❷ **ダンプ発行するデータの範囲を指定し、[確定]キーを押します。**

開始番号より終了番号が大きくなるようにプリセットNo.を入力してください。

[シフト]キーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

部門ﾃｰﾌﾞﾙ
ﾀﾞﾝﾌﾟﾃﾞｰﾀ発行中

❸ **指定した範囲の部門名が一枚ずつ印字されます。**

値下JAN2段の印字レイアウト例

印字レイアウトは「値下設定」（252 ページ）で設定します。

円引きラベル

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をしないとき	「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”以外で値下後価格印字をしないとき
お 買 得 品 表示価格より 1 2 3 4 5 6 部門名 2300 円引 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 部門名 1000 円引 バーコード（解説文字を含む）

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“本体＋税”で値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“本体（大）”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品 通常価格 3980 円より 部門名 1000 円引で ¥2980 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (本体)¥4000 +税 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (本体)¥4000 (税込) ¥4320 バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品 通常価格 3980 円より 部門名 1000 円引で 2980 円 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (本体) 4000 円 +税 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 バーコード（解説文字を含む）

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“税込（大）”で値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“併記（同）”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (税込)¥4320 (本体) ¥4000 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (本体)¥4000 (税込)¥4320 バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 バーコード（解説文字を含む）	お 買 得 品 お買得品(本体) 5000円 1000 円引で 部門名 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 バーコード（解説文字を含む）

「ラベルサイズ」の設定：“P35×W48”で値下後価格印字をしないとき	「ラベルサイズ」の設定：“P35×W48”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品 部門名 表示価格より １２３４５６ バーコード（解説文字を含む） 2300 円引	お 買 得 品 部門名 通常価格 5000 円より ２７００円引 バーコード（解説文字を含む） ¥2300
	お 買 得 品 部門名 通常価格 5000 円より ２７００円引 バーコード（解説文字を含む） 2300 円

%引きラベル

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をしないとき
お 買 得 品
表示価格より１２３４５６ 部門名
20%引
バーコード
(解説文字を含む)
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”以外で値下後価格印字をしないとき
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
部門名
20 %引
バーコード
(解説文字を含む)

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品
通常価格 5000 円より 部門名
25%引で
¥3750
お 買 得 品
通常価格 5000 円より 部門名
25%引で
3750 円
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“本体＋税”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(本体)¥4000
+税
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(本体) 4000 円
+税
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“本体（大）”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
部門名
(本体)¥4000
(税込) ¥4320
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(本体) 4000 円
(税込) 4320 円
バーコード
(解説文字を含む)

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“税込（大）”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(税込)¥4320
(本体) ¥4000
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(税込) 4320 円
(本体) 4000 円
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“併記（同）”で値下後価格印字をするとき
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(本体)¥4000
(税込)¥4320
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円
20%引で
部門名
(本体) 4000 円
(税込) 4320 円
バーコード
(解説文字を含む)

「50%引の表示」（152 ページ）を“半額”に設定し、割引率を50%に設定した場合

新価格ラベル

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“なし”のとき
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“本体＋税”のとき
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“本体(大)”のとき
お 買 得 品
表示価格より１２３４５６ 部門名
¥2300
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(本体)¥4000
+税
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(本体)¥4000
(税込) ¥4320
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
表示価格より１２３４５６ 部門名
2300 円
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(本体) 4000 円
+税
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(本体) 4000 円
(税込) 4320 円
バーコード（解説文字を含む）

「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“税込(大)”のとき
「ラベルサイズ」の設定：“P65×W32”、「総額レイアウト」の設定：“併記(同)”のとき
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(税込)¥4320
(本体) ¥4000
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(本体)¥4000
(税込)¥4320
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(税込) 4320 円
(本体) 4000 円
バーコード（解説文字を含む）
お 買 得 品
お買得品(本体) 5000円 部門名
(本体) 4000 円
(税込) 4320 円
バーコード（解説文字を含む）

「ラベルサイズ」の設定：“P35×W48”のとき
お 買 得 品
部門名
バーコード
（解説文字を含む）
¥2300
お 買 得 品
部門名
バーコード
（解説文字を含む）
2300 円

ラベルの発行

本プリンタに登録してある値引 JAN2 段を使用して、商品の値下げラベルを発行します。
「円引き」「%引き」「新価格」の 3 つの値引き処理ができます。

No	値引処理	設定内容	参照ページ
1	円引き	値引き金額を設定します。	164 ページ
2	%引き	割引き率を設定します。	167 ページ
3	新価格	表示価格を訂正し、新たな価格を設定します。	169 ページ

円引きラベルを発行する

❶ **“6. 値下JAN2段” を選び、確定キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“値引処理” を選び、確定キーを押します。**

❸ **コメントテーブルNo.を入力し、確定キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、コメント機能を “あり” に設定した場合のみ表示します。コメント機能の設定は、150 ページをご覧ください。

❹ **担当者コードを入力し、確定キーを押します。**

「値引処理」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、153 ページをご覧ください。

❺ **“円引”を選び、確定キーを押します。**

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

❻ **値引き金額を入力し、確定キーを押します。**

1～9999円の設定が可能です。

❼ **値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、確定キーを押します。**

❽ **下段のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、確定キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、150 ページをご覧ください。

❾ **部門のコードを入力し、確定キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、部門設定を“あり”に設定し、かつ出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。部門名の設定は、156 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

❿ アイテムを入力し、確定 キーを押します。

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード1段” に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、150 ページをご覧ください。
ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

⓫ 元売価を入力し、確定 キーを押します。

NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

⓬ 発行枚数を入力し、確定 キーを押します。

連続発行 / ティアオフ発行時

発行中
XXXX／XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

⓭ 発行を開始します。

発行が終わると手順❼に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセパ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

%引きラベルを発行する

❶ **“6. 値下JAN2段” を選び、確定キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“値引処理” を選び、確定キーを押します。**

❸ **コメントテーブルNo.を入力し、確定キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、コメント機能を“あり”に設定した場合のみ表示します。コメント機能の設定は、150 ページをご覧ください。

❹ **担当者コードを入力し、確定キーを押します。**

「値引処理」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、153 ページをご覧ください。

❺ **“%引” を選び、確定キーを押します。**

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

❻ **割引き率を入力し、確定キーを押します。**

1～99%の設定が可能です。

❼ **値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、確定キーを押します。**

❽ **下段のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、[確定] キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード2段” に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、150 ページをご覧ください。

❾ **部門のコードを入力し、[確定] キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、部門設定を“あり”に設定し、かつ出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。部門名の設定は、156 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

❿ **アイテムを入力し、[確定] キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード1段” に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、150 ページをご覧ください。
ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

⓫ **元売価を入力し、[確定] キーを押します。**

NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

⓬ **発行枚数を入力し、[確定] キーを押します。**

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX／XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

⑬ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❼に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は[発行/停止]キーで発行が一時中断します。再度、[発行/停止]キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセパ発行時は[発行/停止]キーで発行が終了します。

新価格処理ラベルを発行する

ﾒﾆｭｰ (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

❶ **“6. 値下JAN2段” を選び、[確定]キーを押します。**

「業務選択」画面が表示されます。

❷ **“値引処理” を選び、[確定]キーを押します。**

❸ **コメントテーブルNo.を入力し、[確定]キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、コメント機能を“あり”に設定した場合のみ表示します。コメント機能の設定は、150 ページをご覧ください。

❹ **担当者コードを入力し、確定 キーを押します。**

「値引処理」画面が表示されます。

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、153 ページをご覧ください。

❺ **“新価格”を選び、確定 キーを押します。**

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

❻ **値引後の新価格を入力し、確定 キーを押します。**

1〜9999円の設定が可能です。

❼ **値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、確定 キーを押します。**

❽ **下段のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、150 ページをご覧ください。

❾ **部門のコードを入力し、確定 キーを押します。**

「業務選択」画面の「設定」にて、部門設定を“あり”に設定し、かつ出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。部門名の設定は、156 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

❿ アイテムを入力し、確定 キーを押します。

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード1段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、150 ページをご覧ください。
ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

⓫ 元売価を入力し、確定 キーを押します。

NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

⓬ 発行枚数を入力し、確定 キーを押します。

連続発行 / ティアオフ発行時

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

⓭ 発行を開始します。

発行が終わると手順❼に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセパ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、業務選択画面で▶キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

❶ **発行モードを選び、確定キーを押します。**

業務選択画面に戻ります

履歴データ保存

蓄積した廃棄履歴、値引き履歴を SD カードに保存します。
USB+LAN モデルおよび無線 LAN モデルの場合、「値引き履歴データ転送方法」(153 ページ)で "SD" に設定したときのみ操作できます。

❶ **「値引処理」画面で、▲キーを押して履歴データ保存画面を表示させます。**

履歴データが最大件数になった場合にもこの画面が表示されます。

❷ **"はい" を選び、確定キーを押します。**

❸ **SDカードに、保存しようとしているのと同じ名前のファイルがある場合、確認画面が表示されます。上書きする場合は、"はい" を選び、確定キーを押します。**

❹ **履歴データ保存中は、">>" が増えて進行状態を示します。**

履歴データ保存完了後、「データクリア」画面に変わります。

❺ **履歴データクリアの実行を確認し、確定キーを押します。**

いいえ　履歴データを消去せず「値引処理」画面に戻ります。

はい　履歴データを消去して「値引処理」画面に戻ります。

個体識別

本プリンタに登録してある個体識別を使用して、継承ラベルおよび個体識別ラベルを発行します。

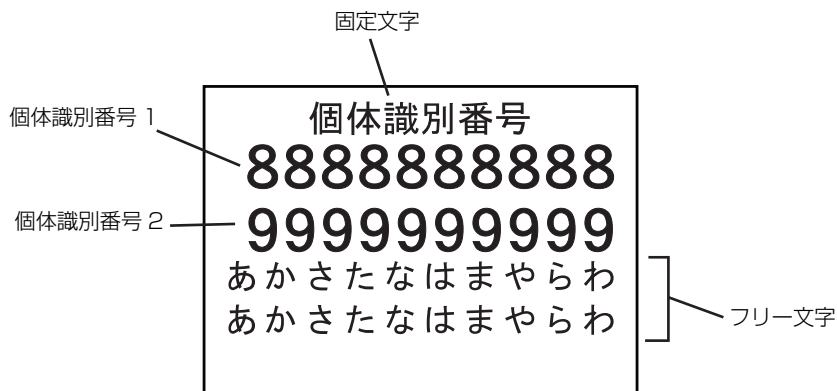
継承ラベル（大ラベル）

「部位名」「個体識別番号」「産地名」「消費期限」が表示されます。

継承ラベル（小ラベル）

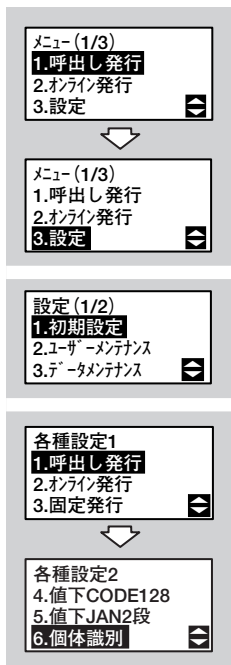
「個体識別番号」「消費期限」が表示されます。

個体識別ラベル

「個体識別ラベル」が表示されます。

日付見出とフリー文字は、個体識別の「設定」のテーブル設定で設定します。
テーブル設定については、181 ページをご覧ください。

個体識別の初期設定

本プリンタの初期設定の流れを説明します。

はじめて個体識別ラベル発行をおこなう前に、以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“1. 初期設定” を選び、確定キーを押します。**

「各種設定」画面が表示されます。

❸ **“6.個体識別” を選び、確定キーを押します。**

「用紙種別」画面が表示されます。

以降 16 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	発行形態	連続	176 ページ
2	チェックラベル有無	あり	177 ページ
3	継承ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット　横：→00ドット	178 ページ
4	個体識別ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット　横：→00ドット	178 ページ
5	部位名印字	あり	178 ページ
6	部位テーブルNo印字	あり	178 ページ
7	産地名印字	あり	179 ページ
8	産地テーブルNo印字	あり	179 ページ

No	設定項目	初期値	参照ページ
9	日付印字	あり	179 ページ
10	加算日数初期値	000	179 ページ
11	個体識別固定印字	あり	180 ページ
12	継承ラベルサイズ	大ラベルP38xW40	180 ページ
13	個体識別ラベルサイズ	縦：25mm　横：32mm	180 ページ
14	バーコード種変更	しない	180 ページ
15	バーコード種変更パスワード	＊＊＊＊	180 ページ
16	バーコード種	ITFコード	180 ページ

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

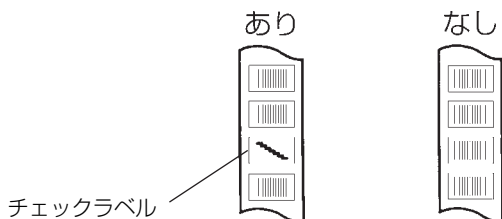
- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ

ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（193 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。

→「第 7 章　困ったときは」（263 ページ）

✔チェック

「発行形態」で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

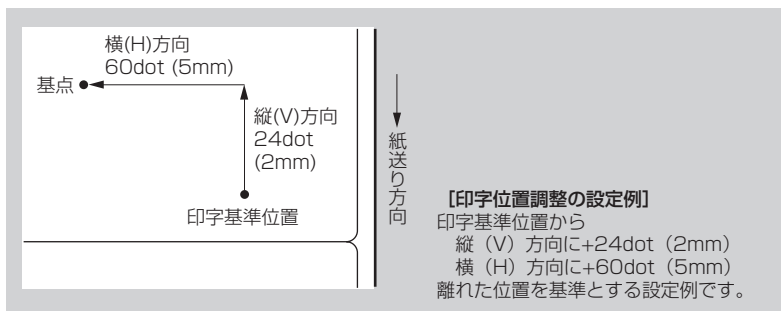
印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。

継承ﾗﾍﾞﾙ
印字位置調整
縦[↓00]ドット
横[→00]ドット 数

個体識別ﾗﾍﾞﾙ
印字位置調整
縦[↓00]ドット
横[→00]ドット 数

シフトキーを押して、縦方向（↑ ↓）/ 横方向（← →）を切替えられます。

[印字位置調整の設定例]
印字基準位置から
縦（V）方向に+24dot（2mm）
横（H）方向に+60dot（5mm）
離れた位置を基準とする設定例です。

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

部位名の印字

部位名の印字をおこなうかどうかを選びます。

印字項目選択
部位名印字
1. あり
2. なし

部位テーブルNoの印字

部位テーブル No の印字をおこなうかどうかを選びます。

「部位名」で“あり”に設定した場合のみ表示されます。ここで“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」（190 ページ）において「部位名」画面が表示されません。
部位テーブルNoについては、188 ページをご覧ください。

産地名の印字

産地名の印字をおこなうかどうかを選びます。

ここで“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」（190 ページ）において「産地名」画面が表示されません。

産地テーブルNoの印字

産地テーブル No の印字をおこなうかどうかを選びます。

印字項目選択
産地ﾃｰﾌﾞﾙNo印字
1. あり
2. なし

「産地名印字」で“あり”に設定した場合のみ表示されます。産地テーブルNoについては、185 ページをご覧ください。

日付の印字

日付の印字をおこなうかどうかを選びます。

ここで“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」（190 ページ）において「加算日数」画面が表示されません。

加算日数の初期値

加算日数（消費期限）の初期値を設定します。
プリンタのシステムカレンダー日付に対しての加算日数を入力します。

例）翌日を設定するときは“001”を入力します。

印字項目選択
加算日数初期値
[000]
数

「日付印字」で“あり”に設定した場合のみ表示されます。

個体識別の固定印字

個体識別の固定印字をおこなうかどうかを選びます。

継承ラベルサイズ

継承ラベルのサイズを選びます。

継承ﾗﾍﾞﾙｻｲｽﾞ
1. 大ﾗﾍﾞﾙP38×W40
2. 小ﾗﾍﾞﾙP25×W32

- 大ラベル（長さ38mm×幅40mm）
- 小ラベル（長さ25mm×幅32mm）

個体識別ラベルサイズ

個体識別ラベルのサイズを設定します。

個体識別ﾗﾍﾞﾙ
サイズ
縦[025]mm
横[32]mm
数

- 縦：25〜100mm
- 横：32〜48mm

バーコード種の変更

バーコード種を変更するかどうかを選びます。“する” を選んで 確定 キーを押すと「バーコード種変更パスワード」画面が表示されます。

バーコード種変更のパスワード

バーコード種を変更するためのパスワードを入力できます。

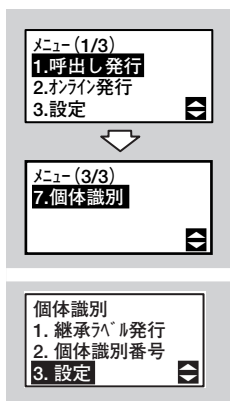
バーコード種変更をおこなう場合は、パスワード入力が必要です。パスワードの登録は、244 ページをご覧ください。

バーコード種

バーコードの種類を選びます。

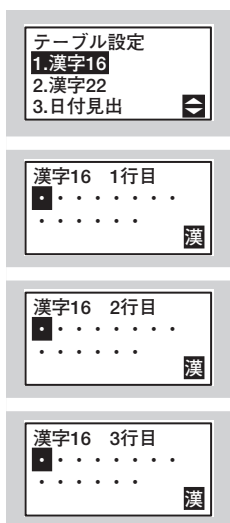
- ITFコード
- CODE128Cタイプ

個体識別の設定

❶ “7. 個体識別” を選び、確定キーを押します。

「個体識別」画面が表示されます。

個体識別
1. 継承ﾗﾍﾞﾙ発行
2. 個体識別番号
3. 設定

❷ “設定” を選び、確定キーを押します。

漢字16

❶「テーブル設定」画面で “漢字16” を選び、確定キーを押します。

❷ 漢字16の1行目を全角14文字以内で入力し、確定キーを押します。

❸ 漢字16の2行目を全角14文字以内で入力し、確定キーを押します。

❹ 漢字16の3行目を全角14文字以内で入力し、確定キーを押します。

漢字22

❶「テーブル設定」画面で“漢字22”を選び、確定キーを押します。

❷ 漢字22の1行目を全角10文字以内で入力し、確定キーを押します。

❸ 漢字22の2行目を全角10文字以内で入力し、確定キーを押します。

日付見出

❶「テーブル設定」画面で“日付見出”を選び、確定キーを押します。

❷ 日付見出を全角4文字以内で入力し、確定キーを押します。

産地名

❶「テーブル設定」画面で“産地名”を選び、確定キーを押します。

❷ 編集内容を選び、確定キーを押します。

登録

❶「産地名」画面で“登録”を選び、確定キーを押します。

❷ 登録するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、▼キーを押して「コピー No」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

❸ 産地名を入力し、確定キーを押します。

変更

❶「産地名」画面で“変更”を選び、確定キーを押します。

❷ 変更するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

❸ 産地名を入力し、確定キーを押します。

削除

❶「産地名」画面で“削除”を選び、確定キーを押します。

❷ 削除するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

削除するテーブルNoを入力して▼キーを押すとテーブル内容が確認できます。

❸ 確認画面で“はい”を選び、確定キーを押します。

データが削除されます。

ダンプ発行

登録した産地名の一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

❶「産地名」画面で“ダンプ”を選び、確定キーを押します。

❷ ダンプ発行するデータの範囲を指定し、確定キーを押します。

開始番号より終了番号が大きくなるようにテーブルNo.を入力してください。

シフトキーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

❸ 指定した範囲の産地名が一枚ずつ印字されます。

産地名の初期値は次のとおりです。

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
001	北海道産	017	石川県産	033	岡山県産
002	青森産	018	福井県産	034	広島県産
003	岩手県産	019	山梨県産	035	山口県産
004	宮城県産	020	長野県産	036	徳島県産
005	秋田県産	021	岐阜県産	037	香川県産
006	山形県産	022	静岡県産	038	愛媛県産
007	福島県産	023	愛知県産	039	高知県産
008	茨城県産	024	三重県産	040	福岡県産
009	栃木県産	025	滋賀県産	041	佐賀県産
010	群馬県産	026	京都府産	042	長崎県産
011	埼玉県産	027	大阪府産	043	熊本県産
012	千葉県産	028	兵庫県産	044	大分県産
013	東京都産	029	奈良県産	045	宮崎県産
014	神奈川県産	030	和歌山県産	046	鹿児島県産
015	新潟県産	031	鳥取県産	047	沖縄県産
016	富山県産	032	島根県産	099	国産

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
101	アメリカ産	120	クウェート産	139	ニュージーランド産
102	アラブ産	121	コロンビア産	140	ノルウェー産
103	アルゼンチン産	122	サウジアラビア産	141	パキスタン産
104	イギリス産	123	シンガポール産	142	フィジー産
105	イスラエル産	124	スイス産	143	フィリピン産
106	イタリア産	125	スウェーデン産	144	フィンランド産
107	イラン産	126	スーダン産	145	ブラジル産
108	インド産	127	スペイン産	146	フランス産
109	インドネシア産	128	スリランカ産	147	ブルガリア産
110	エクアドル産	129	セネガル産	148	フロリダ産
111	エジプト産	130	タイ産	149	ベトナム産
112	オーストラリア産	131	台湾産	150	ペルー産
113	オーストリア産	132	中国産	151	ベルギー産
114	オランダ産	133	チリ産	152	ポルトガル産
115	カナダ産	134	デンマーク産	153	マレーシア産
116	カルフォルニア産	135	ドイツ産	154	南アフリカ産
117	韓国産	136	トルコ産	155	メキシコ産
118	北朝鮮産	137	ナイジェリア産	156	ロシア産
119	ギリシア産	138	日本産		

部位名

❶「テーブル設定」画面で“部位名”を選び、確定キーを押します。

❷ 編集内容を選び、確定キーを押します。

登録

❶「部位名」画面で“登録”を選び、確定キーを押します。

❷ 登録するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、▼キーを押して「コピーNo」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

❸ 部位名を入力し、確定キーを押します。

変更

❶「部位名」画面で“変更”を選び、確定キーを押します。

❷ 変更するテーブルNoを入力し、確定キーを押します。

❸ **部位名を入力し、確定 キーを押します。**

削除

❶ **「部位名」画面で“削除”を選び、確定 キーを押します。**

❷ **削除するテーブルNoを入力し、確定 キーを押します。**

削除するテーブルNoを入力して▼キーを押すとテーブル内容が確認できます。

❸ **確認画面で“はい”を選び、確定 キーを押します。**

データが削除されます。

ダンプ発行

登録した部位名の一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

❶ **「部位名」画面で“ダンプ”を選び、確定 キーを押します。**

❷ **ダンプ発行するデータの範囲を指定し、確定 キーを押します。**

開始番号より終了番号が大きくなるようにテーブルNo.を入力してください。

◀▶キーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

部位名
ﾀﾞﾝﾌﾟﾃﾞｰﾀ発行中

❸ **指定した範囲の部位名が一枚ずつ印字されます。**

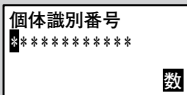
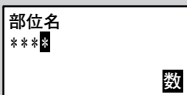
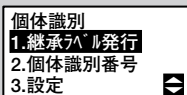
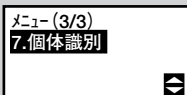
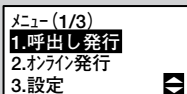
部位名の初期値は次のとおりです。

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
100	枝肉	325	かたロースC	441	かいのみ（フラップミート
101	セット	330	かたばら	442	フランク（ささみ）
102	セットC	331	かたばらA（三角ばら）	490	その他ばら
190	その他枝肉	332	かたばらB（ブリスケット	500	骨付ロイン
191	その他セット	333	かたばらC	501	骨付ロイン（ヒレなし）
200	枝肉半丸（サイド）	334	かたばらD	502	ロインセット
201	半丸セット	340	かた（うで、しゃくし）	503	ロインセットC
202	半丸セットC	341	かたS	510	リブロース
210	骨付きとも	342	とうがらし（チャックテン	511	リブロースS
220	骨付きとも（ばらなし）	350	まえずね（すね）	512	リブロース芯（リブアイロ
290	その他半丸枝肉	351	まえずねS	513	リブロースかぶり（リブキ
291	その他半丸セット	390	その他まえ	520	サーロイン
300	骨付まえ	400	骨付ともばら	521	サーロインS
301	まえセット	401	ともばらセット	522	サーロインA
302	まえセットC	402	ともばらセットC	523	サーロインB
310	ネック	410	ともばら	530	ヒレ（ヘレ）
311	ネックS	420	うちばら	531	ヒレA
312	ネックA	421	ともばらA	532	ヒレB
320	かたロース（くらした）	422	ともばらB	590	その他ロイン
321	ネック付きかたロース	430	そとばら	600	骨付もも
322	かたロースS	431	ともばらC	601	ももセット
323	かたロースA	432	ともばらD	602	ももセットC
324	かたロースB	440	かいのみ・ささみ	610	うちもも

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
611	うちももＳ	715	すじ	843	センマイ（第3胃）
612	うちももかぶり	720	骨	844	アカセンマイ（第4胃、ギ
613	うちももＡ	730	脂肪	845	ショウチョウ（小腸）
614	うちももＢ	731	脂肪	846	ダイチョウ（大腸）
620	しんたま	732	天然脂	847	シマチョウ
621	しんたまＳ	790	その他部位	848	チョクチョウ（直腸）
622	ともさんかく（トライチッ	800	副生物	860	＜その他内臓部＞
630	らんいち	801	副生物セット	861	チレ（脾臓、タチギモ）
631	ランプ	810	＜頭部＞	862	スイゾウ（膵臓）
632	いちぼ（クーレット）	811	カシラニク（頭肉、トウニ	863	シビレ（胸腺）
640	そともも（はばきなし）	812	ホホニク（頬肉）	864	気管（フエガラミ、フエ）
641	そともも（はばき付）	820	＜赤物＞	865	食道（ノドスジネリガエ
642	そとももＳ	821	タン（舌）	866	ブレンズ（脳）
643	はばき（ヒール）	822	ハツ（心臓、ココロ）	867	セキズイ（脊髄）
644	しきんぼ（アイラウンド）	823	ハツモト（下行大動脈）	868	チチカブ（乳房）
650	ともずね（はばき付）	824	レバー（肝臓、キモ）	869	コブクロ（子宮）
651	ともずね	825	サガリ	880	＜足、尾部＞
652	ともずねＳ	826	ハラミ（横隔膜）	881	テール（尾）
690	その他もも	827	マメ（腎臓）	882	牛足
711	小肉（トリミングミート）	828	フワ（肺臓、フク）	883	アキレス（アキレス腱）
712	挽材（正肉）	840	＜白物＞	890	＜その他副生物＞
713	小間材	841	ミノ（第1胃）	891	ハラ脂
714	切り落とし	842	ハチノス（第2胃）		

ラベルの発行

継承ラベル、個体識別ラベルの発行方法を説明します。

継承ラベルを発行する

❶ **“7. 個体識別”を選び、確定キーを押します。**

「個体識別」画面が表示されます。

❷ **“1.継承ラベル発行”を選び、確定キーを押します。**

❸ **部位名番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、部位名番号を入力し、確定キーを押します。**

部位名の番号については、188 ページをご覧ください。

- この画面は個体識別の初期設定で「部位名印字」が“あり”に設定したときのみ表示されます（178 ページ）。
- 部位名番号を入力後、入力切替キーを押すと部位名を表示します。部位名表示後は、▲▼◀▶キーで変更できます。

❹ **個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、確定キーを押します。**

❺ **産地名番号を入力し、確定 キーを押します。**

産地名の番号については、185 ページをご覧ください。

- この画面は個体識別の初期設定で「産地名印字」が“あり”に設定されているときのみ表示されます（179 ページ）。
- 産地名番号を入力後、入力切替キーを押すと産地名を表示します。産地名表示後は、▲▼◀▶キーで変更できます。

❻ **加算日数（消費期限）を入力し、確定 キーを押します。**

この画面は個体識別の初期設定で「日付印字」が“あり”に設定されているときのみ表示されます（179 ページ）。

❼ **発行枚数を入力し、確定 キーを押します。**

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

発行中
XXXX／XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX／XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

❽ **発行を開始します。**

発行が終わると手順❸に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセパ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

第5章

その他の発行機能

個体識別ラベルを発行する

❶ **“7. 個体識別” を選び、[確定]キーを押します。**

「個体識別」画面が表示されます。

❷ **“2.個体識別番号” を選び、[確定]キーを押します。**

❸ **1件目の個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、[確定]キーを押します。**

2件目の「個体識別番号入力」画面が表示されます。

❹ **2件目の個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、[確定]キーを押します。**

3件目の「個体識別番号入力」画面が表示されます。

もし入力すべき個体識別番号が1件の場合は、未入力のまま[確定]キーを押し、手順❻に変わります。

❺ **3件目の個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、[確定]キーを押します。**

もし入力すべき個体識別番号が2件の場合は、未入力のまま[確定]キーを押し、手順❻に変わります。

❻ **発行枚数を入力し、[確定]キーを押します。**

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

```
発行中
    XXXX／XXXX枚

 停止キーで中断
```

```
停止中
    XXXX／XXXX枚

 発行キーで再開
```

ハクリ発行時

```
剥離発行中


 停止キーで終了
```

❼ 発行を開始します。

発行が終わると手順❸に戻ります。

- 連続発行/ティアオフ発行時は 発行/停止 キーで発行が一時中断します。再度、発行/停止 キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は 発行/停止 キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、個体識別画面で ▶ キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

```
発行種別を
選択してください
1. 連続(ティアオフ)
2. ハクリ
```

❶ 発行モードを選び、確定 キーを押します。

個体識別画面に戻ります

第 6 章　環境設定

本プリンタの印字速度や印字濃度などを変えるのに必要な操作のしかたを説明します。

キーのはたらき

本プリンタを操作するときはキーボードを使います。ここでは、それぞれのキーのはたらきを紹介します。

番号	本書での表現	はたらき
①	電源	・電源OFF時に押すと電源がONになります。電源ON時に1秒以上押すと電源がOFFになります。
②	メニュー/前画面	・操作の途中で、前の画面に戻りたいときに押します。 ・1つ上のメニューへ戻りたいときは1秒以上押します。
③	日付	・カレンダーを一時変更するときに押します。(呼出し発行と固定発行のみ)
④	発行/停止	・ラベルが印字されている途中で印字を停止したり、印字を再開させたりするときに押します。 ・文字の入力状態が「漢字（ひらがな）」および「カタカナ」のとき、句読点などが入力できます。
⑤	紙送	・用紙を送りたいときに押します。 ・文字の入力状態が「漢字（ひらがな）」および「カタカナ」のとき、濁音（゛）半濁音（゜）が入力できます。
⑥	シフト	・品名入力で、小さい文字（拗音・促音・小文字など)、スペースを入力するときに押します。 ・英文字を全角・半角変換するときに押します。

番号	本書での表現	はたらき
⑦	削除/AC	・データを入力している画面で、カーソル位置にある文字を削除します。 ・入力した文字をすべて消したいときは1秒以上押します。
⑧	入力切替	・品名入力で入力状態を切替えるときに押します。 ・呼出し発行時、呼出し名検索やバーコード検索を使用するときに押します。 ・漢字(ひらがな)⇒全角カタカナ⇒半角カタカナ⇒英大文字⇒英小文字⇒数字⇒JIS入力の順に変わります。
⑨	確定	・入力したデータを確定するときや、操作を進めるときに押します。
⑩	数字キー／ 文字キー	・数字キーは、価格やバーコードデータなどの数値を入力するときに押します。 ・品名入力のときは、漢字（ひらがな）・カタカナ・英文字が入力できます。
⑪	▲ ▼ ◀ ▶	・項目を選ぶ画面では■（カーソル）を表示します。 ▲▼◀▶キーを押して、カーソルを目的の項目に合わせます。 ・バーコードデータなどを入力するときは、カーソル位置に文字が入ります。 ・▲キーで、入力した文字を漢字変換します。 ・▼キーで、入力した文字の変換候補に移動します。

本プリンタの画面遷移について

本プリンタの画面の流れを説明します。
各画面で、▲▼キーまたは、数字キーを使って各項目を選び、確定キーを押します。

メニュー画面

設定画面

設定(1/2)
1.初期設定
2.ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃﾅﾝｽ
3.ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ
初期設定
各種設定1
1.呼出し発行
2.ｵﾝﾗｲﾝ発行
3.固定発行
4.値下CODE128
5.値下JAN2段
6.個体識別
[1] +
確定
呼出し発行
(→ 61 ページ)
固定発行
(→ 81 ページ)
オンライン発行
(→ 111 ページ)
値下 CODE128
(→ 115 ページ)
値下 JAN2 段
(→ 145 ページ)
個体識別
(→ 175 ページ)
ユーザーメンテナンス
ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1
1.ｶﾚﾝﾀﾞ設定
2.ﾕｰｻﾞｰ設定
3.通信設定
4.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定
5.ﾒﾆｭｰ設定
[2] +
確定
カレンダー設定
(→ 200 ページ)
ユーザー設定
(→ 209 ページ)
通信設定
(→ 215 ページ)
パスワード設定
(→ 244 ページ)
メニュー設定
(→ 246 ページ)
データメンテナンス
ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ
1.データ転送
2.店名データ編集
[3] +
確定
データ転送
(→ 248 ページ)
店名データ編集
(→ 249 ページ)
設定(2/2)
4. ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ機能
5. ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ機能
6.値下設定
バックアップ機能（→ 250 ページ）
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
1.プリンタ設定
2.辞書
[4] +
確定
ダウンロード機能（→ 251 ページ）
ﾌｫﾝﾄ
ﾃﾞｰﾀ受信OK?
1. はい
2. いいえ
[5] +
確定
値下設定（→ 252 ページ）
総額ﾚｲｱｳﾄ(1/2)
1.なし
2.本体＋税
3.本体(大)
[6] +
確定

メニューツリー

FI212T
2010/01/26 17:45
メニュー（1/3）
1.呼出し発行
呼出しNo
呼出し名検索
バーコード検索
2.オンライン発行
3.設定
設定（1/2）
1.初期設定
各種設定1
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.固定発行
各種設定2
4.値下CODE128
5.値下JAN2段
6.個体識別
2.ユーザーメンテナンス
ユーザーメンテ1
1.カレンダ設定
2.ユーザー設定
3.通信設定
ユーザーメンテ2
4.パスワード設定
5.メニュー設定
3.データメンテナンス
1.データ転送
2.店名データ編集
設定（2/2）
4.バックアップ機能
1.プリンタ設定
2.辞書
5.ダウンロード機能
6.値下設定
メニュー（2/3）
4.固定発行
フォーマットNo
5.値下CODE128
1.値引処理
2.設定
6.値下JAN2段
1.値引処理
2.テーブル
3.設定
メニュー（3/3）
7.個体識別
1.継承ラベル発行
2.個体識別番号
3.設定

カレンダーを設定する

カレンダー設定

本プリンタは、出荷時にカレンダー（日時）が設定されています。カレンダーを直したいときに設定してください。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“1. カレンダ設定” を選び、確定キーを押します。**

「カレンダ設定」画面が表示されます。

❹ **パスワードを入力し、確定キーを押します。**

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり” に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は244 ページをご覧ください。

❺ **◀▶キーでカーソルを左右に移動し、カレンダーの「年」「月」「日」「時」「分」を入力し、確定キーを押します。**

❻ **「カレンダー確認」画面が表示されますので、再度、「年」「月」「日」を入力し、確定キーを押します。**

2度入力することにより、誤設定を防止します。

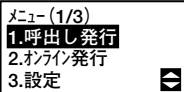
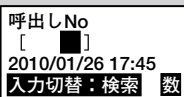
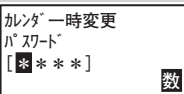
第6章 環境設定

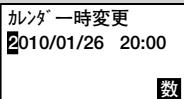
カレンダーを一時変更する

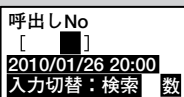
この機能は出荷する製品に貼るラベルを前もって（生産日または出荷日前に）作成するときに便利です。カレンダーの一時変更は、呼出し発行と固定発行でのみ使用可能です。

カレンダーの一時変更の有効範囲（一時変更が継続される範囲）は、“1アイテムのみ”か“電源を切るまで”です。有効範囲は「ユーザー設定」で設定できます（209 ページ）。

1アイテムのみ	カレンダーの一時変更をおこなった後に印字される最初の 1 アイテムのみ有効になります。
電源を切るまで	カレンダーの一時変更をおこなった後、電源を切るまで一時変更が有効になります。

呼出し発行でカレンダーを一時変更する

❶ **“1.呼出し発行” を選び、確定 キーを押します。**

❷ **「呼出しNo」画面が表示されたら、日付 キーを押します。**

❸ **パスワードを入力し、確定 キーを押します。**

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は244 ページをご覧ください。

❹ **「カレンダー一時変更」画面が表示されます。変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダーを一時変更します。**

確定 キーを押すと一時変更を実行し、元の画面に戻ります。

❺ **変更した日付が表示されます。**

カレンダーが反転表示となっている間は、カレンダーの一時変更が有効です。

固定発行でカレンダーを一時変更する

❶ **“4.固定発行” を選び、確定キーを押します。**

❷ **「フォーマットNo」画面が表示されたら、日付キーを押します。**

この画面で▼キーを押すと「プリセット」画面に進みます。

❸ **パスワードを入力し、確定キーを押します。**

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は244 ページをご覧ください。

❹ **「カレンダー時変更」画面が表示されます。変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダーを一時変更します。**

確定キーを押すと一時変更を実行し、元の画面に戻ります。

❺ **元の画面に戻ります。**

プリセット発行でカレンダーを一時変更する

❶ **“4.固定発行” を選択し、確定 キーを押します。**

❷ **「フォーマットNo」画面が表示されたら、▼キーを押します。**

「プリセット」画面が表示されます。

❸ **“1.発行” を選択し、確定 キーを押します。**

❹ **「プリセットNo」画面が表示されたら、日付 キーを押します。**

❺ **パスワードを入力し、確定 キーを押します。**

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を “あり” に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は244 ページをご覧ください。

❻ **変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダーを一時変更します。**

確定 キーを押すと一時変更した日付に変わります。

❼ **変更した日付が表示されます。**

カレンダーが反転表示となっている間は、カレンダーの一時変更が有効です。

価格総額表示を設定する

プリンタに入力する価格やバーコード内にコピーされる価格（NonPLU 時）を「税抜き」にするか「税込み」にするかを決めます。

- これらの設定をするときは、電源を切ってからおこないます。
- 価格総額表示の設定は、フォーマットごとに設定できません。
- 設定した内容は、電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

各画面で、▲▼キーを使って選択して確定キーを押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

❶ **電源を切ります。**

❷ **1キーと7キーを押しながら、電源キーを押します。消費税率設定画面が表示されたら、キーから指を離してください。**

❸ **税率を設定するかどうかを選び、確定キーを押します。**

❹ **税率を00.0～99.9％の範囲で入力し、確定キーを押します。**

この設定は呼出し発行、固定発行、値下CODE128、値下JAN2段で使用されます。

00.0％に設定した場合は、消費税運用なしとなり“価格税込み印字”以外の設定はすべて無効となり計算および印字はされません。

❺ **価格入力方法を選び、確定キーを押します。**

この設定は固定発行で使用されます。

❻ **バーコード内価格を選び、確定キーを押します。**

この設定は固定発行で使用されます。

❼ **消費税の端数処理を選び、確定 キーを押します。**

この設定は固定発行で使用されます。

価格税込み
印字設定
1. なし　2. 前
3. 後

❽ **価格の前後に「税込」印字をするかを選び、確定 キーを押します。**

この設定は固定発行で使用されます。

“なし”の場合：　¥1,980
“前”の場合：　税込¥1,980
“後”の場合：　¥1,980税込

総額表示ﾃｰﾌﾞﾙ
4. 消費税
5. 本体＋消費税

❾ **総額表示テーブルを選び、確定 キーを押します。**

この設定は固定発行で使用されます。

❿ **元売価のバーコード内価格を選び、確定 キーを押します。**

この設定は値下設定（252 ページ）の「総額レイアウト」で“本体（大）”、“税込（大）”、または“併記（同）”を選んだときに値下CODE128と値下JAN2段で使用されます。

⓫ **新価格の入力方法を選び、確定 キーを押します。**

この設定は値下設定（252 ページ）の「総額レイアウト」で“本体（大）”、“税込（大）”、または“併記（同）”を選んだときに値下CODE128と値下JAN2段で使用されます。

⓬ **消費税の端数処理を選び、確定 キーを押します。**

この設定は値下設定（252 ページ）の「総額レイアウト」で“本体（大）”、“税込（大）”、または“併記（同）”を選んだときに値下CODE128と値下JAN2段で使用されます。

⓭ **設定変更するかどうかを選び、確定 キーを押します。**

価格総額設定の変更は手順⓭で“はい”を選んだ場合のみ有効です。

⑭ **設定内容を印字するかどうかを選び、確定 キーを押します。**

“する”を選んだ場合、設定内容を印字します。

用紙がセットされていない場合、エラーメッセージが表示されます。正しい用紙をセットしてエラーを解除してください。

税込み価格から本体価格を導いた場合の矛盾点について

価格入力を“税込み”でおこない“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

例） 消費税率を 8%設定時に、税込みで 9,800 円を入力した場合

（指定：端数処理は切捨て）

① 税込み価格として 9,800 円を入力し、消費税と本体価格を求めます。
税込み価格× 100 ／（100+ 消費税率）×（消費税率／ 100）

9,800 ×（100 ／ 108）× 0.08=725.93…

消費税は ⇒ 725 円
9,800-725=9,075
本体価格は ⇒ 9,075 円

② ①の計算で求められた本体価格 9,075 円から税込み価格を再計算してみます。

本体価格×（消費税率／ 100）
9,075 × 8 ／ 100=726
消費税は ⇒ 726 円
9,075+726=9,801
税込み価格は ⇒ 9,801 円

以上のように①で入力した税込み価格と②で算出した税込み価格に誤差が生じます。

税込み固定印字設定について

価格総額表示設定メニュー内の“価格税込み印字”では、“税込”印字位置の設定を「なし」「前」「後」にできます。

① 「なし」の場合　：￥1000
② 「前」の場合　：税込￥1000
③ 「後」の場合　：￥1000 税込

- “税込”印字は定位置になります。
- “税込”印字設定されている場合の価格拡大設定は無効になります。

任意税率設定について

価格総額表示設定メニュー内の“税率設定”では、“00.0 ～ 99.9%”の範囲で税率の設定ができます。また、税率を“00.0%”に設定した場合、“価格税込み印字”以外の設定はすべて無効となり計算および印字はされません。

初期値の税率は 00.0%です。

入力価格の計算について

消費税 5.0%の設定での例を下記に説明します。

(例 1) 税抜価格 110 円で入力し、消費税と総額を求める場合

110 円（本体価格）× 0.05（消費税率）=5.5 円（消費税）

項目 / 方法	消費税	税込価格（総額）
切捨て	5円	115円
切上げ	6円	116円
四捨五入	6円	116円

(例 2) 税込価格 1618 円で入力し、消費税と本体価額を求める場合

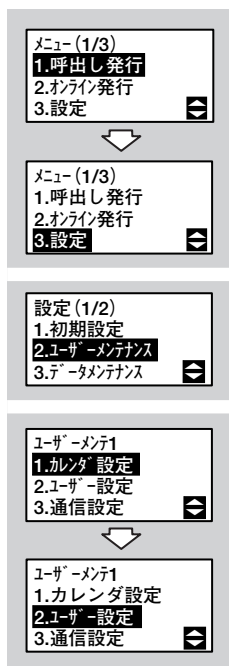
1618 円（本体価格）× 100 ÷（100+5（消費税率））× 0.05
=77.0476…円（消費税）

項目 / 方法	消費税	税抜価格（本体価格）
切捨て	77円	1541円
切上げ	78円	1540円
四捨五入	77円	1541円

- 求められた消費税の小数点第3位まで計算対象とします。

  例：消費税 10.001 円を「切上げ」した場合は、11 円になります。ただし、
  「切捨て」「四捨五入」は小数点第1位を計算対象とします。
- 価格入力を“税込み”でおこない“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に関して、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

ユーザー設定

印字速度や印字濃度を変更したり、電源の切り忘れを防止するなど、本プリンタの基本的な環境を変更できます。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“2. ユーザー設定” を選び、確定キーを押します。**

「印字速度」画面が表示されます。

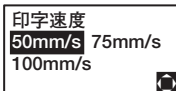
以降 16 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

No	項目	初期値	参照ページ
1	印字速度	50mm/s	210 ページ
2	印字濃度	3	210 ページ
3	印字濃度レンジ	A	210 ページ
4	カレンダー時変更	電源を切るまで	211 ページ
5	ヘッドチェック	あり	211 ページ
6	ヘッドチェック範囲	通常	211 ページ
7	キー入力音	あり	212 ページ
8	スタート画面設定	レジューム	212 ページ
9	スタート画面	呼出し発行	212 ページ
10	呼出し発行	呼出しNo	212 ページ

No	項目	初期値	参照ページ
11	日付確認画面表示	する	213 ページ
12	記憶発行	なし	213 ページ
13	オートパワーオフ時間設定	00分	213 ページ
14	LCD節電時間設定	00分	213 ページ
15	LCD濃度	レベル6	214 ページ
16	初期フィード	あり	214 ページ

印字速度

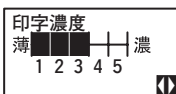
印字速度を選びます。

印字速度
50mm/s 75mm/s
100mm/s

- 50mm/s
- 75mm/s
- 100mm/s

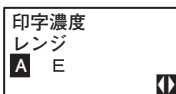
バッテリパック使用時の印字速度は“50mm/s”および“75mm/s”であるため、“100mm/s”は表示されません。

印字濃度

印字濃度を選びます。
1 が一番薄く、5 が一番濃くなります。

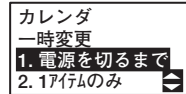
印字濃度を一番濃く（濃度＝5）して、長時間の発行はおこなわないでください（サーマルヘッドの温度が異常に高くなることがあります）。

印字濃度レンジ

ラベルに合わせて印字濃度レンジを選びます。

- A：サーマルラベル
- E：2色サーマルラベル

カレンダーの一時変更

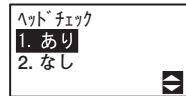
カレンダーの一時変更の有効範囲を選びます。

- 電源を切るまで
- 1アイテムのみ

カレンダ
一時変更
1. 電源を切るまで
2. 1アイテムのみ

呼出し発行と固定発行で日付キーを押すと「カレンダー一時変更」画面に変わります。
「カレンダーを一時変更する」（201 ページ）で変更方法を説明しています。

ヘッドチェック

ヘッドチェックをおこなうかどうかを選びます。

- あり　ヘッド異常となったとき、エラーメッセージを表示し、発行を停止します。
- なし　ヘッド異常検出をおこないません。

ヘッドチェック範囲

ヘッドチェックをおこなう範囲を選びます。この画面は前項の「ヘッドチェック」画面で“あり”を選んだときのみ表示されます。

- 通常　　　　印字領域をチェックします。
- バーコード　バーコード印字領域のみをチェックします。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能はヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります）。

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りをおこなって確認してください。

ヘッドエラー発生時の対処方法

＜ヘッドチェック範囲設定が通常の場合＞

- 紙送キーを5秒間押すと、「ヘッドチェック範囲設定」画面が表示されます。
  “通常”を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
  “バーコード”を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- ◀キーと▶キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

第6章　環境設定

<ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合>

● [◀]キーと[▶]キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

キー入力音

キー入力音を鳴らすかどうかを選びます。

キー入力音
1. あり
2. なし

● あり

● なし

スタート画面設定

スタート画面をありにするかレジュームにするかを選びます。

● あり　　　電源を入れた直後の画面を選ぶことができます。よく使う機能の初期画面を選んでください（次項「スタート画面」参照）。

● レジューム　電源OFF前に処理していたメニューからスタートします。

スタート画面

スタート画面を何にするかを選びます。この画面は前項の「スタート画面設定」画面で“あり”を選んだときのみ表示されます。

ｽﾀｰﾄ画面1
1. 呼出し発行
2. ｵﾝﾗｲﾝ発行
3. 固定発行

ｽﾀｰﾄ画面2
4. 値下げCODE128
5. 値下げJAN2
6. 個体識別

● 呼出し発行

● オンライン発行

● 固定発行

● 値下CODE128

● 値下JAN2段

● 個体識別

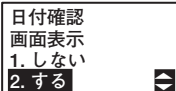
呼出し発行

呼出し発行のどの画面をスタート画面にするかを選びます。この画面は前項の「スタート画面」で“呼出し発行”を選んだときのみ表示されます。

● 呼出しNo
● 呼出し名
● バーコード
● ＱＲ

日付確認画面表示

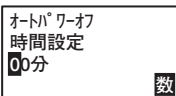
起動時に「日付確認」画面を表示するかどうかを選びます。

- しない
- する

記憶発行

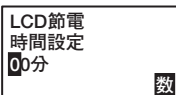
アイテムを記憶して発行するかどうかを選びます。

- あり　固定発行と呼出し発行のみ有効です。“あり”に設定すると、入力切替 キーで最大10件まで登録できます。
- なし　記憶発行をおこないません。

オートパワーオフ時間設定

オートパワーオフの時間を設定します。
設定範囲は 00 ～ 99 です。“00”に設定すると、常時電源 ON のままになります。

オートパワーオフを設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的に電源が切れます。プリンタを節電するためにオートパワーオフ時間を設定することを推奨します。

LCD節電時間設定

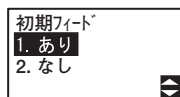
LCD の節電時間を設定します。
設定範囲は 00 ～ 15 です。“00”に設定すると、LCD のバックライトが常時点灯します。

この画面は、USBモデルとUSB+LANモデルのみ表示します。
LCD節電時間を設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的にLCDのバックライトを消灯します。プリンタを節電するためにLCD節電時間を設定することを推奨します。

LCD濃度

LCD の濃度を設定します。左に行くほど薄く、右に行くほど濃くなります。

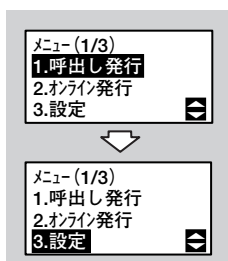
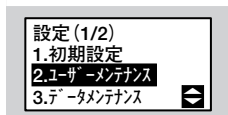
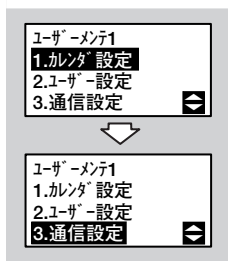
初期フィード

初期フィードをおこなうかどうかを選びます。

- あり　電源を入れてから最初の印字時に初期フィードをおこないます。
- なし　電源を入れてから最初の印字時に初期フィードをおこないません。ラベルのセット位置によっては、印字ズレが生じる場合があります。

通信設定

ここではプリンタの通信機能を設定する方法を説明します。本プリンタは以下の設定が可能です。FTP に関しては 231 ページをご覧ください。

USBの設定

本プリンタのインタフェースを USB に設定する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

「通信選択」画面が表示されます。

❹ **“1. USB” を選び、確定キーを押します。**

LANの設定

本プリンタのインタフェースを LAN に設定する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

「通信選択」画面が表示されます。

❹ **“2. LAN” を選び、確定キーを押します。**

❺ **IPアドレスの設定方法を選択し、確定キーを押します。**

マニュアル	直接、手入力で設定します。手順❻に変わります。
DHCP	DHCPサーバーから取得します。手順❾に変わります。
RARP	RARPサーバーから取得します。手順❼に変わります。

IPアドレス
192. 168. 001. 001
数

❻ **IPアドレスを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
255. 255. 255. 000
数

❼ **サブネットマスクを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

ｹﾞｰﾄｳｪｲ
ｱﾄﾞﾚｽ
000. 000. 000. 000
数

❽ **ゲートウェイアドレスを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

Socket通信
ﾀｲﾑｱｳﾄ時間（秒）
60
数

❾ **Socket通信のタイムアウト時間を入力し、確定キーを押します。**

設定範囲は、0～3600です。0に設定すると接続タイムアウトが無効になります。

❿ **LANが起動し、「通信選択」画面に戻ることを確認します。**

本画面が表示されると、LAN設定が有効になります。

無線LANの設定

本プリンタのインタフェースを無線 LAN に設定する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

❺ **“1. 無線LAN” を選び、確定キーを押します。**

第6章 環境設定

IP設定方法2
4.DHCP/RARP
5.Auto-IP

❻ **IPアドレスの設定方法を選択し、確定キーを押します。**

マニュアル	直接、手入力で設定します。手順❼に変わります。
DHCP	DHCPサーバーから取得します。手順❿に変わります。
RARP	RARPサーバーから取得します。手順❽に変わります。
DHCP/RARP	BOOTPサーバーから取得します。手順❽に変わります。
Auto-IP	Auto-IP機能を使って自動取得します。手順❽に変わります。

IPアドレス
192. 168. 001. 001
数

❼ **IPアドレスを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
255. 255. 255. 000
数

❽ **サブネットマスクを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

ｹﾞｰﾄｳｪｲ
ｱﾄﾞﾚｽ
000. 000. 000. 000
数

❾ **ゲートウェイアドレスを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

Socket通信
ﾀｲﾑｱｳﾄ時間（秒）
60
数

❿ **Socket通信のタイムアウト時間を入力し、確定キーを押します。**

設定範囲は、0～3600です。0に設定すると接続タイムアウトが無効になります。

WLANモード
設定
1.アドホック
2.ｲﾝﾌﾗ（SSID）

⓫ **無線LANの通信モードを選択し、確定キーを押します。**

アドホック	アクセスポイントを介さずに機器同士が直接通信をおこないます。
インフラ（SSID）	アクセスポイントを介して通信をおこないます。

SSID設定
SATO
数

⑫ SSIDを入力し、確定キーを押します。

入力できるSSIDは1～32文字までの英数字（「－」（ハイフン）と「 _ 」（アンダーバー）を含む）で、接続先（アクセスポイントまたはホスト）と同一内容である必要があります。

アドホック　　　手順⑬に変わります。

インフラ（SSID）手順⑭に変わります。

⑬ チャンネル番号を入力し、確定キーを押します。

LPD切断
ﾀｲﾑｱｳﾄ時間（秒）
30
数

⑭ LPD切断タイムアウト時間を入力し、確定キーを押します。

設定範囲は30～500です。「WLANモード設定」（219ページ）にて、“アドホック”を設定した場合、手順⑮に変わります。“インフラ（SSID）”を設定した場合、手順⑯に変わります。

⑮ セキュリティ機能を選び、確定キーを押します。

「WLANモード設定」（219 ページ）を“アドホック”に設定するとこの画面を表示します。

使用しない　　手順㉖に変わります。

WEP　　　　　手順⑱に変わります。

ｾｷｭﾘﾃｨ機能2
4.WPA2
5.DynamicWEP

⑯ セキュリティ機能を選び、確定キーを押します。

「WLANモード設定」（219 ページ）を“インフラ（SSID）”に設定するとこの画面を表示します。

使用しない　　手順㉖に変わります。

WEP　　　　　手順⑱に変わります。

WPA　　　　　手順㉔に変わります。

WPA2　　　　 手順㉔に変わります。

DynamicWEP 手順⑰に変わります。

“3.WPA”を選ぶと暗号方式はTKIPになります。
“4.WPA2”を選ぶと暗号方式はAESになります。

⑰ **EAP認証情報を2段目に表示します。情報を確認し、[確定]キーを押します。**

このあと手順㉖に変わります。

EAP認証機能を利用する場合はHTML経由で設定をおこなう必要があります。

⑱ **認証方式を選び、[確定]キーを押します。**

⑲ **WEPキー 1を入力し、[確定]キーを押します。**

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合“＊＊＊＊”を表示します。

WEPKey2設定

A

⑳ **WEPキー 2を入力し、[確定]キーを押します。**

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合“＊＊＊＊”を表示します。

㉑ **WEPキー 3を入力し、[確定]キーを押します。**

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合“＊＊＊＊”を表示します。

㉒ **WEPキー 4を入力し、[確定]キーを押します。**

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合“＊＊＊＊”を表示します。

㉓ **WEPキーとして使用する番号（1～4）を入力し、[確定]キーを押します。**

このあと手順㉖に変わります。

㉔ 認証機能を選び、確定 キーを押します。

PSK　手順㉕に変わります。

EAP　手順⓱に変わります。

事前共有キー

㉕ 事前共有キーを入力し、確定 キーを押します。

入力できるキーは8〜63文字までの英数字（「ー」（ハイフン）と「 _ 」（アンダーバー）を含む）の文字列です。設定値があると“＊＊＊＊”を表示します。

WLAN構成情報
保存しますか？
1.はい
2.いいえ

㉖ 無線LAN構成情報の保存を選び、確定 キーを押します。

はい　　「情報保存中」画面になります。手順㉗に変わります。

いいえ　1つ前の手順に戻ります。

WLAN構成情報
保存中
電源を切らないでください

㉗ この画面が表示され、情報が保存されたあと手順❺の画面に戻ることを確認します。

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。また、無線LAN構成情報を保存しないと設定は反映されません。

LAN設定の初期化

LAN 設定を初期化する方法を説明します。

LAN設定の初期化をおこなうとLANの設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。通常は使用しないでください。

❶ “3. 設定” を選び、確定 キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、[確定]キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、[確定]キーを押します。**

❹ **“4. LAN設定初期化” を選び、[確定]キーを押します。**

❺ **LAN設定初期化の実行を確認し、[確定]キーを押します。**

はい　　「初期化中」画面になります。手順❻に変わります。

いいえ　手順❹に戻ります。

LAN設定初期化中
お待ちください

❻ **この画面が表示され、設定が初期化されたあと手順❹の画面に戻ります。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

第6章 環境設定

無線LAN設定の初期化

無線 LAN 設定を初期化する方法を説明します。

重要

無線LAN 設定の初期化をおこなうと無線LAN の設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。通常は使用しないでください。

❶ **“3. 設定” を選び、[確定]キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、[確定]キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、[確定]キーを押します。**

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

チェック

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

第6章 環境設定

❺ **“4. WLAN設定初期化” を選び、確定キーを押します。**

❻ **無線LAN設定初期化の実行を確認し、確定キーを押します。**

はい　「初期化中」画面になります。手順❼に変わります。

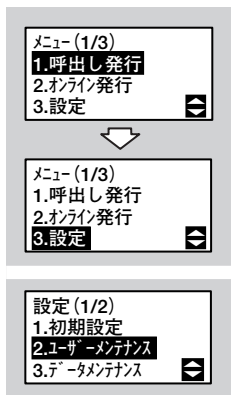
いいえ　手順❺に戻ります。

WLAN設定初期化中
お待ちください

❼ **この画面が表示され、設定が初期化されたあと手順❺の画面に戻ります。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

構成情報の印字

無線 LAN の構成情報を印字する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1
1.ｶﾚﾝﾀﾞ設定
2.ﾕｰｻﾞｰ設定
3.通信設定

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

WLAN構成情報
取得中
電源を切らないで
ください

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

通信選択(1/3)
1.無線LAN
2.FTP
3.構成情報印字

❺ **“3. 構成情報印字” を選び、確定キーを押します。**

WLAN構成情報
印字しますか？
1.はい
2.いいえ

❻ **無線LAN構成情報印字の実行を確認し、確定キーを押します。**

はい　　「印字中」画面になります。手順❼に変わります。

いいえ　手順❺に戻ります。

WLAN構成情報
印字中

❼ **この画面が表示され、構成情報を3枚のラベルに印字したあと手順❺の画面に戻ります。**

ラベルは長さ60mm×幅60mmのバーラベフリーラベルをご使用ください。連続発行で、ラベルを発行します。

無線LANの電波取得

無線 LAN の電波を取得する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

❺ **“6. WLAN電波取得” を選び、確定キーを押します。**

受信中

❻ **最新の電波受信レベルがアイコンで表示されます。**

電波受信レベルは、約5秒間隔で表示を更新します。[確定]キーを押すと手順❺の画面に戻ります。

表示アイコン	電波受信レベル
	強
	中
	弱
	ゼロ

電波受信レベルが「強」になる場所に、本プリンタを設置することを推奨します。

省電力モードの設定

無線 LAN の省電力モードの設定方法を説明します。
省電力モードとは、本プリンタに搭載している無線 LAN モジュールへの電源供給を停止するモードです。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

❺ **“7.省電力モード” を選び、確定キーを押します。**

❻ **省電力モードを選び、確定 キーを押します。**

無効　無線LANモジュールに常時電源を供給します。

有効　無線LANモジュールに以下のモードのときのみ電源を供給します。
- FTP通信
- オンライン発行
- 無線LAN/FTPの設定

設定後は、手順❺に戻ります。

FTP設定

ここではFTPを設定する方法を説明します。

USB+LANモデルと無線LANモデルのみFTPを設定できます。

FTPクライアント機能

本プリンタはFTPサーバーに接続してファイルをダウンロードおよびアップロードできます。

ダウンロード

ダウンロードについて説明します。
対応しているFTPはWindows系のIIS、Linux系のProFTPD、vsFTPDです。
ダウンロードをおこなう場合は、SDカードをプリンタに差し込んでください(278ページ)。
本プリンタでは、以下のデータをダウンロードできます。

No.	ファイル種
1	呼出しデータ
2	呼出し名検索データ
3	バーコード検索データ
4	漢字テーブル1
5	漢字テーブル2
6	漢字テーブル3
7	漢字テーブル4
8	漢字テーブル5
9	漢字テーブル6
10	漢字テーブル7
11	漢字テーブル8
12	漢字テーブル9
13	漢字テーブル10
14	店名テーブル
15	グラフィックテーブル
16	グラフィックデータ

No.	ファイル種
17	グラフィック
18	外字（16×16）
19	外字（24×24）
20	外字（32×32）
21	固定発行プリセットデータ
22	フォントデータ
23	SDカード情報データ
24	レイアウトデータ
25	呼出しテーブルヘッダファイル
26	呼出しテーブルデータファイル
27	呼出しテーブル名検索ファイル
28	呼出しテーブルバーコード検索ファイル
29	ファームバージョン管理ファイル
30	各種ファームファイル

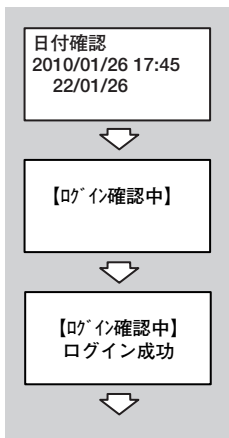
各ファイルの最大サイズは1メガバイトです。

データをダウンロードするタイミングは以下の 2 通りです。

- 電源投入時取得　　プリンタが起動後、自動で設定したFTPサーバーからファイルをダウンロードします。
- 手動にて取得　　[5] キーを押しながら [電源] キーを押すと、設定したFTPサーバーからファイルをダウンロードします。

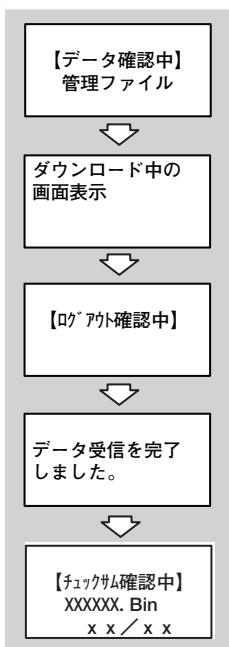
FTPクライアント設定の「FTP取得設定」にて、ダウンロードするタイミングを設定できます（238 ページ）。

第6章 環境設定

＜電源投入時取得に設定した場合＞

❶ **電源を入れます。**

❷ **日付を確認して[確定]キーを押すと「ログイン確認中」画面に変わります。**

「日付確認」画面設定（213 ページ）を“あり”に設定した場合のみ、この画面を表示します。
“なし”に設定した場合は、「日付確認」画面を表示せずに「ログイン確認中」画面に変わります。

ログイン後は、自動で画面が切替り、データをダウンロードします。

【データ確認中】
管理ファイル

ダウンロード中の
画面表示

【ﾛｸﾞｱｳﾄ確認中】

データ受信を完了
しました。

【ﾁｪｯｸｻﾑ確認中】
XXXXXX. Bin
ｘｘ／ｘｘ

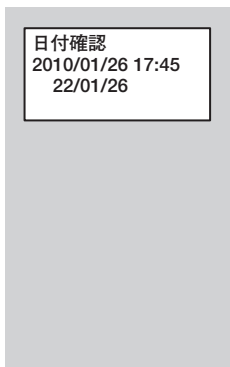
❸ **3段目にダウンロード中のデータ名などを表示します。4段目にダウンロードしたファイル数と総ファイル数を表示します。**

❹ **ダウンロード完了後は、「取得後画面」（238 ページ）で設定した画面に変わります。**

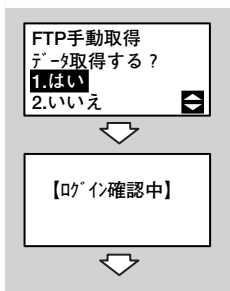
途中で、ダウンロードを中止する場合は、[削除/AC]キーを押してください。通信中にエラーが発生した場合、[▲]キーを押すと再実行できます。

第6章 環境設定

＜手動にて取得に設定した場合＞

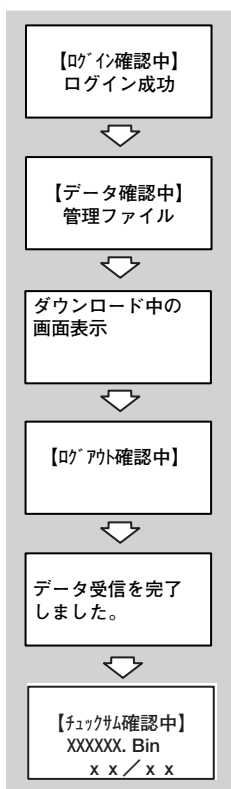
日付確認
2010/01/26 17:45
22/01/26

❶ 5 キーを押しながら 電源 キーを押します。

❷ 日付を確認して 確定 キーを押すと「FTP手動取得」画面に変わります。

「日付確認」画面設定（213 ページ）を“あり”に設定した場合のみ、この画面を表示します。
“なし”に設定した場合は、「日付確認」画面を表示せずに「FTP手動取得」画面に変わります。

❸ FTPデータの取得の実行を確認し、確定 キーを押します。

はい　　「ログイン確認中」画面に変わります。

いいえ　「取得後画面」（238 ページ）で設定した画面に変わります。

ログイン後は、自動で画面が切替り、データをダウンロードします。

❹ 3段目にダウンロード中のデータ名などを表示します。4段目にダウンロードしたファイル数と総ファイル数を表示します。

【ﾛｸﾞｱｳﾄ確認中】

データ受信を完了
しました。

【ﾁｪｯｸｻﾑ確認中】
XXXXXX. Bin
ｘｘ／ｘｘ

❺ ダウンロード完了後は、「取得後画面」（238 ページ）で設定した画面に変わります。

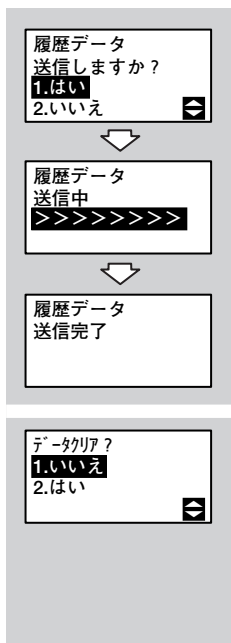
途中で、ダウンロードを中止する場合は、[削除/AC]キーを押してください。通信中にエラーが発生した場合、[▲]キーを押すと再実行できます。

アップロード

アップロードについて説明します。本プリンタでは、以下のデータをアップロードできます。

No.	ファイル種
1	値引き履歴データ
2	呼出し発行履歴データ

「値引き履歴データ転送方法」または「呼出し履歴データ転送方法」画面で、“FTP”を設定した場合のみデータのアップロードをおこないます。

「値引き履歴データ転送方法」の設定は、127 ページまたは153 ページをご覧ください。「呼出し履歴データ転送方法」の設定は、64 ページをご覧ください。

❶ 履歴データ送信の実行を確認し、確定 キーを押します。

はい　「履歴データ送信中」画面に変わります。

いいえ　「取得後画面」（238 ページ）で設定した画面に変わります。

履歴データ送信完了後、「履歴データ送信完了」画面に変わります。

確定キーを押すと「データクリア」画面に変わります。

❷ 履歴データクリアの実行を確認し、確定 キーを押します。

いいえ　発行履歴データを消去せず「取得後画面」（238 ページ）で設定した画面に変わります。

はい　発行履歴データを消去して「取得後画面」で設定した画面に変わります。

履歴データ送信後は、データを消去することを推奨します。

FTPクライアント設定

本プリンタの FTP クライアントを設定する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

無線LANモデルのみ表示します。この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

❺ **“FTP” を選び、確定キーを押します。**

❻ FTPクライアント指定を選択し、[確定]キーを押します。

無効	プリンタをクライアントとして使用できません。手順❼に変わります。
有効	プリンタをクライアントとして使用できます。手順⓫に変わります。

FTP認証方法
1. ﾕｰｻﾞｰ認証無効
2. ﾕｰｻﾞｰ認証有効

❼ FTP認証方法を選択し、[確定]キーを押します。

ユーザー認証無効	手順❿に変わります。
ユーザー認証有効	手順❽に変わります。

FTPﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ
guest
A

❽ FTPログインユーザー名を入力し、[確定]キーを押します。

ユーザー名は1～31文字までの英数字（「ー」（ハイフン）と「＿」（アンダーバー）を含む）の文字列です。

FTPﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
A

❾ FTPパスワードを入力し、[確定]キーを押します。

パスワードは0～31文字までの英数字（「ー」（ハイフン）と「＿」（アンダーバー）を含む）の文字列です。

設定値があると“＊＊＊＊”を表示します。

FTP切断
ﾀｲﾑｱｳﾄ時間（秒）
30 秒
数

❿ FTP切断のタイムアウト時間を入力し、[確定]キーを押します。

設定範囲は、30～500です。

設定後、USB+LANモデルは、手順❺に戻ります。無線LANモデルは、手順㉗に変わります。

FTP取得設定
1.電源投入時取得
2.手動にて取得

⓫ FTPサーバーからのデータを取得するタイミングを選択し、[確定]キーを押します。

電源投入時取得	プリンタが起動後、設定したFTPサーバーからデータの自動ダウンロードがおこなわれます。
手動にて取得	[5]キーを押しながら、[電源]キーを押したとき、設定したFTPサーバーからデータをダウンロードできます。

取得後画面
1.メニュー画面
2.ｽﾀｰﾄ画面設定

⓬ FTPサーバーからのデータを取得後に変わる画面を選択し、[確定]キーを押します。

メニュー画面	FTPサーバーからデータ取得後、メニュー画面に変わります。
スタート画面設定	FTPサーバーからデータ取得後、スタート画面設定（212 ページ）で設定した画面に変わります。

ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ
sato
A

⓭ サーバーログインユーザー名を入力し、[確定]キーを押します。

ユーザー名は1～31文字までの英数字（「ー」（ハイフン）と「＿」（アンダーバー）を含む）の文字列です。

⑭ **サーバーログインパスワードを入力し、[確定]キーを押します。**

パスワードは0～31文字までの英数字（「ー」（ハイフン）と「_」（アンダーバー）を含む）の文字列です。

未入力の場合は、パスワードが削除になります。設定値があると“＊＊＊＊”を表示します。

⑮ **FTPサーバーアドレスを入力し、[確定]キーを押します。**

「.」（ドット）は[シフト]キーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

“000.000.000.000”に設定するとFTPサーバー URLでホストと接続します。

⑯ **FTPサーバーURLを入力し、[確定]キーを押します。**

URLは1～48文字までの英数字（「@」（アットマーク）を含む）の文字列です。

FTPサーバーアドレスが“000.000.000.000”設定でFTPサーバー URLが未設定の場合、再入力待ちになります。

⑰ **FTPポート番号を入力し、[確定]キーを押します。**

設定範囲は1～65535です。

⑱ **再接続間隔を秒単位で入力し、[確定]キーを押します。**

設定範囲は1～100です。

無線LANモデルのみ表示します。

⑲ **接続リトライ回数を入力し、[確定]キーを押します。**

0	リトライしません。
1～10	指定回数リトライします。
255	接続するまでリトライします。

無線LANモデルのみ表示します。

⑳ **ジョブタイムアウト時間を秒単位で入力し、確定キーを押します。**

設定範囲は、“0～600”です。“0”に設定した場合、ジョブタイムアウト監視なしになります。

無線LANモデルのみ表示します。

㉑ **FTP通信タイムアウト時間を秒単位で入力し、確定キーを押します。**

設定範囲は、“1～999”です。

無線LANモデルのみ表示します。

㉒ **データのアップロード先を入力し、確定キーを押します。**

アップロード先は0～48文字までの英数字の文字列です。未入力の場合、ログインしたカレントディレクトリがアップロード先になります。

㉓ **データのダウンロード元を入力し、確定キーを押します。**

ダウンロード元は0～48文字までの英数字の文字列です。未入力の場合、ログインしたカレントディレクトリがダウンロード元になります。

DNSﾌﾟﾗｲﾏﾘ
ｱﾄﾞﾚｽ
000. 000. 000. 000
数

㉔ **DNSプライマリアドレスを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

㉕ **DNSセカンダリアドレスを入力し、確定キーを押します。**

「.」（ドット）はシフトキーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

設定内容を
印字しますか
1.する
2.しない

㉖ FTPの設定内容の印字の実行を確認し、確定キーを押します。

する　　FTP設定内容を印字したあと手順❺に変わります。

しない　手順❺に変わります。

この画面はUSB＋LANモデルのみ表示されます。
ラベルは長さ60mm×幅60mmのバーラベフリーラベルをご使用ください。連続発行でラベルを発行します。

WLAN構成情報
保存しますか？
1.はい
2.いいえ

㉗ 無線LAN構成情報の保存を選び、確定キーを押します。

はい　　「情報保存中」画面になります。手順㉘に変わります。

いいえ　1つ前の手順に戻ります。

無線LANモデルのみ表示します。

WLAN構成情報
保存中
電源を切らないで
ください

㉘ この画面が表示され、情報が保存されたあと手順❺の画面に戻ります。

無線LANモデルのみ表示します。この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。また、無線LAN構成情報を保存すると、設定が反映されます。

FTP設定の初期化

FTP クライアント設定を初期化する方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“3. 通信設定” を選び、確定キーを押します。**

❹ **「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。**

無線LANモデルのみ表示します。この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

❺ **“5. FTP設定初期化” を選び、確定キーを押します。**

<無線LANモデルの場合>

無線LANモデルのみ表示します。

＜USB＋LANモデルの場合＞

この画面はUSB＋LANモデルのみ表示されます。

❻ FTP設定初期化の実行を確認し、確定キーを押します。

はい　　「初期化中」画面になります。手順❼に変わります。

いいえ　手順❺に戻ります。

FTP設定初期化中
お待ちください

❼ この画面が表示され、設定が初期化されたあと手順❺の画面に戻ります。

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

第6章　環境設定

パスワード登録

本プリンタを操作するためのパスワードを登録してください。

登録したパスワードは本プリンタを使用するときの共通パスワードになります。
登録したパスワードは、お客様で管理してください。

❶ **“3. 設定” を選び、確定 キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス” を選び、確定 キーを押します。**

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

❸ **“4. パスワード設定” を選び、確定 キーを押します。**

「パスワード設定」画面が表示されます。

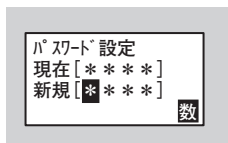
❹ **パスワードを設定するかどうか選び、確定 キーを押します。**

なし　手順❸に戻ります。

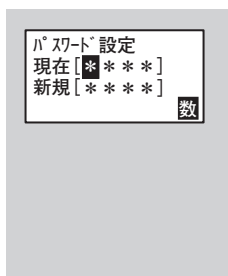
あり　手順❺に変わります。

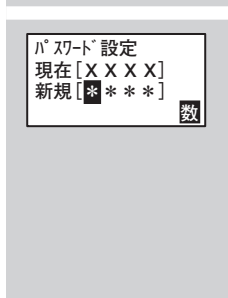
セキュリティ対策としてパスワードの設定を推奨します。

第6章 環境設定

＜新規にパスワードを設定する場合＞

❺ **新規パスワードに4桁の数字を入力し、[確定]キーを押します。**

パスワードの設定が完了したら、手順❸に戻ります。

＜すでに設定しているパスワードを変更する場合＞

❺ **現在パスワードに4桁の数字を入力し、[確定]キーを押します。**

すでに設定しているパスワードと現在パスワードが一致しなかったときは、エラーとなってブザーが鳴ります。このときは再度、現在パスワードを入力してください。

❻ **新規パスワードに4桁の数字を入力し、[確定]キーを押します。**

パスワードの設定が完了したら、手順❸に戻ります。

現在パスワードの欄に手順❺で入力したパスワードが表示されます。

設定したパスワードは、お客様で管理してください。

メニュー設定

メニュー画面に表示するメニューを選択します。次に、表示するメニューの順番を指定します。

❶ **“3.設定”を選び、[確定]キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“2. ユーザーメンテナンス”を選び、[確定]キーを押します。**

「メニュー表示」画面が表示されます。

ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1
1.ｶﾚﾝﾀﾞ設定
2.ﾕｰｻﾞｰ設定
3.通信設定

❸ **“5. メニュー設定”を選び、[確定]キーを押します。**

「メニュー表示」画面が表示されます。

ﾒﾆｭｰ表示2
4.固定 する
5.C128 する
6.JAN2 する

ﾒﾆｭｰ表示3
7.個体 する

❹ **[▲][▼]または数字キーを使って設定を変更したいメニューを選び、[◀][▶]キーで表示するかどうかを選びます。設定が終わったら、[確定]キーを押します。**

「メニュー順番」画面が表示されます。

チェック

- 「メニュー表示」画面で[確定]キーを押しても設定内容は確定しません。「メニュー順番」画面で[確定]キーを押したときにメニュー表示とメニュー順番の設定を確定します。
- 「3.設定」を“しない”に設定すると、「設定」画面が表示されなくなります。
「設定」画面を表示させたい場合は、[8]キーを押しながら電源を入れてください。
メニュー画面が表示されますので、設定を変更してください。

メニュー順番1
1.呼出し　1
2.オンライン　2
3.設定　3

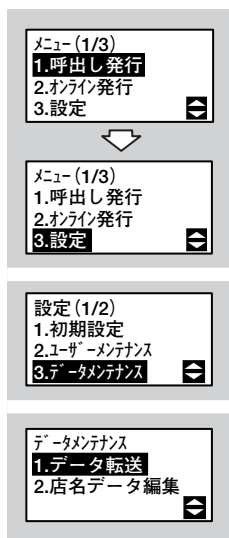
メニュー順番2
4.固定　4
5.C128　5
6.JAN2　6

メニュー順番3
7.個体　7

❺ 表示順を変更したいメニューを選び、数字キーで番号を入力します。設定が終わったら、確定キーを押します。

「メニュー表示」画面で「しない」を選んだメニューは、順番の欄が“－”となり、番号を入力できません。
複数のメニューに同じ番号を入力することはできません。すでに使用されている数字を別のメニューに割り当てたい場合は、現在その数字が割り当てられているメニューを選び、削除/ACキーを押します。番号がクリアされ、“*”表示になります。削除/ACキーを1秒以上押すと、すべてのメニューの番号がクリアされます。

データメンテナンス

SDカードの初期化および各種テーブルのデータ転送などをおこなうデータメンテナンスの方法を説明します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“3. データメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「データメンテナンス」画面が表示されます。

❸ **機能を選び、確定キーを押します。**

以降それぞれの設定画面が表示されますので、▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定キーを押してください。

データ転送

項目	機能
1.カード初期化	本プリンタに挿入されているSDカードを初期化します （手順については280 ページをご覧ください）。
2.プリセットデータ	プリセットデータを転送する機能です。プリンタとPCツール間、プリンタとカード間の転送が可能です。 SDカードからプリンタに転送する場合、転送できるのは先頭から2500件分までです。
3.フォントデータ	フォントデータを受信する機能です。
4.グラフィック	グラフィックデータを受信する機能です。
5.外字	外字データを受信する機能です。

データ転送1
1. カード初期化
2. プリセットデータ
3. フォントデータ
4. グラフィック
5. 外字

3. フォントデータ

フォント
データ受信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

2. プリセットデータ

5. 外字

外字
データ受信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

1. カード初期化

カード初期化OK ?
1. はい
2. いいえ

プリセット
データ転送
1. プリンタ～PCツール
2. プリンタ～カード

2. プリンタ～カード

4. グラフィック

グラフィック
データ受信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

1. プリンタ～PCツール

プリンタ
～PCツール
1. 送信
2. 受信

1. 送信

2. 受信

プリセット
登録先
1. 本体
2. カード

プリセット
データ受信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

プリンタ
～カード
1. プリンタ→カード
2. カード→プリンタ

2. カード→プリンタ

プリセット
データ送信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

プリンタ→カード
コピーOK?
1. はい
2. いいえ

カード→プリンタ
コピーOK?
1. はい
2. いいえ

店名データ編集

プリンタに登録する店名テーブルデータを編集できます。編集できるデータは以下の 4 件です。それぞれの編集画面で 23 文字以降はカーソルでスクロールします。

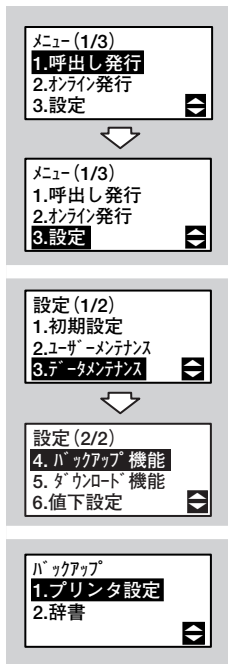
プリンタ本体に登録する店名テーブルデータは、テーブル番号 0 です。

- 店名　　入力できるデータは60バイト（全角で30文字）までです。
- 住所　　入力できるデータは100バイト（全角で50文字）までです。
- 電話番号　入力できるデータは80バイト（半角で80文字）までです。
- メモ　　入力できるデータは80バイト（全角で40文字）までです。

その他機能

バックアップ機能およびダウンロード機能について説明します。

バックアップ機能

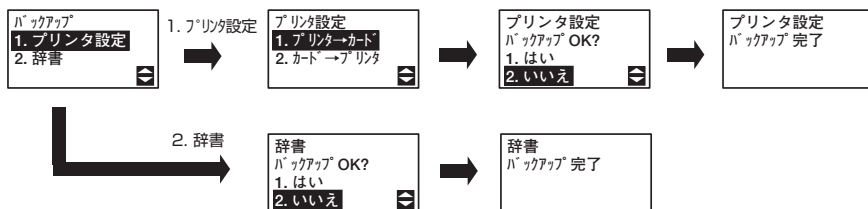
登録されている各種データをSDカードもしくは本プリンタに保存する機能です。

❶ **“3. 設定” を選び、確定 キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“4. バックアップ機能” を選び、確定 キーを押します。**

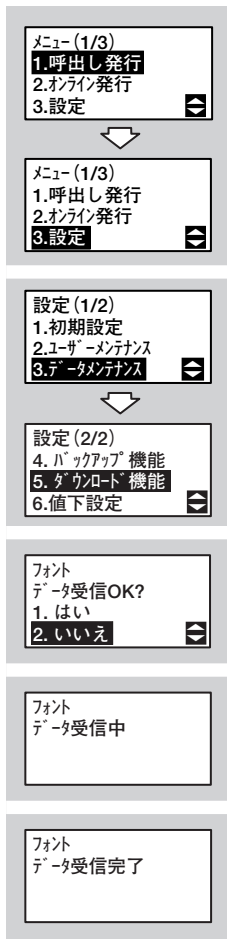
「バックアップ」画面が表示されます。

❸ **バックアップするデータを選び、確定 キーを押します。**

以降それぞれの設定画面が表示されますので、▲ ▼ キーまたは数字キーを使って設定を選び、確定 キーを押してください。

バックアップが完了したら 確定 キーを押してください。

第6章 環境設定

ダウンロード機能

フォントデータをコンピュータから本プリンタにダウンロードする機能です。

❶ **“3. 設定” を選び、[確定]キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“5. ダウンロード機能” を選び、[確定]キーを押します。**

「ダウンロード」画面が表示されます。

❸ **“はい” を選び、[確定]キーを押します。**

❹ **ダウンロードフォント作成ユーティリティを使用してフォントをダウンロードしてください。**

❺ **[確定]キーを押すと手順❷の画面に戻ります。**

値下設定

値下 CODE128 と値下 JAN2 段で発行するラベルの印字内容を設定します。

❶ **“3. 設定” を選び、確定 キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“6. 値下設定” を選び、確定 キーを押します。**

「総額レイアウト」画面が表示されます。

総額レイアウト(2/2)
4.税込(大)
5.併記(同)

❸ **値下処理の印字レイアウトを選び、確定 キーを押します。**

なし　値引き額や割引率、新価格のみを印字します。「なし」を選んだ場合、以降の設定画面は表示されません。

本体＋税　値下げ後の本体価格の後に「＋税」と印字します。

本体（大）値下げ後の本体価格を大きな文字で印字し、税込価格を小さな文字で印字します。

税込（大）値下げ後の税込価格を大きな文字で印字し、本体価格を小さな文字で印字します。

併記（同）値下げ後の本体価格と税込価格を同じ大きさの文字で印字します。

印字レイアウトの詳細は、下記をご覧ください。

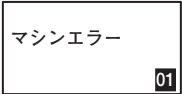
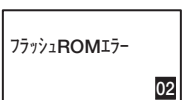
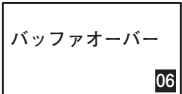
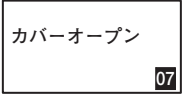
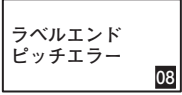
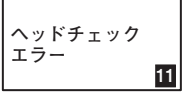
値下CODE128は、128 ページの「値下CODE128の印字レイアウト例」をご覧ください。

値下JAN2段は、159 ページの「値下JAN2段の印字レイアウト例」をご覧ください。

❹ **「表示価格」に付随して印字されるコメントを6バイト（全角で3文字）以内で入力し、確定 キーを押します。**

文字の入力方法は、52 ページをご覧ください。

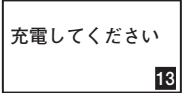
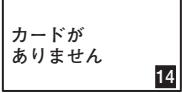
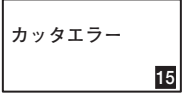
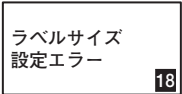
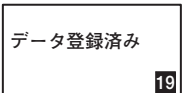
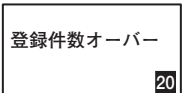
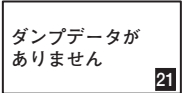
初期値は「(本体)」（カッコは半角）です。

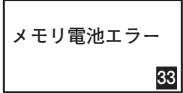
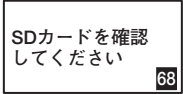
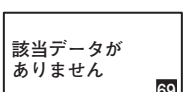
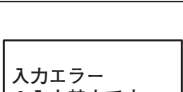
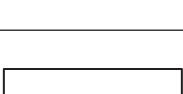
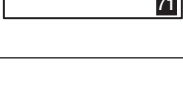
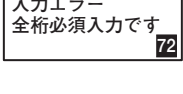
第6章 環境設定

❺ **本体価格に付随して印字されるコメントを6バイト（全角で3文字）以内で入力し、[確定]キーを押します。**

初期値は「(本体)」（カッコは半角）です。

税込ﾃｰﾌﾞﾙ
(税込)
数

❻ **税込価格に付随して印字されるコメントを6バイト（全角で3文字）以内で入力し、[確定]キーを押します。手順❸の画面に戻ります。**

初期値は「(税込)」（カッコは半角）です。

第 7 章　困ったときは

エラーメッセージ

画面にエラーメッセージを表示したと き、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。
また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	LCD画面	説　明
01	マシンエラー 01	マシンエラーの画面です。 原因：①基板の不良です。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。
02	ﾌﾗｯｼｭROMｴﾗｰ 02	フラッシュ ROM エラーの画面です。 原因：①フラッシュ ROM にアクセスできません。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。
06	バッファオーバー 06	バッファオーバーの画面です。 原因：①受信バッファ容量を超えるデータを受信しました。 対策：①通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。
07	カバーオープン 07	カバーオープンの画面です。 原因：①カバーがオープン状態になっています。 対策：①トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
08	ラベルエンド ピッチエラー 08	ラベルエンドピッチエラーの画面です。 原因：①正しい用紙がセットされていない状態でラベル発行した場合に表示されます。 ②用紙がありません。 対策：①②正しい用紙をセットしてください。
11	ヘッドチェック エラー 11	ヘッドチェックエラーの画面です。 原因：①サーマルヘッドに異常があります。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。
12	バッテリ EMPTY 12	バッテリ EMPTY の画面です。 原因：①バッテリ残量が少なくなっています。 対策：①バッテリ残量が少ないので充電してください。

エラー番号	LCD画面	説　明
13	充電してください 13	バッテリ充電を知らせる画面です。 原因：①バッテリ残量がなくなり、印字動作がおこなえない状態になっています。 対策：①バッテリを充電してください。
14	カードが ありません 14	SD カードなしの画面です。 原因：①カードスロットに SD カードがありません。 対策：①カードスロットに SD カードをセットして 確定 キーを押してください。
15	カッタエラー 15	カッタエラーの画面です。 原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。 対策：①②電源オフでエラーを解除して、元の画面に戻ります。
17	カード書込み 禁止 17	カード書込み禁止の画面です。 原因：①SD カードが書込み禁止状態になっています。 対策：①SD カードの書込み禁止状態を解除してください。
18	ラベルサイズ 設定エラー 18	ラベルサイズ設定エラーの画面です。 原因：①固定発行の用紙サイズが誤っています。 ②呼出し発行の初期設定でバーラベ固定ラベルを設定した場合、用紙サイズの設定がプリンタと FI ツールで異なっている場合に表示されます。 対策：①固定発行のフォーマット No に合った用紙サイズを設定してください。 ②呼出し No に合った用紙サイズを設定してください。
19	データ登録済み 19	データ登録済みの画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録したときにすでにデータが登録されています。 対策：①番号を確認してください。
20	登録件数オーバー 20	登録件数オーバーの画面です。 原因：①固定発行時、固定するフォーマットを 16 件以上登録した場合、表示されます。 対策：①登録件数を 15 件以下にしてください。
21	ダンプデータが ありません 21	ダンプデータなしの画面です。 原因：①固定発行時、ダンプ発行するデータが登録されていません。 対策：①ダンプ発行するデータを登録します。

エラー番号	LCD画面	説　明
22	カレンダの日付 変更してください 22	カレンダ日付不正の画面です。 原因：①カレンダー日付が不正な数値になっています。 対策：①カレンダー日付を再設定してください。
23	データエラー 23	データエラーの画面です。 原因：①不正なデータを入力しています。 対策：①データを見直してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
24	チェックデジット 照合エラー 24	チェックデジット照合エラーの画面です。 原因：①チェックデジットに誤りがあります。 対策：①チェックデジットを入力し直してください。
25	通信エラー 25	通信エラーの画面です。 原因：①バーコードスキャナとの通信が異常です。 対策：①バーコードスキャナの設定を確認してください。 ②バーコードスキャナのケーブルを確認してください。
26	送信データが ありません 26	通信エラー（送信データなし）の画面です。 原因：①送信データが登録されていません。 対策：①送信データの有無を確認してください。
28	コピー元のフォー マットが違います 28	コピー元フォーマット違いの画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録において入力したコピー No のプリセットデータとフォーマット No が一致していません。 対策：①同じフォーマット No で登録したプリセット No を入力してください。
29	コピー元が未登録 です 29	コピー元（プリセットデータ）未登録の画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録において入力したコピー No のプリセットデータが登録されていません。 対策：①登録済みのプリセット No を入力してください。
30	価格総額表示設定 を再設定してく だ さい 30	価格総額表示設定の再設定画面です。 原因：①価格総額表示設定に誤りがあります。 対策：①価格総額表示を再設定してください。
31	WLANモジュール エラー 31	無線 LAN モジュールエラーの画面です。 原因：①無線 LAN モジュールのチェックをおこない、エラーがある場合に表示します。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。

エラー番号	LCD画面	説　明
32	LANデバイス エラー 32	LAN デバイスエラーの画面です。 原因：①LAN デバイスのエラーが発生しています。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。
33	メモリ電池エラー 33	メモリ電池エラーの画面です。 原因：①カレンダーバックアップ電池が消耗しています。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。
68	SDカードを確認 してください 68	SD カードの情報データ確認の画面です。 原因：①SD カードの情報データに誤りがあります。 対策：①SD カードのデータを確認してください。
69	該当データが ありません 69	該当データなしの画面です。 原因：①呼出し発行の検索時、該当する呼出しデータがありません。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度検索画面に戻ります。
70	入力エラー 0 入力禁止です 70	入力エラー (0 入力禁止) の画面です。 原因：①入力桁数チェックで「0 入力禁止」に設定している項目で、0 入力しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
71	入力エラー 未入力禁止です 71	入力エラー (未入力禁止) の画面です。 原因：①入力桁数チェックで「未入力禁止」に設定している項目で、入力をおこなっていません。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
72	入力エラー 全桁必須入力です 72	入力エラー (全桁必須入力) の画面です。 原因：①呼出し発行時、入力桁数チェックで「全桁必須入力」に設定している項目で、入力桁数が不足しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
73	入力エラー 入力範囲外の 値です 73	入力エラー (入力範囲外の値) の画面です。 原因：①入力値が有効範囲を超えています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。

エラー番号	LCD画面	説　明
76	入力エラー ﾌｫｰﾏｯﾄが登録され ていません 76	入力エラー(フォーマットが未登録)の画面です。 原因：①未登録のフォーマット番号を指定しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
77	入力エラー ﾃｰﾌﾞﾙが登録され ていません 77	入力エラー(テーブルが未登録)の画面です。 原因：①未登録のテーブル番号を指定しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
78	入力エラー 参照するﾃﾞｰﾀが ありません 78	入力エラー(参照するデータがない)の画面です。 原因：①テーブル参照時、指定した番号にデータが登録されていません。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
79	カード書込み エラーです 79	カード書込みエラーの画面です。 原因：①SD カードへのデータ書込みエラーが発生しています。 対策：①SD カードのデータを確認してください。
80	カード容量不足 80	SD カード容量不足の画面です。 原因：①SD カードの容量が不足しています。 対策：①SD カードのデータを確認してください。
83	データサイズが 大き過ぎます 83	データサイズエラーの画面です。 原因：①発行する呼出しデータが 256 キロバイト以上の場合に表示されます。 対策：①FI ツールで呼出しデータを修正してください。
85	コピー元が不正 です 85	コピー元不正エラーの画面です。 原因：①固定発行時プリセット登録において、入力したコピー No に 0 が入力された場合に表示されます。 対策：①登録済みのプリセット No を入力してください。
86	検索ファイルが ありません 86	検索ファイルエラーの画面です。 原因：①呼出し発行の呼出し検索およびバーコード検索時に検索ファイルがない場合に表示されます。 対策：①SD カードの検索ファイルを確認してください。
87	発行形態が 違います 87	発行形態エラーの画面です。 原因：①固定発行のプリセット発行のダンプ発行時に発行形態がハクリ発行の場合に表示されます。 対策：①発行形態を連続発行にしてください。

エラー番号	LCD画面	説　明
88	記憶件数が ありません 88	記憶発行登録エラーの画面です。 原因：①記憶発行「あり」設定時に記憶件数が 0 件の状態で 発行/停止 キーを押した場合に表示されます。 対策：①発行データをセットしてください。 備考：①エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
―	SDカード を確認して下さい	SD カード異常（読込み時）の画面です。 原因：①カードスロットに SD カードがありません。 ② SD カードが書込み禁止状態になっています。 対策：①カードスロットに SD カードをセットしてください。 ② SD カードの書込み禁止状態を解除してください。
―	ファイル読み込み エラー XXXXXX.XXX	ファイル読み込みエラーの画面です。 原因：①3 行目に表示されたファイルが SD カード内の指定フォルダにありません。 ②ファイル内のデータが正しくありません。 対策：① SD カードを確認してください。 ②データを確認してください。
―	SDカードを 確認して確定キー を押して下さい （1/4）	ＳＤ カード異常（書込み時）の画面です。 原因：①編集した各テーブルを SD カードに書き込む際、カードスロットに SD カードがありません。 ②編集した各テーブルを SD カードに書き込む際、SD カードが書込み禁止状態になっています。 対策：①カードスロットに SD カードをセットしてください。 ② SD カードの書込み禁止状態を解除してください。 備考：①② SD カードを確認して挿入し、確定 キーを押してください。4 回まで試行し、失敗した場合は ＳＤ カード書込みがされず、編集したデータは破棄されます。
―	×××テーブル ファイル更新失敗	データ更新失敗の画面です。 原因：①各テーブルデータの SD カードへの書込みに失敗しました。編集中のデータは、破棄されます。 対策：①編集をやりなおしてください。
―	データが いっぱいです	データ登録件数最大の画面です。 原因：①データ登録件数が最大件数です。 対策：①データを 1 件以上削除してください。

エラー番号	LCD画面	説　明
—	検索バーコード が重複しています	検索バーコード重複の画面です。 原因：①呼出しテーブルの編集で、入力した検索バーコードはすでに使用されています。 対策：①別の検索バーコードを入力してください。または、重複しているデータを削除してください。
—	ﾚｲｱｳﾄNo［XXXX］ はありません	レイアウト No 不正の画面です。 原因：①スキャンしたデータのレイアウト No は存在しません。 対策：①データを確認してください。
—	データサイズ エラー	データサイズエラーの画面です。 原因：①スキャンしたデータサイズが、レイアウトのプリセットデータサイズと一致しません。 対策：①データを確認してください。
—	データ不正	データ不正の画面です。 原因：①スキャンしたデータのレイアウト No、呼出し No が異常なデータです。 対策：①データを確認してください。
—	スキャナ エラー	スキャナエラーの画面です。 原因：①スキャンした QR コード内のデータが異常です。または、データサイズが最大 1024 バイトを超えています。 対策：① QR コードを確認してください。
—	バッファが いっぱいです 電源ｵﾌして下さい	登録用一時バッファがいっぱいの画面です。 原因：①登録用一時用バッファがいっぱいになりました。 対策：①一度電源オフして登録してください。 備考：①登録用一時用バッファサイズは約 270K バイトです。
—	データが いっぱいです 電源ｵﾌして下さい	データ登録件数最大の画面です。 原因：①データ登録件数が最大件数です。 対策：①データを 1 件以上削除してください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やサービスをお申しつけになる前に、あらかじめご確認ください。

電源を入れても何も表示されない

- ACアダプタと電源コードは正しく接続されていますか？→「電源を入れてみましょう」(45 ページ)
- バッテリパックは正しく取り付けられていますか？→「バッテリパックの装着と取り出しのしかた」(49 ページ)
- バッテリパックは充電されていますか？→「バッテリパックの充電」(47 ページ)

ラベルが印字されない

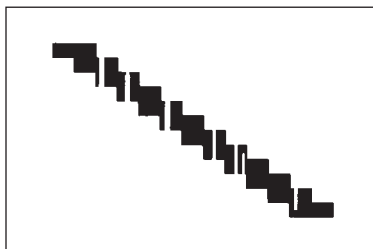
- 電源を入れ直してください。
- 用紙を正しくセットしてください。→「用紙をセットする」(35 ページ)
- プラテンローラーの「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「本プリンタのお手入れ」(265 ページ)
- 画面にメッセージが表示されたときは、表示によって適切な対応をおこなってください。→「エラーメッセージ」(255 ページ)
- トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。→「用紙をセットする」(35 ページ)
- 電源を切って、用紙を交換してください。

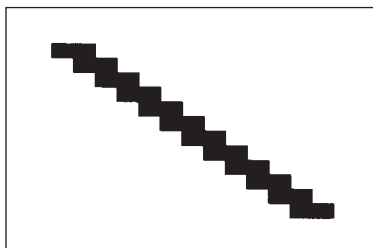
きれいに印字しない

- サーマルヘッドを清掃してください。→「本プリンタのお手入れ」(265 ページ)
- プラテンローラーを清掃してください。→「本プリンタのお手入れ」(265 ページ)
- 電源を切って、用紙を交換してください。

正しく印字されない、または印字位置がずれる

- 初期設定で、データの位置を設定し直してください。
  呼出し発行 → 61 ページ
  固定発行 → 81 ページ
  オンライン発行 → 111 ページ
  値下CODE128 → 115 ページ
  値下JAN2 → 145 ページ
  個体識別 → 175 ページ
- 用紙がセットしてある箇所の「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「本プリンタのお手入れ」(265 ページ)
- 用紙を正しくセットしてください。「用紙をセットする」(35 ページ)

固定発行、値下CODE128、値下JAN2段、個体識別の場合、チェックラベルを発行したとき、以下のようなラベルが印字される

- サーマルヘッドを清掃してください。→「本プリンタのお手入れ」（265 ページ）
- 改善されないときは、サーマルヘッドの交換が必要です。販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。

サーマルヘッドがきれいなときは、このようなラベルが印字されます。

■チェックラベル

ラベル発行後、サーマルヘッドの状態を見るためのラベルを印字できます。このラベルをチェックラベルといいます。
チェックラベルで、サーマルヘッドの汚れなどを確認して、必要に応じてサーマルヘッドを清掃してください。
チェックラベルを印字するときは、初期設定の発行形態で“連続”を選択してください。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りをおこなって確認してください。

第8章　保守

本プリンタのお手入れ

ラベルをきれいに印字するため、また故障を防ぐために、定期的に清掃をおこなってください。

感電防止について

サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。感電するおそれがあります。

お手入れの時期

- サーマルヘッド、プラテンローラー　→　用紙1巻おき
- 用紙ガイド、ヘッドカバー　→　用紙6巻おき
- 印字がかすれたりラベルが汚れてきたときは、そのつどお手入れをしてください。

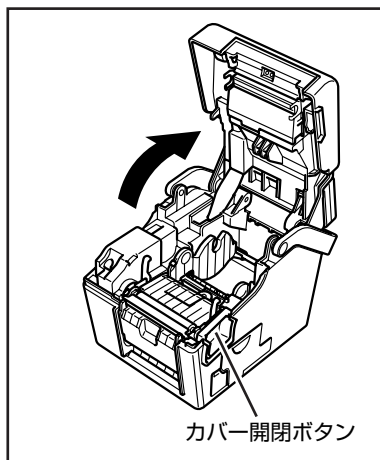
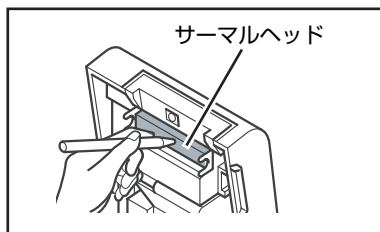
お手入れのときの注意

- 上記の清掃時期を目安に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット＊[1]、ラッピングシート＊[1]＊[2]をご使用ください。
- ドライバーなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。
  特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。
- 用紙は取り外してから清掃をおこなってください。

クリーニングペン

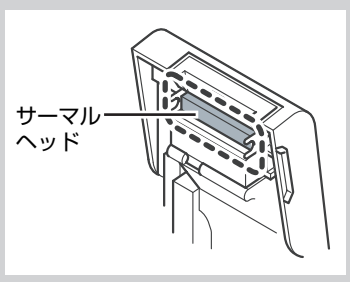
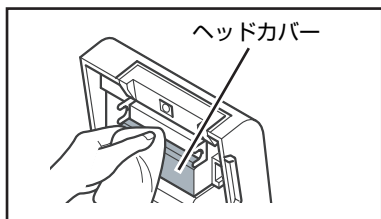
＊1 プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

＊2 ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

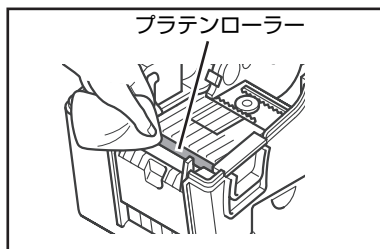
清掃のしかた

❶ カバー開閉ボタンを押し下げ、トップカバーを上まで開きます。

❷ クリーニングペンを使用して、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。

⚠ 注意

印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。

サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。

❸ **綿布にプリンタ清掃液を付けて、ヘッドカバーを清掃します。**

❹ **綿布にプリンタ清掃液を付けて、用紙ガイドと、周辺を清掃します。**

用紙ガイド周辺には、ラベルの紙粉がたまりやすくなっています。

❺ **綿布にプリンタ清掃液を付けて、プラテンローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。**

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

サポート名	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から 5 年間です。
機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ http://www.sato.co.jp でご確認ください。

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのメンテナンスセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は 1 台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から 6 か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社のサプライ品“純正”での走行距離 30km（カッタは 30 万回）または納入から 6 か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任をもって、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど）は、壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることを推奨します。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

第9章　付録

基本仕様

<table>
<tr><th colspan="2">モデル名</th><th colspan="2">バーラベ FI212T</th></tr>
<tr><td colspan="2">印字方式</td><td colspan="2">感熱方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヘッド密度（解像度）</td><td colspan="2">12dot/mm（305dpi）</td></tr>
<tr><td colspan="2">印字有効エリア</td><td colspan="2">最大　長さ: 120mm×幅: 56mm
ノンセパ
最大　長さ: 93mm×幅: 56mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">印字速度</td><td colspan="2">50 ～ 100mm ／秒　2 ～ 4 インチ／秒（AC アダプタ使用時）
50 ～ 75mm ／秒　2 ～ 3 インチ／秒（バッテリパック使用時）
※ただし、印字レイアウト、用紙の種類によっては制限する場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">印字禁止領域</td><td colspan="2">長さ方向　上：2.0mm 以下、下：2.0mm 以下（台紙含まず）
幅方向　　左：1.5mm 以下、右：1.5mm 以下（台紙含まず）
ノンセパ
長さ方向　上：5.0mm、下：2.0mm
幅方向　　左：1.5mm、右：1.5mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">用紙種類／用紙形態</td><td colspan="2">サトー製品の用紙“純正”のご使用をお願いします。
ロール紙（表巻き／裏巻き）</td></tr>
<tr><td colspan="2">用紙厚</td><td colspan="2">140 ～ 190μm（0.14 ～ 0.19mm）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">用紙
サイズ＊1</td><td></td><td>ラベル</td><td>ヒットカットラベル＊2</td></tr>
<tr><td>連続発行</td><td>長さ：16 ～ 117mm
（19 ～ 120mm）
幅　：25 ～ 60mm
（28 ～ 63mm）</td><td>長さ：16 ～ 120mm
（16 ～ 120mm）
幅　：28 ～ 63mm
（28 ～ 63mm）</td></tr>
<tr><td>カッタ</td><td>長さ：16 ～ 117mm
（19 ～ 120mm）
幅　：25 ～ 60mm
（28 ～ 63mm）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ティアオフ</td><td>長さ：16 ～ 117mm
（19 ～ 120mm）
幅　：25 ～ 60mm
（28 ～ 63mm）</td><td>長さ：16 ～ 120mm
（16 ～ 120mm）
幅　：28 ～ 63mm
（28 ～ 63mm）</td></tr>
<tr><td>ハクリ</td><td>長さ：16 ～ 117mm
（19 ～ 120mm）
幅　：25 ～ 60mm
（28 ～ 63mm）</td><td>長さ：16 ～ 120mm
（16 ～ 120mm）
幅　：28 ～ 63mm
（28 ～ 63mm）</td></tr>
<tr><td>ノンセパ
（カッタ無し）</td><td colspan="2">長さ：20 ～ 100mm
幅　：32 ～ 60mm</td></tr>
<tr><td>ノンセパ
（カッタ付き）</td><td colspan="2">長さ：45 ～ 100mm
幅　：32 ～ 60mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">用紙外径／支管サイズ</td><td colspan="2">用紙外径：最大 75mm（1 インチ支管）
支管内径：26mm（1インチ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">発行モード</td><td colspan="2">標準　　　：連続、ハクリ、ティアオフ、ジャーナル（センサ無視モード）、ノンセパ（カッタ無し）
オプション：カッタ、ノンセパ（カッタ付き）</td></tr>
</table>

＊1（　）は台紙サイズ。発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。
＊2 裏巻きラベルは、長さが 16 ～ 38.1mm に制限されます。

モデル名	バーラベ FI212T
寸法／重量	幅132mm×奥行き194mm×高さ147mm／約1.7kg
電源仕様	入力電圧：AC100V±10%
	消費電力（入力電圧条件：100V/50Hz） ピーク時 ： 72.3VA 51.3W（印字率30%） 待機時 ： 13.1VA 6.6W
バッテリ仕様	リチウムイオン電池 公称電圧 14.8V 公称容量 1700mAh 充放電サイクル 約300回 充電時間 本体充電 約6時間 専用充電器 約1.5時間 性能 満充電でサーマルラベル紙固定フォーマットNo.11（用紙サイズ長さ幅25mm×32mm）にて280m相当の連続発行可能 ※使用環境により異なります。
環境条件（温度／湿度）	使用温度 0～40℃ 湿度 30～80%RH（ただし結露無きこと） 保存温度 -5～60℃ 湿度 30～90%RH（ただし結露無きこと） ノンセパ 使用温度 5～35℃ 湿度 30～75%RH（ただし結露無きこと） 保存温度 0～35℃ 湿度 30～75%RH（ただし結露無きこと） ※サプライ製品は除く
インタフェース	① USB ② USB+LAN ③ 無線LAN ④ スキャナ接続用インタフェース：（PS/2対応） ⑤ SDカードスロット（1スロット） ※①，②，③については、いずれかを選択
オプション	① カッタキット ② ノンセパキット（カッタ付き） ③ 外部供給装置（UW200EF, UW200CT/HT i） ④ 外部巻取機（RW350） ⑤ バッテリパック ⑥ 1chバッテリチャージャー ⑦ 5chバッテリチャージャー ⑧ SDカード 1ギガバイト ⑨ キーカバー（油、ほこりの浸入防止） ⑩ 壁掛けキット ※ノンセパ（カッタ付き）との組合せ運用やハクリ発行はできません。 ⑪ バーコードスキャナホルダ ⑫ バーコードスキャナ ⑬ USBケーブル ⑭ LANケーブル

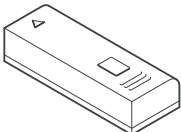
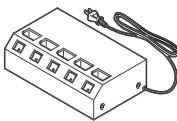
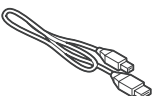
他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

●QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

●SDロゴは商標です。

モデル名	バーラベ FI212T
操作キー	LCD ：グラフィック LCD（横128×縦64dot） バックライト付き キー ：電源 メニュー / 前画面 シフト 入力切替 削除 /AC 紙送 確定 日付 発行 / 停止 数字キー（英数字、記号、かな入力併用） 矢印キー ：▲（F1/変換）、◀（F2）、 ▼（F3/候補）、▶（F4）
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整
用紙長検出センサ	アイマークセンサ（反射タイプ）
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODABAR(NW-7)、CODE39、 CODE128、GS1-128(UCC/EAN128)、ITF、 UPC アドオンコード GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBarはRSSのことです。
2次元コード	QRコード、マイクロQR
合成シンボル	EAN-13 Composite EAN-8 Composite UPC-A Composite UPC-E Composite GS1 DataBar Composite GS1 DataBar Truncated Composite GS1 DataBar Stacked Composite GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite GS1 DataBar Limited Composite GS1 DataBar Expanded Composite GS1 DataBar Expanded Stacked Composite GS1-128 Composite ※GS1 DataBarはRSSのことです。 ※GS1-128はUCC/EAN128のことです。

モデル名		バーラベ FI212T
標準搭載フォント	ビットマップフォント	X1文字　30×75dot（英数字、記号、カナ） X2文字　12×30dot（英数字、記号、カナ） X3文字　20×32dot（英数字、記号、カナ） OCR-B　30×36dot（英数字、記号） 価格文字　24×36dot（数字、￥、カンマ） POP1 文字　42 × 72dot（数字、￥、カンマ） POP2文字　72×102dot（数字、￥、カンマ） POP3文字　39×84dot（数字、￥、カンマ） X80文字　42×42dot（数字、￥、円、カンマ、～） X81文字　48×48dot（数字、￥、円、カンマ、～） X82文字　59×59dot（数字、￥、円、カンマ、～） X83文字　59×59dot（数字、￥、円、カンマ、～） X84文字　59×59dot（漢数字、￥、円、カンマ、～） X85文字　59×59dot（漢数字、￥、円、カンマ、～） X86文字　65×65dot（数字、￥、円、カンマ、～） X87文字　89×89dot（数字、￥、円、カンマ、～） X88文字　118×118dot（数字、￥、円、カンマ、～） マークダウン1　84×138dot（数字、￥） マークダウン2　120×138dot（数字、￥） マークダウン3　132×138dot（数字、￥） マークダウン 4　156 × 138dot（数字、￥） 漢字　16×16dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体） 漢字　24×24dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体） 漢字　32×32dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体） ※日本語（JIS X 0208準拠）
印字方向（文字・バーコード）		文字　　　：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1（0°）、パラレル2（180°）、シリアル1（90°）、シリアル2（270°）
バーコード比率		1：2、1：3、2：5　任意指定可能
拡大倍率（文字・バーコード）		文字　　　：縦1～12倍　横1～12倍 バーコード：1～12倍
搭載機能		① 呼出し発行 ② オンライン発行 ③ 固定発行 ④ 値下 CODE128 ⑤ 値下 JAN2 段 ⑥ 個体識別
自己診断機能		① ヘッド切れチェック ② ペーパーエンド検出 ③ テスト印字 ④ カバーオープン検出 ⑤ カレンダーチェック ⑥ カレンダー電池チェック ⑦ バッテリチェック ⑧ カッタエラー
ノイズ規格		VCCI Class B

ディスプレイの表示仕様

表示場所	アイコン	名称	説明
❶		データ通信状態	データの通信状態を示します。 セッション確立中のみ表示します。
		バッファニアフル	データの受信バッファが残り少なくなったとき表示されます。
		コマンドエラー	ラベル発行時にコマンドエラーが発生すると表示されます。
❷		AC電源	AC電源を使用中に表示されます。
		バッテリ電源	バッテリ電源を使用中に表示されます。 マーク3つ ：15.8V以上 マーク2つ ：15.6～15.7V マーク1つ ：14.9～15.5V マークなし：14.8V以下

表示場所	アイコン	名称	説明
❸	数	数字	数字入力時に表示します。
	A	英字（大文字）	英大文字入力時に表示します。
	a	英字（小文字）	英小文字入力時に表示します。
	漢	漢字	漢字入力時に表示します。
	カ	カタカナ（全角）	全角カタカナ入力時に表示します。
	ｶﾅ	カタカナ（半角）	半角カタカナ入力時に表示します。

オプション

オプション（別売）品のご紹介

バッテリパック	バッテリチャージャー（充電器）
バッテリを使用して電源を取ることができます。	1ch バッテリチャージャー　5ch バッテリチャージャー バッテリパックを充電したいときに使用します。 ※ バッテリパックをプリンタに装着して充電することもできます（47ページ）。

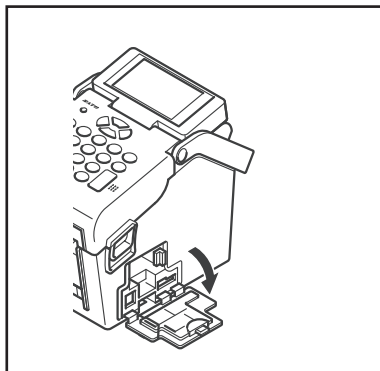
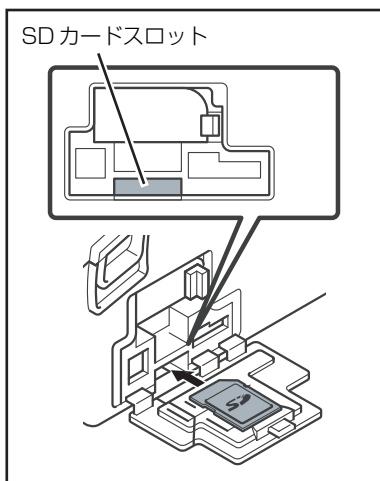
スキャナ
バーコードスキャナ

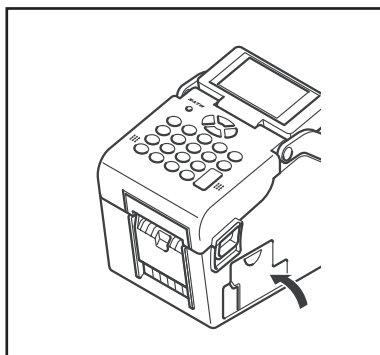
スキャナホルダー	SDカード

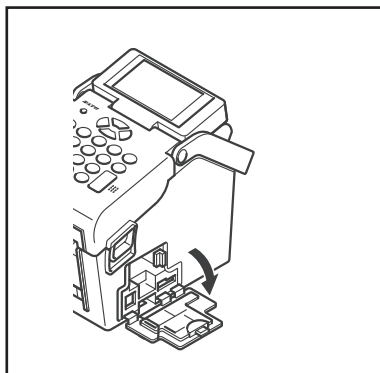
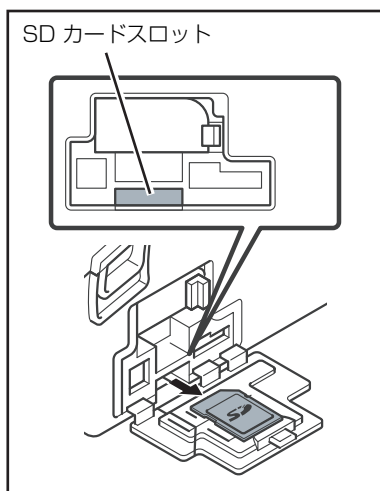
壁掛けキット	キーカバー
壁掛けキット　ガイドコア	

USBケーブル	LANケーブル

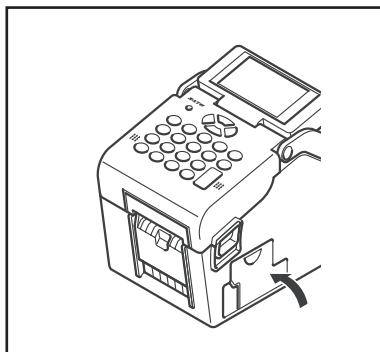
SDカードの取り扱い

挿入方法

❶ バッテリカバーを開きます。

❷ SDカードの上下、挿入方向を確認し、SDカードを奥まで差し込みます。

❸ バッテリカバーを閉じます。

取り出し方法

❶ バッテリカバーを開きます。

❷ SDカードを奥まで押し、指を離すとSDカードが少し出ますので、SDカードを取り出します。

❸ **バッテリカバーを閉じます。**

重要

プリンタの電源がONの場合、SDカードの挿入・取り出しをおこなわないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。SDカードの挿入・取り出し時は、必ずプリンタの電源を切ってからおこなってください。

SDカードアクセス中は、絶対にSDカードを取り出したり、プリンタの電源をOFFにしないでください。画面表示が不正になったり、SDカードを破損する原因になります。

SDカードの初期化

SD カードをはじめて使用するときは、初期化してください。SD カードが SD カードスロットに挿入されていることを確認してください。

❶ **“3. 設定” を選び、確定キーを押します。**

「設定」画面が表示されます。

❷ **“3. データメンテナンス” を選び、確定キーを押します。**

「データメンテナンス」画面が表示されます。

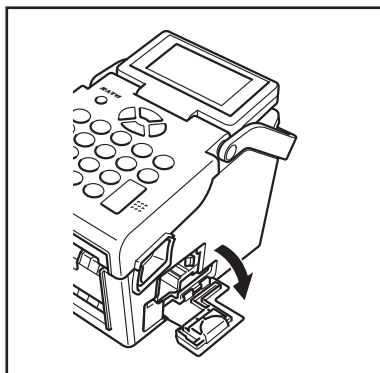
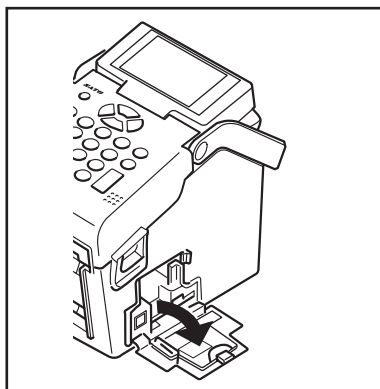
❸ **“3. データ転送” を選び、確定キーを押します。**

「データ転送」画面が表示されます。

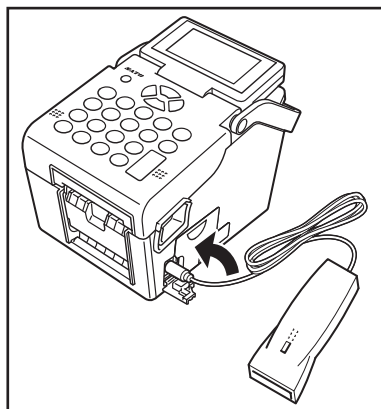
❹ “1. カード初期化” を選択し、[確定]キーを押します。

❺ “はい” を選択し、[確定]キーを押します。

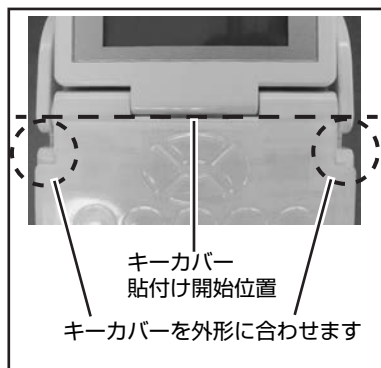
❻ SDカード初期化完了後、[確定]キーを押すと手順❹画面に戻ります。

スキャナの接続

❶ バッテリカバーを開きます。

❷ スキャナコネクタカバーを開きます。

❸ スキャナ端子の●マークを上にしてスキャナコネクタに接続します。

❹ バッテリカバーを閉じます。

キーカバーの貼り方

キーカバーの貼り方について説明します。

❶ **操作パネルの上端（左写真 点線部）から下方向に、キーカバーを貼り付けます。**

台紙をはがす前に、キーカバーを貼付け開始位置、および操作パネルの外形に合わせ、貼付け位置の確認をしてください。

❷ **キーカバー上辺の台紙を少しはがして、キーカバーを貼付け開始位置に貼ります。**

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

粘着面にゴミ、ほこりや指紋が付着しないよう気を付けてください。

❸ **台紙を少しずつはがし、各キーとキーカバーの膨らみが合っているかを確認しながら貼り付けていきます。**

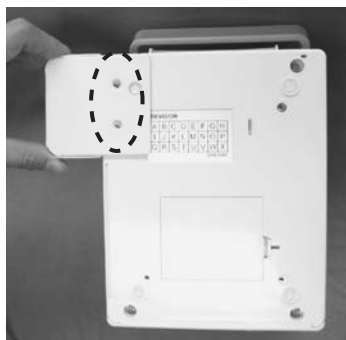
スキャナホルダーの取り付け方

スキャナホルダーの取り付け方について説明します。

チェック

スキャナホルダーと壁掛けキットは併用できません。

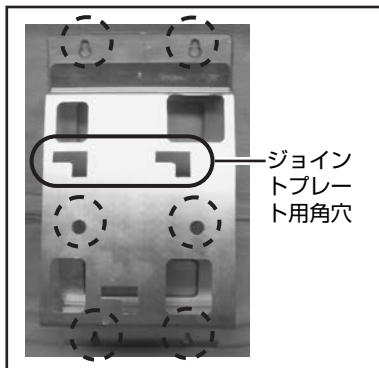
❶ スキャナホルダーとプリンタ底部のネジ穴を確認します。

❷ スキャナホルダーとプリンタ底部のネジ穴（2箇所）を合わせます。

❸ プラスドライバーを用いて、スキャナホルダーをネジ（付属品）で取り付けます。

❹ スキャナホルダーがしっかりと固定されていることを確認します。

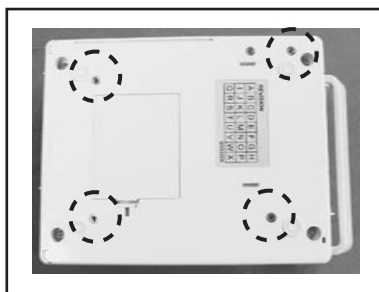
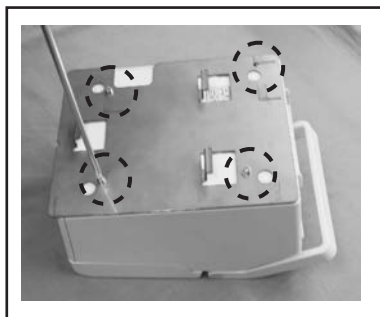
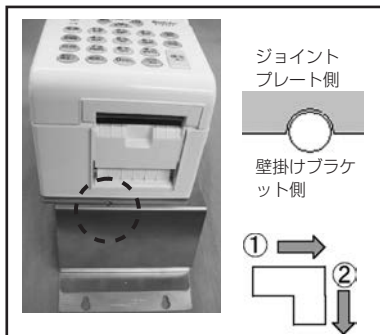
壁掛けキットの取り付け方

壁掛けキットの取り付け方について説明します。

スキャナホルダーと壁掛けキットは併用できません。

❶ **壁掛けブラケットをネジ6本で壁に取り付けます。**

壁掛けブラケットを取り付けるためのネジ（6本）は、お客様でご用意ください。

⚠ 注意

壁掛けブラケットがしっかり固定できる壁に取り付けてください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると重みでネジが抜け、プリンタが落下してケガや破損の原因になります。

❷ **プリンタ底部のジョイントプレート取り付け用のネジ穴（4箇所）位置を確認します。**

❸ **ジョイントプレートとプリンタ底部のネジ穴（4箇所）を合わせ、ネジ（付属品）で取り付けます。**

❹ **ジョイントプレートを壁掛けブラケットに取り付けます。**

プリンタを、ジョイントプレート側のへこみが壁掛けブラケット側の穴と合う位置に置き、➀→➁方向にスライドさせます。

ジョイントプレートが壁掛けブラケットに固定されていることを確認してください。

❺ **電源コードをケーブルクランプ（壁掛けブラケット右側）で固定します。**

初期設定値一覧

メニュー	種別	項目	初期値
呼出し発行	初期設定	用紙種別	バーラベフリーラベル
		用紙サイズ	25mm
		発行形態	連続
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
		呼出し名検索文字桁数設定	3
		バーコード検索有無	あり
		呼出し発行履歴ﾃﾞｰﾀ転送	あり
		呼出し履歴ﾃﾞｰﾀ転送方法	SD
		プリンタNo	0000
		連番保持機能設定	あり
		都度発行	なし
		発行枚数表示	する
		発行後戻先指定	しない
		価格未入力許可	しない
		本体メンテナンス	なし
		QRコード発行	なし
		税率優先設定	ツール設定優先
		税率設定	00.0%
オンライン発行	初期設定	用紙種別	バーラベフリーラベル
		用紙サイズ	25mm
		発行形態	連続
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
固定発行	初期設定	用紙サイズ	25mm
		プリセット登録先	本体
		リサイクルマーク表示	あり
		リサイクルマークテーブルNo	**
		原産地表示	あり
		原産地テーブルNo	***
		日付印字	なし
		日付手入力	あり
		コードフリー入力	あり
		価格印字位置	上
		価格文字サイズ	標準
		￥マーク付加	する
		価格カンマ付加	あり
		プリセットNo印字	する

メニュー	種別	項目	初期値
固定発行	初期設定	ガードバー長さ	普通
		発行形態	連続
		リアルタイム印字	OFF
		都度発行	なし
		チェックラベル有無	あり
		印字方向	頭出し
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
		フォーマット固定	ー
	プリセットデータ	プリセットデータ本体	ー
値下 CODE128	初期設定	用紙種別	バーラベラベル
		発行形態	連続
		チェックラベル有無	あり
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
	値下げ設定	出力バーコード設定	20桁
		ラベルサイズ	バーラベラベル
		発行形態	連続
		使用項目　円引き	する
		使用項目　%引き	する
		使用項目　新価格	する
		使用項目　円引後価格	する
		使用項目　%引後価格	する
		項目フラグ	*
		バーコード値引き条件　円引き	値引額
		バーコード値引き条件　%引き	割引率
		見出しテーブル　円引き	印字なし
		見出しテーブル　%引き	印字なし
		見出しテーブル　新価格	印字なし
		50%引の表示	50%引
		値引上限	50%
		端数処理	切捨て
		廃棄データ	なし
		NON-PLU13桁1　フラグ	**
		NON-PLU13桁1　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁2　フラグ	**
		NON-PLU13桁2　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁3　フラグ	**
		NON-PLU13桁3　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁4　フラグ	**

メニュー	種別	項目	初期値
値下 CODE128	値下げ設定	NON-PLU13桁4　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁5　フラグ	**
		NON-PLU13桁5　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁6　フラグ	**
		NON-PLU13桁6　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁7　フラグ	**
		NON-PLU13桁7　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁8　フラグ	**
		NON-PLU13桁8　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁9　フラグ	**
		NON-PLU13桁9　価格桁	5桁
		NON-PLU13桁10　フラグ	**
		NON-PLU13桁10　価格桁	5桁
		NON-PLU8桁	あり
		UPC-A　1	00
		UPC-A　2	0*
		UPC-A　3	0*
		UPC-A　4	0*
		UPC-A　5	0*
		UPC-E	0埋め6桁
		元売価印字	すべて
		値下後価格印字	すべて
		パスワード設定	なし
		担当者コード	あり
		値引き履歴データ蓄積	あり
		値引き履歴データ転送方法	SD
		プリンタNo.	00
値下JAN2段	初期設定	発行形態	連続
		チェックラベル有無	あり
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
	コメント テーブル	コメントテーブル	―
	部門テーブル	部門テーブル	―
	値下げ設定	ラベルサイズ	P65×W32
		発行形態	連続
		出力バーコード	バーコード1段
		コメント機能	あり
		プロパー価格表示	あり
		部門機能	あり
		NON-PLU13桁1　フラグ	**

メニュー	種別	項目	初期値
値下JAN2段	値下げ設定	NON-PLU13桁1　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁2　フラグ	**
		NON-PLU13桁2　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁3　フラグ	**
		NON-PLU13桁3　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁4　フラグ	**
		NON-PLU13桁4　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁5　フラグ	**
		NON-PLU13桁5　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁6　フラグ	**
		NON-PLU13桁6　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁7　フラグ	**
		NON-PLU13桁7　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁8　フラグ	**
		NON-PLU13桁8　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁9　フラグ	**
		NON-PLU13桁9　価格桁	4桁
		NON-PLU13桁10　フラグ	**
		NON-PLU13桁10　価格桁	4桁
		出力バーフラグ	02
		出力バーコードP/C	あり
		アイテムコード	5桁
		出力バーコード	上段：21、下段：29
		価格表示単位	￥
		50%引の表示	50%引
		円引処理	する
		円引印字	新価格
		%引処理	する
		%引印字	新価格
		新価格処理	する
		担当者コード	あり
		値引き履歴データ蓄積	なし
		値引き履歴データ転送方法	SD
		プリンタNo.	**
個体識別	初期設定	発行形態	連続
		チェックラベル有無	あり
		継承ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
		個体識別ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
		部位名印字	あり

メニュー	種別	項目	初期値
個体識別	初期設定	部位テーブルNo印字	あり
		産地名印字	あり
		産地テーブルNo印字	あり
		日付印字	あり
		加算日数初期値	000
		個体識別固定印字	あり
		継承ラベルサイズ	大ラベルP38×W40
		個体識別ラベルサイズ	縦：25mm、横：32mm
		バーコード種変更	しない
		バーコード種変更パスワード	ー
		バーコード種	ITFコード
	テーブル設定	漢字16	ー
		漢字22	ー
		日付見出	消費期限
価格総額設定		税率設定	00.0%
		価格入力	税込み
		バーコード内価格	税込み
		端数処理	切捨て
		価格税込み印字設定	なし
		総額表示テーブル	なし
		値下元売価バーコード	税込み
		値下新価格入力	税込み
		値下端数処理	切捨て
ユーザー設定		印字速度	50mm/S
		印字濃度	3
		印字濃度レンジ	A
		カレンダー時変更	電源切るまで
		ヘッドチェック	あり
		ヘッドチェック範囲	通常
		キー入力音	あり
		スタート画面設定	レジューム
		スタート画面	呼出し発行
		日付確認表示画面	する
		記憶発行	なし
		オートパワーオフ	00分（ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌしない）
		LCD節電時間設定	00分（常時ON）
		LCD濃度	レベル6
		初期フィード	あり
通信設定	USB+LAN モデル	通信選択	USB
		IP設定方法	マニュアル

メニュー	種別	項目	初期値
通信設定	USB+LAN モデル	IPアドレス	192.168.001.001
		サブネットマスク	255.255.255.000
		ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
		Socket通信タイムアウト時間	60秒
	無線LAN モデル	通信選択	無線LAN
		IP設定方法	マニュアル
		IPアドレス	192.168.001.001
		サブネットマスク	255.255.255.000
		ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
		Socket通信タイムアウト時間	60秒
		WLANモード設定	アドホック
		SSID設定	SATO
		チャンネル設定	11
		LDP切断タイムアウト時間	30秒
		セキュリティ機能	使用しない
		WEPKey1設定	ー
		WEPKey2設定	ー
		WEPKey3設定	ー
		WEPKey4設定	ー
		WEPKey4 Index	1
		WPA/WPA2認証機能設定	PSK
		事前共有キー	ー
		EAP認証機能（WEP設定時）	使用しない
		EAP認証機能（WEP設定時以外）	Open System
		省電力モード	無効
FTP クライアント	USB+LAN モデル	FTPクライアント指定	無効
		FTP認証方法	ユーザー認証有効
		FTPログインユーザー	guest
		FTPパスワード	ー
		FTP切断タイムアウト	30秒
		FTP取得設定	電源投入時取得
		取得後画面	メニュー画面
		ログインユーザー	sato
		パスワード	ー
		FTPサーバーアドレス	000.000.000.000
		FTPサーバー URL	ー
		FTPポート番号	00021
		アップロード先	ー
		ダウンロード先	ー
		DNSプライマリアドレス	000.000.000.000

メニュー	種別	項目	初期値
FTP クライアント	USB+LAN モデル	DNSセカンダリアドレス	000.000.000.000
	無線LAN モデル	FTPクライアント指定	無効
		FTP認証方法	ユーザー認証有効
		FTPログインユーザー	guest
		FTPパスワード	―
		FTP切断タイムアウト	30秒
		FTP取得設定	電源投入時取得
		取得後画面	メニュー画面
		ログインユーザー	sato
		パスワード	―
		FTPサーバーアドレス	000.000.000.000
		FTPサーバー URL	―
		FTPポート番号	00021
		再接続間隔	4秒
		再接続リトライ回数	10回
		ジョブタイムアウト	30秒
		FTP通信タイムアウト	120秒
		アップロード先	―
		ダウンロード先	―
		DNSプライマリアドレス	000.000.000.000
		DNSセカンダリアドレス	000.000.000.000
パスワード 設定		パスワード設定	なし
		パスワード	―
店名テーブル		店名	―
		住所	―
		電話番号	―
		メモ	―

索引

英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ